

衛生講話	健康視察	注意書ノ配布	豫防注射	工場衛生係主任會議	雇員	保菌調査	注意指示	嘱託醫	雇員	
六月二十日 京都織物株式會社紫野分工場ニ於テナセル外十一工場ニ於テ施行ス 十月九日 日本燃絲工場内ニ於テ開催セルヲ始メトシ十月中ニナセル工場延數ハ二十一。 十一月中モ隨時之ヲ行フ	五月 四回 六月 二九回 七月 四二回 八月 三四回 九月 四六回 十月 五五回 (延工場數約六五〇)	六月二十一日 第一回 (府下全部工場凡一八〇〇) 八月九日 第二回 (同) 九月十日 第三回 (同)	主トシテ自發的ニナス様督勵ニ努メ係ヨリ應援セルモノ少シ	同上	四月二十日 雇員二名ヲ置ク	五月二日 防疫係ト協同シテ保菌調査ヲナサンタメニ工場炊事係員ノ調査ヲ始ム	五月八日 各署工場係ノ打合せ會ニ於テ大體工場衛生上ノ注意及ヒ指示ヲナス	六月十三日 嘱託醫一名ヲ置ク	八月二十七日 雇員一名ヲ増員ス	十月一日 關係地工場ノ千三百中特ニ注意スヘキ工場ノ衛生係主任ヲ召集シテ會議ヲ開催 工場側出席者 七七名 各署ヨリ 六名 專賣局工場ヨリ 一名 十月下旬工場衛生上ノ注意ノ喚起スルタメニポストターヲ配布ス 十一月一日、ポストター(菊判)ヲ府下全部ノ工場ニ配布ス、其數一、九〇〇枚

衛生講話	注意書ノ配布	工場ニ於ケル種痘狀況	腸チフス豫防注射施行ノ狀況	工場炊事係員ノ保菌調査
工業従業員、役員及工場主ニ對シ衛生思想ノ普及向上ヲ期ス 全 回 數 三四回 聽 衆 總 計 一〇、〇二一名 其他各工場ヲ指導シテ其嘱託醫、工場主若クハ衛生係員ヲシテナサシメタルモノ 凡 一、〇〇〇回 アリタリ	七月以來十一月迄毎月一回宛一枚刷ノ注意書ヲ府下全部ノ工場ニ配布ス 總 計 九、五〇〇枚	府下全部ノ工場主ニ對シ種痘ヲ督勵セル結果従業員ニテ種痘ヲナセルモノ 總 計 一六、二一〇人	府下全部ノ工場ニ對シ腸チフス豫防注射ノ督勵ヲナシタリ 總 計 二二、九九八名	市内及ヒ隣接地ニアル工場ノ炊事係員ノ保菌調査ヲナセルモ病原菌ヲ發見セス 共ノ數 六二三名

(尚ホ四月ヨリ十二月末日迄ニ於ケル諸施設ノ統計上ノ成績左ノ如シ)

他ノ係ノ主管ニ屬セサル事項

三月八日ヨリ三月十日迄内務省ニ於テ大禮關係二府七縣衛生課長會議開催加藤衛生課長西地方技師木村警部列席

三月十日管下各市町村長宛定期種痘ニ關スル件通牒  
天然痘流行ノ兆アルトキニ當リ今年ノ定期種痘施行ニ當リテハ萬全ノ注意ヲ加フヘキ様ニ通牒セリ

三月十四日管下各署長宛痘瘡豫防ニ關スル件  
定期種痘施行ニ付市町村長宛通牒ヲ發シタルニ付テハ之ト相俟テ部下ヲ督勵シ遺憾ナキヲ期スヘキ様通牒セリ

三月三十日市役所ニ於テ府市防疫協議會ヲ開催  
打合事項十二件ヲ協議加藤衛生課長、西、山本技師木村警部列席

四月十日各署長宛痘瘡豫防ニ關スル件通牒  
痘瘡益々蔓延ノ模様アリ仍テ各署ハ充分ナル警戒ヲ加ヘ本府ニ病毒ノ侵入ヲ防クヘキ様通牒セリ

四月十二日各署長宛痘瘡豫防ニ關スル件  
有病地並ニ朝鮮支那方面トノ交通關係ニ留意シ有病地方ヨリ輸入若ハ移入スル襪古綿古着類古敷物類ニ關シテハ特ニ警戒ヲ怠ラサル様通牒セリ

四月十六日各署長宛痘瘡病の戸口調査成績報告方ノ件通牒  
痘瘡豫防ノ爲檢的病的の戸口調査ヲ爲シタルトキハ日報トシテ成績報告スヘキ様通牒セリ

四月二十三日京都府醫師會評議員會ニ於ケル大禮衛生事務打合會開催  
池田警察部長、加藤衛生課長、山本技師、木村警部出席、打合事項十二件ニ付協議ス

四月二十七日京都府令第四十二號痘瘡豫防ニ關スル件發布

京都市一圓及近接十七ヶ町村ニ居住セルモノニシテ痘瘡患者又ハ其ノ家ト往來シ若ハ痘瘡ニ感染シタル虞アル者ニ對シ昭和三年四月ヨリ昭和三年十二月迄ノ間ニ於テ日時及場所ヲ通知シ臨時種痘ヲ施行スヘキ様公布ス

同月同日痘瘡豫防ニ關スル府令公布ニ關スル件通牒  
市内下鴨伏見太秦各署長宛府令運用ニ關シ通牒セリ

五月三日檢疫委員タル醫師配置ニ關スル件通牒  
市部及伏見各署長宛檢疫委員ノ職務ニツキテ通牒セリ

五月七日家畜防疫委員配置ニ關スル件通牒  
市部休見太秦署長宛家畜防疫委員ノ從事スヘキ事務ノ範圍ニ付通牒ス

五月十一日府令第五十三號死體檢案ニ關スル件發布  
昭和三年四月ヨリ昭和四年三月ニ至ル間ニ於テ京都市及隣接町村ニ於テ死亡シタル者ノ中傳染病ノ疑アルモノニ付死體檢案ヲ行ヒ以テ患者ノ發見ニツトムヘキ旨公布セリ

五月十一日訓令第十七號死體檢案ニ關スル件各署長宛訓令ス  
五月十一日死體檢案ニ關スル府令公布ニ付依命通牒  
市内伏見各署長宛府令訓令ノ運用ニ付注意ヲ要スヘキ諸點ヲ擧ケテ通牒セリ

五月十一日埋火葬認許證取扱方ニ關スル件通牒  
上京下京各區長伏見深草各町長堀内村長宛死體檢案施行ニ伴ヒ死體ニ對スル埋火葬認許證取扱方ニ付通牒セリ

市内下鴨伏見太秦各署長宛鮮人ノ集團及其ノ家族ニ對シ徹底的ニ勵行シ洩レナク受痘セシムル様通牒セリ

五月二十一日朝鮮人ニ對スル種痘勵行方ノ件通牒

郡部(伏見、太秦ヲ除ク)各署長宛通牒セリ

五月二十四日大禮關係各官公衙協議會ヲ正應ニ於テ開催

内匠寮出張所ヲ始メ關係各官衙代表者十七名出席、大禮事務局ヨリ提出ノ打合事項ヲ協議ス

五月二十八日府令第六十二號公布

死體檢案ニ關スル府令中第一條第二條ヲ訂正ス

六月一日死體檢案ニ關スル府令改正ノ義ニ付通牒

府令改正ニ付市部伏見各署長、上京下京各區長伏見深草堀内各町村長宛通牒セリ

六月十五日府令第六十七號公布

府令第五十三號死體檢案ニ關スル件中適用地域ヲ擴張ス

六月十五日檢疫委員タル醫師配置ニ關スル件通牒

太秦、宇治、木津、龜岡、園部、福知山、綾部、舞鶴、新舞鶴、宮津署長宛通牒セリ

六月十六日死體檢案ニ關スル府令適用地域擴張ノ件ニツキ依命通牒

太秦、宇治、木津、龜岡、園部、福知山、綾部、舞鶴、新舞鶴、宮津、各警察署長宛通牒アリ

六月十六日埋火葬認許證取扱方ニ關スル件通牒

關係町村長宛通牒セリ

六月二十二日京都府令第六十八號公布

痘瘡豫防ノ爲種痘法第十五條ニ依リ昭和三年六月二十五日ヨリ同年七月三十一日ニ至ル間西陣署區域内ノ現住者ハ臨時種痘ヲ受クヘキ旨公布セリ

六月二十二日京都府令第六十八號公布

痘瘡豫防ノ爲種痘法第十五條ニ依リ昭和三年六月二十五日ヨリ同年七月三十一日ニ至ル間西陣署區域内ノ現住者ハ臨時種痘ヲ受クヘキ旨公布セリ

六月二十二日京都府令第六十八號公布

痘瘡豫防ノ爲種痘法第十五條ニ依リ昭和三年六月二十五日ヨリ同年七月三十一日ニ至ル間西陣署區域内ノ現住者ハ臨時種痘ヲ受クヘキ旨公布セリ

六月二十二日訓令第一三九號公布

京都府令第六十八號ニヨリ市ニ於テ臨時種痘施行スヘキ旨京都市長宛訓令セリ

七月二十一日府都府告諭第二號公布

大禮ニ關シ衛生上必要ト認ムル施設並ニ注意事項ヲ遍ク府民ニ周知セシメ之カ實施ヲ期スルハ緊要ナリト認メ告諭公布

七月二十一日京都府訓令第二十四號公布

大禮ニ關シ各署市役所町村役場ヲシテ各其ノ住民ノ衛生思想ノ向上普及ニ努メシメ又衛生上必要ト認ムル施設並ニ注意事項ヲ實施セシメ若ハ之ヲ督勵セシムルヲ緊急ナリト認メ訓令發布

七月二十一日大禮ニ關スル衛生上施設改善並ニ注意事項督勵ノ件通牒

市部各署長宛依命通牒

七月二十四日京都府令第八十六號公布

特種傳染豫防ノタメ流行性感冒其ノ他患者ヲ診斷シ又ハ其ノ死體ヲ檢案シタル場合届出方ノ件ニ付公布

七月二十四日府令第八十六號公布ニ付依命通牒市部各署長ニ對シ通牒ス

七月二十六日衛生ニ關係アル諸營業營業臨檢心得制定

七月二十七日檢病的戶口調査勵行方ノ件通牒

市部各署長宛消化器傳染病流行期ニ入りタルヲ以テ八月一日ヨリ一齊ニ檢病的戶口調査ヲ施行シ其ノ成績報告方通牒セリ

八月十日近府縣衛生課長打合會議開催

大禮御舉行ニ際シ衛生狀態ノ完壁ヲ期センカ爲福井、滋賀、岐阜、神奈川、三重、奈良、和歌山、大阪、兵庫、山口各府縣衛生課長打合會議開催左ノ件ヲ協議ス

一、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

一、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

一、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

一、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

一、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

一、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

一、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

一、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

- 一、浮浪徘徊スル癩患者取締ニ關スル件
- 一、精神病者ノ警戒及通報ニ關スル件
- 一、家畜傳染病豫防ニ關スル件

九月十日傳染病發生患家ノ消毒ニ關スル件通牒

市部各警察署長宛傳染病患者發生ノ際其ノ病毒ノ遺殘ヲナカラシムルノ方策ヲ講スル爲京都  
市ト協議ヲ遂ケ技術員三名ヲシテ京都市カ編成シツ、アル三班ノ各消毒班ニ各一名宛同行セ  
シメルコト、成リタルヲ以テ貴署ニ於テ之等ノ事務ニ從事スル警察官吏ヲシテ之レト連絡協  
調ヲ保チ其ノ施行ヲ完全ナラシメ以テ傳染病豫防上萬遺憾ナキヲ期スヘキ様通牒セリ

九月十八日府令第九六號公布

府令第八六號流行性其他ノ患者ヲ診斷シ又ハ死體ヲ檢案シタル場合届出方ノ件中第一條「麻  
疹」ノ次ニ「百日咳、風疹、水痘」ヲ加フ

九月三十日府令第九十七號公布

「コレラ」豫防ノ爲傳染病豫防法第十九條ニヨリ神戸港内ニ於テ漁撈シ又ハ同港内ヲ通過シ  
タル魚介類其他病毒傳播ノ虞アル物件ノ移入ヲ停止スル旨公布セリ

九月三十日「コレラ」豫防ニ關スル取扱方ノ件通牒

醫師會長及市郡各署長宛通牒セリ

十月二日付ヲ以テ

九月二十六日以降魚介類ノ移入禁止ニ關スル府令公布

以前ニ於テ「コレラ」患者ノ發シタル神戸港ヲ經テ京都ニ移入シタル生魚賣買ノ取扱ヲナシ  
タル生魚取扱業者及其販賣先ノ健康状態ニ付相當注意警戒相成度旨京都、太秦、伏見、向日  
町、醍醐、宇治、井手、木津、龜岡、園部各署長宛通牒セリ

十月三日地方養蠶用料理下命相成タル料理人同家族同居人雇人等ニ對シ健康診斷並ニ保菌調査

施行方ニ關シ關係署長宛通牒セリ

十月三日京都就テニ對シ府令第九七號ヲ發布シタルニ就テハ貴市卸賣市場（其ノ以前ニ神戸港  
内ノ海水ヲ通過シタル生魚類ヲ移入セル事實有之ニ付之カ取扱ヲナシタル出入業者ニ對シ此  
ノ際相當警戒ヲ發セラル、様致度旨通牒ヲ發シタリ

十月六日皇宮警察部出張所長ヨリノ依頼ニ基キ十月一日以降京都皇宮大宮御所ニ條離宮其他大  
禮關係場所ニ出入スル參列者以下宮内職員商工業者職工人夫其他ノ關係者ニシテ傳染病患  
者發生ノ場合ニ於ケル調査報告方ニ付各署長宛通牒セリ

十月六日府醫師會長ニ對シ曩ニ協定シタル傳染病豫防上消毒方法指示ニ關スル件ニ付其ノ成績  
ヲ調査スル消毒方法ヲ指示セサルモノアリ依テ其ノ實行方更ニ督勵相煩度旨ニ付通牒セリ

十月七日死體檢案事務ニ付成績調査ノ結果著シク不良ナル成績ニ付綾部、福知山、舞鶴、新舞  
鶴宮津署長宛通牒セリ

十月十六日府令第一〇一號ヲ以テ十月十七日限り「コレラ」豫防ニ關スル府令第九七號廢止ノ  
旨公布シタリ右ニ關シ管外官署ヘ報告通告セリ

十月七日、八日大禮使車馬部土岐事務官一行ト打合會衛生課長各係長出席

十月二十二日水道水源池警備計劃打合會

京都市ノ水道水源池警備ニ付市ヨリ保健部長電氣局長等來廳警察部長室ニ於テ各課長列席打  
合會ヲ開催

十月二十七日大饗第一日第二日ノ儀御用料理人ニ關スル件

大饗第一日第二日ノ儀ニ際シ御用料理御下命ノ貴管下ニ於ケル中央亭精養軒東洋亭ニ對シ健  
康視察其他ノ狀況至急御回報煩度旨警視總監監照會セリ

十一月二十七日京都府令第一一號ヲ以テ十一月三十日限り左記ノ諸府令ヲ廢止スル旨公布セ  
リ

精神病患者監護ニ關スル事項

一、昭和三年京都府令第四二號痘瘡豫防ニ關スル件  
 一、昭和三年京都府令第五二號死體檢案ニ關スル件  
 一、昭和三年京都府令第六八號臨時種痘ヲ受クル件  
 一、昭和三年京都府令第八六號流行性感胃其ノ他ノ患者ヲ診斷シ又ハ其ノ死體ヲ檢案シタル場合ノ届出方ノ件  
 同日京都府訓令第三八號ヲ以テ左ノ訓令ハ十一月三十日限り之ヲ廢止スル旨公布セリ  
 一、昭和三年京都府訓令第一七號死體檢案ニ關スル取扱方ノ件  
 八月六日精神病患者取締ニ付關係各署長及病院代理者ト協議會開催ス  
 八月七日精神病院收容力調査ノ件關係各署長へ通牒セリ調査ノ結果五病院最大收容餘力三二三名ト判明ス  
 他府縣ニテ許可ヲ受ケ府下精神病院ニ入院中ノ患者調査ノ結果ハ兵庫縣外二府十八縣一四一名ト判明ス  
 入院監置及私宅監置ノ精神病患者調査並ニ各監護義務者ノ資産ノ程度調査方ノ件各署長へ通牒ス調査ノ結果入院監置三七二名私宅監置八六名中資産乏シキモノ七三名八月十五日監置ノ必要アル精神病患者調査方ノ件關係署長へ通牒調査ノ結果監置ノ必要アル者一七三名公費ヲ以テ監置スル要アルモノ九八名  
 九月一日兵庫外二府十八縣ニ對シ其ノ府縣ニテ許可ヲ受ケ府下精神病院ニ入院中ノ患者ニシテ未治輕快ノ儘監置廢止セントスル場合ノ處置ニ付照會  
 九月三日監置廢止セントスル精神病患者ニシテ未治ノモノハ監置ヲ廢止セシメサル様各署長へ通牒ス當府許可他府縣ノ精神病院ニ入院中ノ患者ノ監護義務者ニ對スル大禮期間中監置廢止セシメサル様各署長ヨリ諭示セシム  
 九月十四日監置ヲ廢止セントスル精神病患者取締ニ關シ關係警察署及各病院宛十月一日ヨリ協定

事項實施ノ通牒ヲ發ス

九月十五日京都府令ニ公費委託患者收容スルコトヲ指定ス  
 九月七日ヨリ精神病院私宅監置室視察ヲ開始私宅監置精神病患者實狀調査  
 十月廿六日ヲ以テ全部終了視察ノ結果ニ付各々適當ナル措置ヲ命シタリ  
 九月二十八日府下各署長ニ對シ曩ニ調査シタル監置ノ必要アル患者一七三名ノ措置ニ關シ十月二十日迄ニ監置ノ手續ヲ了スル様ニ通牒セリ十月末現在ニ於テハ豫定ノ通り措置ヲ了セリ  
 十月三十日大阪府下十月三十一日兵庫縣下ノ主要ナル精神病院ヲ視察シ各病院長ニ對シ大禮期間中患者逃走セシムルコトナキ等ナキ様監護上特ニ注意ヲ依頼ス  
 十一月三日精神病患者取締ニ關スル件通牒  
 警視總監並各道府縣長官宛未治又ハ輕快ノ儘ニテ廢監置退院スル者ノ中ニハ暴行其ノ他危激ナル行動ニ出ツル者尠カラス大禮御舉行ノ期間中如斯者ノ徘徊ヲ防クタメ之等ヲ調査シ監護義務者ニ繼續監置スヘキヤウ諭示シ又ハ監置ヲ命シ若クハ代用精神病院ニ入院セシムル等ノ方途ニ出ツルコトトシ之カ取扱トシテ監置廢止ノタメ診斷書作製方申出タル時ハ病院長ヨリ所轄警察署ニ申告セシメ當府醫師立會ノ下ニ診斷スヘキヤウ協定シ以テ取締ノ目的ノ達成ヲ期スルコトト相定メ且ツ他府縣ニ於テ許可ヲ受ケ府下精神病院ニ入院セル者ニ對シテハ關係各府縣ニ照會シ十月一日ヨリ之ヲ實施致シオルニツキ取締上參考ノタメ通報セリ  
 十一月二十三日精神病患者警戒ニ關シ警告

岩倉、川越兩精神病院、府立醫大附屬醫院花園分院、京都府病院各院長宛  
 天皇陛下ニハ本日京都へ御還幸アラセラレ二十六日東京へ御還幸遊ハサ、ル迄ハ毎日各所へ行幸アラセラル、ヲ以テ特ニ患者ノ警戒取締ヲ嚴ニシ逃走其ノ他ノ事故ナキ様留意相成度旨警告セリ  
 九月十七日京都市長ニ對シ癩患者一時救護所ノ設備其ノ他ニ關シ注意ヲ促ス爲ニ通牒ヲ發ス

癩患者及行旅病人

ニ關スル事項  
物品調度保管ニ關スル事項  
大禮關係豫算經理ニ關スル事項

九月二十三日市部及伏見署部内一齊ニ癩患者取締ヲ實施ス松原署管内ニテ三名ヲ救護シタルノ  
十月三十日浮浪癩患者一齊取締ニ關スル件通牒市内伏見署長ニ對シ十一月一日ヲ期シ一齊取締  
ヲ施行スヘキ様通牒セリ  
九月十二日大禮期間中内務省ヨリ出張ノ衛生局事務室及衛生局長室ノ調度ニ付庶務課長會計課  
長ト共ニ協議ス  
防疫職員定員増加  
三月十六日付ニテ豫テ申請中ナリシ防疫監吏定員五十五名防疫醫定員三十三名ニ増加ノ件許可  
アリ昭和三年四月一日以降之ヲ實施ス  
大禮費豫算確定  
府費ニ於テ八萬二千圓要求ノ處三月二十六日四萬二千圓ニ削除可決  
國費ニ於テハ昭和二年九月十日十七萬九千圓要求ノ處六月八日八萬圓ヲ内務省ヨリ受領ス  
家畜防疫職員増加  
四月一日ヨリ大禮家畜傳染病豫防ノ爲臨時獸醫十名増員配置セリ

府大禮衛生費 昭和四年二月末日現在

科 目	豫 算 額	支 出 額
大禮施設費	五四、四八六、〇〇〇	四八、二一六、二三〇
衛生費	五四、四八六、〇〇〇	四八、二一六、二三〇
傳染病豫防費	五四、四八六、〇〇〇	四八、二一六、二三〇
癩豫防費	四、三五〇、〇〇〇	三、五三三、五四〇
家畜傳染病豫防費	二、四八四、〇〇〇	二五〇、五五〇
狂水病豫防費	三、六六七、〇〇〇	三、四四六、七四〇
精神病者監護費	三八一、〇〇〇	三五〇、九四〇
保健衛生費	三九、九九一、〇〇〇	三七、九八六、〇〇〇
工場衛生費	九三二、〇〇〇	八七七、七九〇
	二、六八〇、〇〇〇	一、七七〇、六七〇

(3) 大 阪 府

御大禮ニ關スル衛生施設事項

御大禮ニ關スル衛生施設事項ハ内務省ノ通牒ニ準據シ之ヲ各警察署長ニ通達スルト共ニ各署衛生事務主任者ヲ警察部ニ召集シ  
實施方法ニ關シ精密指示スル所アリ而シテ市區町村長ニ對シテハ市區町村長會議ニ際シ右施設事項ノ實施ニ關シ警察署長ト協  
力シ細心實施ニ努メ國家ノ盛儀ニ對シ秋毫ノ支障ヲ醸サランコトヲ示シテ之ヲ激勵スル所アリシカ各警察署長ハ此旨ヲ體シ  
直ニ專務員ヲ増加シテ取締ニ從事シ又ハ日ヲ定メノ特別勵行ヲ爲シ或ハ派出所、駐在所員ヲシテ特ニ取締ヲ爲サシムル等着々  
トシテ其ノ實ヲ擧ケ又一面ニハ衛生上取締ヲ要スル營業者又ハ組合長ヲ警察署ニ招致シテ營業上心得ヘキ事項ヲ指示シテ之カ  
實行ヲ獎勵スル所アリタレハ各組合ハ擧テ印刷物ヲ配布シテ大ニ注意ヲ喚起シ且組合長ハ視察ヲ周到ニシテ實行ノ徹底ヲ期シ

タリ、而シテ一面衛生組合青年團其ノ他ノ團體ニ協力ヲ求メ講演ニ路傍演説ニ活動寫真ニ大ニ大衆ノ注意ヲ惹キ又別ニ「パンフレット」ヲ配布シテ之カ宣傳ニ努ムル等各方面ハ緊張裡ニ活動ヲ續ケタルト一面府民奉公ノ至誠ニ依リ曠古ノ盛儀ニ些ノ支障ヲ醸ササリシハ欣快トスル所ナリ、以上ノ方針計劃ニ基キ實施シタル概況以下記載スル所ノ如シ

一 飲料水ニ關スル件

上水道ノ未タ普及セサル大阪市ノ周圍部及郡部ニ對シテハ常ニ飲料水ノ取締ニ留意シ御大禮ニ關シテハ時々檢水ヲ施行スルト共ニ成績不良ノモノニ對シテハ使用ヲ制限シ井戸側流シ場ノ如キ附屬設置物破損シテ汚水滲透ノ虞アルモノニ對シテハ之カ修理改善ヲ促カシ雨水惡水ノ井中ニ點滴スルモノニ對シテハ覆蓋ヲ設置セシメ又ハ唧筒ノ裝置ヲ爲サシムル等々取締ノ實ヲ舉ケシカ郡部寢屋川支流及恩智川(主トシテ北河内郡及中河内郡ノ一部)沿岸ノ住民ハ古來河水ヲ使用スルノ慣習アルヲ以テ之ニ對シテハ此機會ニ於テ河水使用ノ危險ナルコトヲ諭示シ漸次之ヲ改メシメ其他井戸ヲ新設シ井戸浚ヲ獎勵シ瀘過裝置ヲ勸奨スル外井戸改良ニ關シ講演會ヲ開キ浪花節ヲ利用シテ智識ノ啓發ニ努ムル所アリタルヲ以テ漸次改良ノ域ニ進ミツ、アリ今飲料水ニ關シ各署ニ於テ取締ヲ爲シタル成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

一 不良水ノ使用方法ニ改善ヲ加エタル件數

二、一九五件

一 共同井戸ニ對シ井戸側流シ場ニ改善ヲ加エタル件數

一、一〇〇件

一 堀井戸ニ唧筒ヲ据付ケタル件數

三四九件

一 衛生取締ヲ要スル諸營業者ニ水道水使用ヲ實用セシメタル件數

一〇六件

一 水道栓ヲ増設セシメタル件數

一七三件

因ニ大阪市ニ於ケル上水道送水能力ハ一日二百十萬石給水栓二十六萬餘個給水戸數三十九萬七千戸ニ達セルモ新編入區域ハ尙普及セサル場所多々アリ爲ニ昭和元年二年度ニ於テ工費百三十五萬圓ヲ以テ鐵管ヲ敷設スルコト、シ目下工事中ニ在リ而シテ其水質ニ付テハ市立衛生試驗所ニ於テ一週三回化學的細菌學的檢査ヲ行ヒツ、アリ

二 清潔保持ニ關スル件

清潔保持ハ衛生上風致上至大ノ關係ヲ有スルハ素ヨリ論ヲ待タサル所ナルヲ以テ平素ニ於テ極メテ嚴重ニ取締ヲ施行スル所ナリ殊ニ本年ハ御大禮ノ關係ヲ考慮シ夏期清潔方法施行ニ際シテハ一層ノ注意ヲ拂ヒ其徹底ヲ期シタリ就中大阪市ノ如キ縱横ニ河川ノ貫流スル都市ニ在リテハ此等ニ塵芥汚物ヲ投棄スル者少ナシトセサレハ特ニ注意取締ヲ行ヒタル外街路ニ沿フタル下水溝渠ノ浚深ハ市又ハ衛生組合ヲシテ之ヲ行ハシメ其側壁ノ破損セルモノハ之カ修繕ヲ行ハシメタリ又街路ノ撒水ハ衛生組合又ハ他ノ團體ヲシテ之ヲ行ハシメ全市遺漏ナキヲ得電車線路及電車内ノ撒水ハ市ヲシテ之ヲ勵行セシムルト共ニ何レモ水道水ヲ使用セシメ更ニ定期大掃除ノ外浸水地域及低級集落地域ニ對シテハ臨時清潔方法ヲ施行セシメタル外道路橋梁等ノ義務者ナキ場所ハ市ヲシテ遺漏ナキヲ期セシメ空地其他不潔ニ陥リ易キ場所ニ對シテハ塵芥投棄禁止ノ榜示ヲ立ツル外義務者ヲシテ板圍ヲ爲サシメ又ハ衛生組合ヲシテ之ヲ整理セシメ路面ヲ汚カス牛馬糞ノ如キハ義務者ノ判明スル限り掃掃ヲ強制スル外衛生組合ヲ勸誘シテ之ヲ取除カシメ又禽畜飼養場又ハ厩舎ノ如キ集團ニ對シテハ汚物ノ搬出ヲ勵行セシメ夏期ニ於ケル蠅ノ發生ヲ防止スル爲徹底的ニ石油乳劑ヲ撒布セシムル外防臭設備ヲ厲行スル等凡ソ衛生上必要ト認ムル事項ニ對シテハ極力實績ヲ舉クルコトニ注意シタリ其成績左ノ如シ

一 下水溝渠ノ側壁ヲ修理シタル件數

二、一一六件

一 臨時清潔方法ヲ行ヒタル戸數

二、三〇九件

一 河川溝渠等ニ塵芥投棄ヲ取締タル件數

六、〇四一件

一 溝渠下水ノ浚深ヲ爲サシメタル件數

一、五一二件

夏期清潔方法ノ施行ハ七月十一日ヲ以テ開始シ府下全般ニ涉リ日割ヲ定メ左記方法ヲ示シテ之ヲ施行シ九月末日ヲ以テ結了シタリ其實施戸數左ノ如シ

方 法

一 午前七時ヨリ午後三時迄ニ行フコト

二 實地及家屋ノ内外ヲ掃除スルコト

- 三各室ハ戸又ハ障子ヲ開放シ採光換氣ヲ充分ニスルコト
- 四疊敷物寢具其他家財ハ屋根其他可成日光ノ直射スル場所ニ搬出シ乾燥スルコト
- 五床下ハ通風ヲ良クシ甚シク濕潤スル場所ニハ乾土類ヲ撒布スルコト
- 六宅地内ニテ汚水停留シ又ハ濕潤甚シキ場所ハ之ヲ埋メ又ハ排水ヲ充分ニスルコト
- 七家財ヲ道路ニ搬出スル場合ハ左ノ標準ニ依ルコト
  - イ一般道路ニテハ其中央部ニ約一メートルノ余地ヲ存スルコト
  - ロ電車軌道ニ沿ヒタル道路ニテハ軌道敷石ノ外端ヨリ一五メートルノ距離ヲ存スルコト
- 八蚤ヲ少クスル爲床ト疊下ノ間ニ新聞紙ヲ敷クコト
- 九係員ノ検査ヲ終ル迄掃除シタル現狀ヲ保持スルコト
- 一〇當該施行濟證ハ門戸見易キ場所ニ貼付スルコト
- 一一前記ノ外係員ニ於テ必要ヲ認メ特ニ指示スル事項ヲ行フコト

塵芥ハ必ス正午迄ニ係員指示ノ場所ニ持出スコト

施行戸數左ノ如シ

大	阪	市	四七九、九五戸	
堺	市	二七、三七九戸		
岸	和	田	市	一九、八九二戸
部	部	二〇五、七一六戸		
計	七三二、九三八戸			

大阪市ニ於ケル下水道及溝渠ノ浚渫狀況

大阪市ニ於ケル私設ノ溝渠ヨリ排除スル汚泥ハ各戸ヲシテ市長指定ノ場所ニ設ケタル汚泥函ニ蒐集セシムル定メナルヲ以テ各

町ニ於テハ組合ヲ設ケ便宜上人夫ヲ雇フテ之ヲ蒐集セシメタリシカ衛生組合設置後ハ専ラ同組合ニ依テ行ハレ各組合ハ掃除夫ヲ特置シ相當ノ設備ヲ以テ蒐集ニ從事シツ、アリ

汚泥函ノ配置數ハ六十三箇所ニシテ之ニ蒐集セラレタル汚泥ハ日々市ノ直備人夫ヲシテ運漕船ニ依リ沼池等ノ埋立用ニ供セリ其量一ケ年八百萬貫之ニ要スル運漕船ハ四十隻ニ及フ

大阪市ノ溝渠ハ大部分下水道ニ改良セラレ今尙旺ンニ工事中ナリ而シテ之カ浚渫ヲ要スルモノハ下水道及未改良溝用惡水路等ノ延長四十四萬六千間會所、マンホール、集水口等ノ數二十二萬七千個未改良溝用惡水路等ノ面積二十萬八千坪ヲ算シ汚泥排出量ハ二千三百三十三萬貫(一萬三千三百餘坪)ニ達セリ而シテ之カ浚渫作業ハ市内ヲ四浚渫區ニ別テ定期浚渫ヲ行ヒ又別ニ特別浚渫區ヲ設ケテ臨時ノ浚渫ヲ爲ス定期浚渫ハ舊市域ニ於テハ毎月一回新市域ニ於テハ年三回之ヲ行ヒ臨時浚渫ハ新市域方面ノ用惡水路其他特別ニ故障停滯ヲ來タセル箇所ニ對シ之ヲ行フ而シテ之ニ依テ排出シタル汚泥ハ主トシテ沼池又ハ低濕地ノ埋立用トシテ之カ運搬ニハ汚泥車六十五輛汚泥船四十艘ヲ使用セリ

三 塵芥處分ニ關スル件

大阪市内ニ於テ各戸ヨリ排出スル塵芥ハ一ケ年總量實ニ七千九百萬貫ニシテ一日平均二十一萬貫ニ達セリ而シテ之カ蒐集搬出ハ各戸ニ於テハ汚物掃除法ノ規定ニ依ル塵芥容器ヲ備ヘ之ニ蒐集シ市ハ該容器ノ塵芥ヲ排除シテ之ヲ處分スルモノニシテ其排除ハ人家ノ粗密ニ依リ必スシモ一定セス或ハ毎日又ハ五日目(大部分ハ三日目)毎ニ直備人夫ヲシテ有蓋荷車ニ依リ排除運搬セラル運搬車ニ積込ミタル塵芥ハ一部ハ直ニ處分地ニ運搬シ他ハ一旦塵芥積出場ニ運搬シ舟運ノ便ニ依リテ處分地ニ運送セラル塵芥積出場ハ市内(舊市)ニ二十八箇所アリ何レモ河岸地ニ設ケ棧橋式ト稱シ運搬車ヨリ直接運漕船内ニ移スコトヲ得ル方式ヲ以テス此方式ニ依リ難キモノハ蒐集場ヲ建設シ塵芥ノ散亂ヲ防キ防臭防蠅ノ設備ト且停滯セサル様搬出ヲ爲シツ、アリ

塵芥處分 從來其大部分ハ築港埋立ニ利用シ一部ハ肥料トシテ農家ニ交付セシカ埋立工事ノ進捗ニ伴ヒ投棄困難トナリシ結果之ヲ焼却スルノ案ヲ立テ明治三十六年木津川尻ニ次テ明治四十年市外長柄ニ燒却場ヲ設置セシカ後之ヲ廢シ大正五年更ニ木津川尻ニ燒却場ヲ新設シ之ヲ木津川燒却場ト稱セリ本燒却場ニハ燒却爐自然通風式一八爐強壓通風式一六爐ヲ有シ燒却能力一日



約十萬貫ナリ他ノ一ハ今宮塵芥焼却場ニシテ舊西成郡今宮町ノ設營ニ係ルヲ市域擴張ニ際シ編入引繼ヲ受ケタルモノニシテ強  
壓通風式火爐六個ヲ備ヘ一日約一萬貫ノ燒却能力ヲ有ス

以上二箇所ノ燒却場ニ於ケル一日燒却能力ハ約十一萬貫ニシテ之ヲ現在一日ノ排出量ニ比スレハ其處分量ハ二分ノ一ニシテ尙  
及ハサルコト遠ケレハ市ハ更ニ加熱送風式八爐強壓送風式八爐ヲ木津川燒却場ニ増設セントシ目下當府ニ出願中ニ在ル外東成  
區放出町ニ更ニ燒却場ヲ新設セントシ目下設計中ニ在リ右完成ノ上ハ全市塵芥ハ之ニ依テ完全ニ處分シ得ト雖目下ニ在リテハ  
右燒却ノ外陸上無害地投棄、海中投棄及廣島地方へ賣却又ハ府民ニ無償交付ヲ爲シテ辛フシテ全塵芥ノ處分ヲ爲シツ、アリ  
堺市、岸和田市ニ在リテハ汚物掃除法ノ規定ニ基キ監視吏員ヲ置キテ排除ヲ監視シ塵芥ハ之ヲ市外ニ搬出シテ埋立ノ用ニ供シ  
豊能郡豊中町ニ在リテハ燒却場ヲ有シ之ヲ處分シ其ノ他ノ町村ニ在リテハ常備人夫ヲシテ搬出燒却セシメ又ハ衛生組合ヲシテ  
排除ヲ爲サシメ農業地區ニ在リテハ總テ堆肥土トシテ處分ス

府下ニ於ケル塵芥處分ハ以上概記スル所ノ如シ而シテ御大禮ニ對スル施設トシテハ戸口稠密ノ聚落ニ於テハ往々塵芥ノ堆積ヲ  
免カレサルヲ以テ之ニ對シテハ市町村當局ニ對シ排除ノ回数ヲ増加セシメ又ハ組合ヲ督勵シテ排除ノ周到ヲ期セシメ一面塵芥  
積出場ニ對シテハ取扱中多量ノ塵芥ヲ河川内ニ墜落セシメ又ハ甚シク粉塵ヲ飛散セシメ又ハ運搬中船夫カ故ラニ塵芥ヲ河川ニ  
投棄スルモノアルヲ以テ之ニ對シ適當ノ取締ヲ講スル外各戸ニ對シテハ容器ノ備付ケヲ怠ルモノハ之ヲ設備セシメ又ハ修理ヲ  
強制スル等凡ソ法規ノ命スル所ハ遺漏ナク取締ヲ爲シタリ其成績左ノ如シ

- 一新タニ塵芥容器ヲ備付ケセシメタル件數 一三、三三三件
- 一塵芥容器ヲ修理セシメタル件數 八九、八三五件
- 一塵芥出搬出ノ回数ヲ増加セシメタル件數 五七九件

#### 四 尿尿處分ニ關スル件

大阪ニ於ケル各戸ノ尿尿ハ古來農民トノ間ニ直接汲取ノ契約ヲ爲シ農民ハ每年末若干ノ糯米又ハ野菜等ヲ交付シテ無料汲取ヲ  
爲スモノ、外市内尿尿營業者カ若干ノ代價ヲ提供シテ汲取契約ヲ爲シ此間極メテ圓滿ニ何等ノ紛議ヲ醸スコトナカリシカ市及

接續町村ニ於テ人口漸次増加シ尿尿ノ排出從テ増量シ生肥トシテノ供給過剩ヲ招キ一面近郊ニ於ケル農耕地ノ減少ハ一層尿尿  
ノ需用ヲ減退セシムルニ至リシカハ從來ノ汲取習慣ニ變革ヲ來タシ反テ相當料金ヲ支拂フニアラサレハ之ヲ汲取ラサルノ實況  
トナリ益尿尿ノ停滯ヲ甚シカラシメ一日モ早ク適當ノ處分方法ヲ決定スル必要ニ迫リタル折柄偶々大正六年北攝地方一帶ノ水  
害ニ依リ尿尿ノ需用全ク杜絶シタル爲大阪市内ハ忽チ大停滯ヲ來タシ衛生上憂慮スヘキ状態ニ陥リシヲ以テ市ハ一定ノ期間ヲ  
定メ無料汲取ヲ斷行シ汲取者ニハ相當賃金ヲ支拂ヒ該尿尿ハ汲取者ニ於テ隨意處分セシムルカ如キ應急處置ヲ講セシカ其後退  
水シテ平常ニ復セシモ汲取状態ハ依然トシテ舊ニ復セス到ル處停滯ヲ訴ヘ市民衛生上默過スヘカラサルニ至リタル爲大正九年  
九月尿尿處分市營調査會ヲ開キ先ツ停滯ニ苦ムモノ、要求ニ應シ有料汲取ヲ施行シ汲取リタル尿尿ハ加工其他適宜ノ處分ヲ爲  
サンコトヲ提議シテ之ヲ可決シ次テ市會ニ於テ該事業案及之ニ關聯スル豫算案ヲ可決シタルヲ以テ大正十年六月汲取ヲ開始シ  
以テ今日ニ及ヘリ

汲取ノ方法 汲取ヲ望ムモノ、申込ニ依リ一荷十錢ヲ以テ之ヲ汲取リ所定ノ場所ニ搬出ス容器ハ樽詰トシ臭氣ノ發散ヲ防ク爲  
密栓ヲ施シ之ヲ運搬シ河中ニ碇繋セル運漕船ニ搬入スルモノニシテ之ヲ遠ク徳島和歌山縣地方ニ送付スル外大部分ハ京都府下  
ニ販路ヲ有スル仲買業者ニ月額三百七十五圓ヲ以テ之ヲ交付シ目下ノ處支障ナク行ハレツ、アル實況ニシテ大正十五年中ニ汲  
取リタル荷數ハ尿尿ヲ合ハセテ八十一萬二千八百餘荷汲取戸口延二十七萬五千餘戸ニ達セリ

汲取區域 北區一圓、東淀川區ノ内元豐崎町全部此花區ノ内六軒家川以東、西區一圓、港區ノ内境川運河以北及永樂橋筋以北  
東區、南區、天王寺區、浪花區各一圓ニシテ此區域内ニ於ケル希望者ノ申込ニ依リ臨時ニ之ヲ汲取ルモノナレハ其戸數ハ一定  
セス而シテ其汲取回数ハ一箇月二回位ニシテ之ニ要スル人夫ハ常備七十二人臨時三十二人ヲ以テ之ニ從事セシム

以上ノ汲取事務ヲ處理スル爲市ハ岩崎、高麗橋、瓦屋町玉江橋ノ四箇所ニ保健部出張所ヲ設ケ一切ノ事務ヲ處理シツ、アリ  
以上ノ外大阪市ノ汲取地域外ニ屬スル汲取リハ有料ヲ以テ汲取業者ニ托シ又ハ衛生組合ノ事業トシテ汲取ヲ爲シツ、アリ之ニ  
對スル御大禮ノ施設トシテハ各汲取業者ヲ警察署ニ招致シテ汲取ヲ勵行シ停滯セシメサルト共ニ其運搬時限等ヲ誤ルナカラシ  
コトヲ諭示シ且衛生組合ヲシテ時々石灰末ノ撒布ヲ爲サシメタリ

公共便所 大阪市内ニ於ケル市設ノ公共便所ハ二百七箇所ニシテ内大便所ヲ併置セルモノ六十一箇所(内三箇所ハ淨化装置)小便所ノミノモノ百四十六箇所ナリ而シテ其位置ハ市勢ノ發達ニ伴ヒ自然不適當トナルモノ又ハ増設ヲ要スルモノモ少ナシトセサレハ此等ニ對シテハ市當局ニ知照シテ撤廢又ハ増設ヲ促シ設備不完全又ハ修理ヲ要スルモノハ之ヲ改良セシメツ、アリ爲ニ近來新設セラル、便所ハ煉瓦造モールタル塗ノ近世式ニシテ外觀内容共ニ見ルヘキモノ少ナカラス之ニ對スル掃除ハ市ハ常備人夫ヲ置キ自轉車ヲ利用シテ一日多キハ七八回少ナキモ二回ノ掃除ヲ行ハシメ以テ清潔ヲ保持シ夏期及傳染病流行時ニ在リテハ生石灰ヲ以テ一日一回消毒ヲ行フ其汲取リハ汲取業ト契約シ料金ヲ支拂ヒ毎早朝之ヲ汲取ラシメ遺憾ナキヲ期セリ

其ノ他劇場、寄席、活動寫眞館、市場其他多衆ノ集合ヲ目的トスル營業者ノ設置セル共同便所ニ對シテハ御大禮ノ爲特ニ臨監ノ警察官吏又ハ專務員ヲ督勵シテ掃除、汲取及消毒方法、手洗裝置等ノ取締ヲ勵行シテ遺憾ナキヲ期シタリ

水漕便所 水漕便所ヲ設置スル者千百六十四箇ノ多キニ達シ尙續々トシテ出願ノ狀況ナリ之ニ對スル取締ハ平素警察署ヲシテ之ニ當ラシメ又時々建築課員ヲ派遣シテ設備ノ適否消毒ノ有無ヲ検査セシムル所ナルモ憾ムラクハ設置者ハ水漕便所ノ效用ヲ解セス單ニ放流スルコトヲ以テ能事了レリト爲シ設備ノ如キハ措テ顧ミス爲ニ濫ニ雜用水ヲ槽内ニ充滿セシメ又ハ塵芥ヲ投入シ甚シキハ消毒ヲ爲スヲ知ラサル向少ナカラス之カ爲ニ水漕便所ノ效用ヲ没却シ反テ衛生上危害ヲ招ク虞ナシトセサレハ本年六月建築課ニ於テ左記事項ノ印刷物ヲ各設置者ニ配付シテ注意ヲ喚起スルト共ニ之カ取締ヲ勵行シタリ

- 一 淨化槽上部ニ物置其他ノ建物ヲ建設セサルコト
- 二 マンホールノ蓋ハ閉閉ヲ自由ナラシムルコト
- 三 用便時ノ用紙ハ卷洋紙ヲ用ユルコト
- 四 塵芥其他ノ異物ヲ投入セサルコト
- 五 送氣孔ヲ閉塞セサルコト
- 六 排氣管ハ常ニ有效ニ保持スルコト
- 七 給水ヲ完全ニスルコト

八 消毒方法ヲ完全ニ持續スルコト

汚水一立方尺ニ對シ「クロール」石灰水百四十瓦ヲ滴下スルコト

- 九 排水管ニ故障ナキ様注意スルコト
- 十 自動排水唧筒ニ故障ナキ様注意スルコト
- 十一 槽内ハ少ナクトモ一年一回掃除ヲ行フコト
- 十二 臭氣漏出ノ場合ハ何レカモ故障ヲ生シタル徵候ナレハ槽内ハ勿論附屬器具ニ至ル迄調査シ破損又ハ不正ノ廉ハ直ニ修理スルコト

以上記載スル所ニ依リ取締ヲ爲シタル成績左ノ如シ

- 一 共同便所ノ改造又ハ修理ヲ爲サシメタル件數 一〇三件
- 一 共同便所ノ消毒方法及掃除ヲ勵行シタル件數 八〇一件
- 一 共同便所ノ汲取ヲ勵行シタル件數 六五一件
- 一 各戸便所ノ汲取ヲ勵行シタル件數 二、九八〇件

水漕便所ニ關スル取締狀況左ノ如シ

異狀ナキモノ	二六	酸化槽不完全ノモノ	二
給水ニ關スル不完全ノモノ	二二	消毒藥槽不完全ノモノ	一七
淨化槽上ヲ他ニ使用スルモノ	六	消毒藥槽ナキモノ	三〇
マンホール不完全ノモノ	一七	消毒藥ヲ使用セサルモノ	二〇〇
排便排氣汚水排水不完全ノモノ	四四	ポンプ不完全ノモノ	三一
送氣不完全ノモノ	二二	其 他	三七
撤水樋不完全ノモノ	二二	計	四七六

警察署ニ於テ取締ヲ爲シタル成績

浄化汚水清クシテ異臭ナキモノ

六八五

浄化汚水清カラス幾分臭氣アルモノ

一〇一

浄化汚水混濁臭氣甚シキモノ

二八

消毒薬槽ヲ設置シ完全ナルモノ

七六一

消毒薬槽ヲ設置セルモ破損其他ニ依リ不完全ナリト思料スルモノ

八二

消毒薬槽ノ設置ナキモノ

五二

消毒薬ヲ適度ニ使用セルモノ

五四一

消毒薬ヲ使用セルモ不充分ナルモノ

二〇八

消毒薬ヲ全然使用セサルモノ

一一五

完全ナルモノ

七三三

閉塞セサルモ完全ナラスト思料スルモノ

六九

閉塞シ故障アルモノ

二一

撒化樋曲折セス通水均一ニシテ完全ナルモノ

三五

撒水樋ヲ曲折シ通水均一ナラズ不完全ナルモノ

三五

閉塞セス完全ナルモノ

七一〇

閉塞セルモノ

六二

完全ナルモノ

二八九

被損等ヲ生シ故障ノ爲汚水消毒槽内ニ充滿シ酸化槽へ送氣不完全ナルモノ

二一

五 飲食物取締ニ關スル件

飲食物ハ直接ニ人ノ口唇ニ觸ル、モノナレハ其製造販賣ニ關シテハ特ニ嚴密ナル取締ヲ要スルハ素ヨリ論ヲ俟タス就中清涼飲料水、酒、酢、醬油其他酒精含有ノ飲料ヲ首メトシ菓子、罐詰、蒲鉾、其他有ユル飲食物竝陶磁器、珫瑯、鐵器ノ飲食物用器具及玩具、化粧品類ノ如キ其ノ製造販賣ニ至リテハ獨大阪市内ノ需用供給ニ止マラスシテ廣ク販路ヲ他府縣ニ及ホスヲ以テ當府ニ於ケル取締ノ寬嚴ハ直ニ當該府縣ノ取締ニ直接影響ヲ及ホシ其波及スル所極メテ大ナルモノアレハ當府ニ於テハ平素此點ニ留意シ常ニ周到ノ取締ヲ爲シ遺憾ナキヲ期スル所ナルモ御大禮ニ際シ民心ノ歡喜興奮ニ乘シ奸商輩カ不正品ヲ製造販賣シ又ハ不潔ノ物資ヲ供給シ或ハ際物のノ製品ヲ製造販賣スル等ノコトアラン乎之カ爲ニ不測ノ事項ヲ惹起スルコトアリテハ曠古ノ盛儀ニ對シ遺憾不少ヲ以テ特ニ取締機關嚴勵シテ之ニ方ラシメ視察臨檢ヲ勵行シ又時ニ必要ト認ムル物資ヲ收去シテ試驗ヲ行ヒ或ハ器具ニ對シ検査ヲ行フ等萬遺策ナキヲ期シタリ今之カ取締ニ關シ主要ナルモノニ就キ其狀況ヲ記載スレハ概ネ左ノ如シ

イ屠場、屠畜及輸入肉竝獸肉販賣店ノ取締

本項取締ニ付テハ左ノ係員ヲ定メ各警察署ト協力シテ取締ヲ實施シタリ

一 乳肉係主任技師 一名 副主任技師 一名

市 部

一 屠場及屠畜係

四名

一 輸入肉係

一名 (屠場及屠畜係ニテ兼務)

一 牛乳搾取場係

六名 (前二項ノ係員ニ於テ兼務)

一 牛乳検査係

一名 (屠場屠畜係ニ於テ兼務)

一 牛乳販賣店及獸肉販賣店係

四名 (獸疫係ヨリ應援)

郡 部

一 屠場、屠畜、牛乳搾取場牛乳検査及乳販賣店係

七名 (郡部駐在員ヲ以テ充ツ)

屠場 府下ニ於ケル屠場ハ公私ヲ合ハセテ九ヶ所ナリ之ニ對シテハ從來大阪府屠場タル木津川、今宮ニハ検査員各一名

郡部七ヶ所ニ對シテハ農會ノ技術員ニ囑託シテ検査ヲ行ハシメタルモ屠殺數漸次増加シ到底一人ヲ以テ之ヲ處理スル能ハサルニ至リタルヲ以テ昭和二年度ニ於テ市營屠場ハ之ヲ二名ニ増員シ郡部ハ處務ノ統一ヲ期スル爲メ囑託ヲ廢シテ專務検査員各一名ヲ配置シ警察官吏ト協力シテ生體検査ヲ首メ屠殺後各部ノ検査廢棄内臟ノ處置及繋留場、生體検査所其他器具ノ清潔、血液、汚水ノ處置屠夫ノ服裝並健康狀態ニ至ル迄凡ソ法令ノ命スル事項ハ細大漏サズ嚴重取締ヲ施行シ以テ食肉界ノ安全ヲ保持スルコトニ努メタリ

屠殺 大祭祝日ヲ除キ屠殺ヲ行フ午前九時ニ開始シ午後一時ヲ以テ終了ス

廢棄内臟ノ處分 一定ノ容器ニ收メ終了後消毒ノ上之ヲ焼却ス

血液ノ處分 大部分ハ乾燥シテ肥料又ハ染料ニ供セラレ一部ハ製劑ノ原料トナリ又生血ノ儘飲用ニ供セラル

内臟ノ處分 大部分ハ朝鮮人ノ食料トシテ販賣セラレ一部ハ焼肉トシテ坊間ニ販賣セラル

屠殺數 (自昭和三年十一月至同十一月)

牛 計 屠殺禁止數

三五七七六頭 三〇七三頭 一四七六頭 一一六七二頭 五一九九七頭 一頭

廢棄内臟數(同上) 牛 計 屠殺禁止數

病類別	牛	猪	馬	豚	計
結核	二四九	—	—	—	九
呼吸器	一三三四	—	八一	—	一九三九
消化器	四二四七	—	二三	—	七九
泌尿器	四六	—	二	—	七
運動器	一六五	—	一二	—	四七
循環器	四九	—	三	—	九

其他雜器 二八二 計 六、三七二 一二三 二、〇九四 八、五八九

輸入肉 輸入肉ハ目下殆ント青島ヨリ冷蔵船ヲ以テ輸入セラル之カ検査ハ築港棧橋附近保税地帯ニ於テ行ヒ主トシテ檢印ノ有無並肉質變化ノ有無等ヲ検査ス輸入肉量左ノ如シ

(自昭和三年十一月至同十一月) 三六〇斤ヲ以テ一頭ニ換算

青島	肉	舌	豚	濠洲
七、九九三、六二〇斤	一三、一五〇斤	九〇斤	舌	一、八〇〇斤
二二、二〇四頭	—	一頭	—	—

獸肉販賣店 府下ニ於テ該營業者ハ千八百餘戸アリ之ニ對シテハ店舗ノ清潔ヲ首メ防蠅除塵ノ設備ヲ勵行シ又人ノ目ニ觸レ易キ場所ニ於テ獸體ヲ解キ其他人ノ嫌忌スヘキモノヲ露出セシメサルコトヲ取締ルト共ニ行商人ノ肉質検査ヲ行ヒ不良肉又ハ腐敗肉ノ販賣ヲ禁シ一面從業者ノ健康診斷ヲ行ヒ以テ取締ノ周到ヲ期シタリ其成績左ノ如シ

一 臨檢度數 一四二二度 適當ト認ムルモノ 一二七一件 不適當ト認ムルモノ 一五〇件

一 健康診斷ヲ行ヒタル人員 二五四二人(トヲホム 一八一人 結核疑似 八人) 不適當ト認ムルモノ、内最モ多數ヲ占ムルハ牛骨格納所ノ宜シキヲ得サルモノニシテ多クハ調理臺ノ下部ニ雜然トシテ投入セルモノ又肉切臺ハ刀痕ノ爲凸凹不整ニシテ徹底的拭淨困難ナルモノ又防蠅裝置不適當ノモノ等ニシテ之等總テ相當ノ措置ヲ命シタリ

牛乳搾取場及販賣店ノ取締 牛乳搾取場 當府下ニ於ケル牛乳搾取場ハ百三十八箇ノ外山羊飼養場一箇所アリ而シテ一日ノ生産量ハ夏期ニ在リテハ一

日平均百五十石冬期ニ在リテハ百石ヲ産シ一ヶ年平均一日ノ生産量ハ百三十石内外ニシテ此外兵庫、香川、和歌山、岡山、奈良ノ各縣ヨリ移入スルモノ一日約十石ニ及ヘリ

牛乳ノ検査ハ比重及脂肪含有量ノ成績ノミヲ以テ其良否ヲ決定スル如キハ未タ以テ牛乳衛生ノ要旨ヲ完フセルモノト謂フヲ得ス宜シク其淵源ニ遡リ乳牛ノ健康飼料飲水ノ良否畜舎ノ構造設備、搾取、瀘過、冷却、殺菌ノ適否從業者ノ健康及服裝ノ清否容器及量器ノ衛生的適否ヲ検査シ不正不適ノ行爲及其材料ヲ矯正シ以テ保健衛生ノ完璧ヲ期セサルヘカラス當府ニ於テハ平素爰ニ意ヲ注キ特ニ御大禮ニ際シテハ一層之ヲ勵行シテ遺策ナキヲ期シタリ

畜舎ノ衛生狀態保持ハ取締上難事トスル所ナリ而カモ彼等ノ多クハ濫ニ採算ノ上ニ趨リ公衆衛生ニ對スル責任ヲ自覺セス其夏期牛乳需用増加ノ季節ニハ規定ヲ無視シテ隔離室内ニ健牛ヲ繋留シ又ハ認可ヲ受ケスシテ牛舎ヲ増設シ牛糞汚物ヲ堆積シ牛舎内ヲ不潔ノ儘放任シ防蠅設備並搾乳上ノ規定ヲ等閑ニ附スル等ノ違反事項少ナカラス之等ニ對シテハ平素視察ヲ嚴ニシ或ハ處分シ或ハ戒飭ヲ加ヘ又ハ畜牛結核検査ノ機會ヲ利用シテ指導督勵ニ努ムル所アリタレハ漸次改善ノ實績ヲ擧ケツ、アリ然レトモ都市ノ發展ニ伴ヒ搾乳場ノ周圍ハ人家稠密トナリ位置不適當トナリタルノミナラス蚊蠅飛散シ臭氣近隣ニ及フモノ又ハ腐朽シテ改造ヲ要スヘキモノ二三ナキニアラサルモ此等ハ經營上速ニ實現スル能ハサルヲ遺憾トス其視察成績左ノ如シ

一 臨檢度數	一一二五
一 場内清潔ニ關スルモノ	否適 九〇六件
一 汚物汚水排除ニ關スルモノ	否適 二一九件
一 設備ニ關スルモノ	否適 九〇一件
一 瀘過及消毒ニ關スルモノ	否適 五二七八件
一 搾乳取扱ニ關スルモノ	否適 四三九件
一 從業員ニ關スルモノ	否適 一〇九五件
	否適 三〇三件
	否適 一〇五一件
	否適 七四一件
	否適 二一九九件
	否適 五〇一件

一 無認可ニテ建物ヲ建設スルモノ	四九件
一 隔離室ニ健牛ヲ繋留スルモノ	一六件
一 乳牛檢診頭數	一九一六頭
一 其他注意事項	三六五件

牛乳販賣店 府下ニ於ケル牛乳販賣店ハ七百九十六箇所アリ此外搾乳業者中ノ有志者共同シテ大阪牛乳産業組合大阪ミルクラブラントヲ設立シホルダー式低温殺菌器ニ依リ殺菌シタル牛乳ヲ發賣スル外均質牛乳ヲ販賣スルニ至リシハ乳界ノ一進歩ナリトス其他ハ高熱殺菌(八〇度以上)法ニ依ル牛乳ヲ販賣セリ此等營業者ニ對シテ平素視察ヲ嚴ニシ消毒裝置ノ完備ヲ期スルモ尙且違反セルモノアル外冷却裝置ノ適當ナラサルモノ又ハ店內ヲ雜用ニ供スルモノ少ナシトセス此等ニ對シテ嚴ニ戒飭ヲ加ヘ又ハ之ヲ處分スル外牛乳瀘ノ洗濯運搬車ノ清潔及從業者ノ健康診斷ヲ勵行スル外牛乳ノ品位ヲ偽リテ販賣スル者等ニ對シ取締ヲ勵行シタリ其成績左ノ如シ

警察部ニ於テ爲シタル取締成績	
一 牛乳販賣店臨檢	度數 九七九度
	注意件數 三六一件
一 牛乳検査	適當ノモノ 一二三一件
	不適當ノモノ 一二六件
警察署ニ於テ爲シタル取締成績	
一 牛乳搾取場及販賣店	臨檢度數 三七二八度
	注意件數 二九三二件
一 牛乳請賣人及配達人健康診斷 人員	一一九六人
	トヲホリム 七二人
	結核疑似 一人

ハ其他ノ飲食物及飲食物用器具ノ取締  
本項ニ關シテハ衛生課化學室ニ常時技師一名技手五名ヲ配置シテ取締ヲ爲スモ御大禮ニ關シ取締ノ勵行ヲ期スル爲臨時技手一名ヲ増員シタル外藥品賣藥ノ擔當ヨリ技手七名ヲ應援セシメ之ヲ警察ノ區劃ニ依リ擔當ヲ定メ警察官吏ト協力シテ左記箇所ニ對シ取締ヲ施行スル外警察署ニ於テハ專務員又ハ受持巡查ヲシテ隨時臨檢視察ヲ爲サシメ又ハ日ヲ定メテ特別勵

行ヲ爲シ以テ取締ノ目的ヲ達スルコトニ努力シタリ

- 一 一般飲食物及飲食物用器具ノ販賣店
- 二 食物製造所特ニ盛夏ニ際シテハ製氷所、清涼飲料水ノ製造所及販賣店
- 三 食品販賣店(露店行商夜店ヲ含ム)
- 四 食品市場
- 五 旅館料理屋飲食店食堂
- 六 劇場寄席活動寫真館其他ノ興行場

以上ノ箇所ニ對シ警察部ニ於テ取締ヲ施行シタル成績左ノ如シ

一 料理屋飲食店食堂	臨檢數	五八六
	不良ト認ムル件數	一六八五件
一 公私設市場	臨檢數	一七八
	不良ト認ムル件數	五三一
一 食品製造所	臨檢數	四九
	不良ト認ムル件數	八一
一 劇場	臨檢數	七
	不良ト認ムル件數	六一
一 食料品販賣店	臨檢數	三七
	不良ト認ムル件數	一三
一 旅館	臨檢數	三二
	不良ト認ムル件數	三二

飲食物其他檢査成績左ノ如シ

品目	檢査件數	有害件數	品目	檢査件數	有害件數
人造氷	七八	四四	葡萄酒類	一七八	一〇
鑛泉	四	一	果實水薄	六六	一
ラムネノ類	二二九	六四	陶磁器類	二一	一
サイダーノ類	一六二	七	瑠璃鐵器	五九	一

品目	檢査件數	有害件數	品目	檢査件數	有害件數
鑛錫器具類	九〇七	二九三	葡萄酒類	四	一
其他ノ飲食物用器具	三一	五一	蒸餾酒ノ類	二	一
菓子類	三二四三	一〇	其他ノ酒精含有飲料	一七四	一
蒲鉾類	七〇九	一九	其他ノ飲食物	二二七	七六
罐詰瓶法類	五四三	一	防腐劑類	一	一
醬油	一二五八	一七	玩具類	二二	一
酢	三二六	一	其他	五四	一
清酒	一八三二	一六	計	一一二八〇	六〇八

警察署ニ於テ取締ヲ施行シタル成績左ノ如シ

- 一 飲食物製造所販賣店(露店夜店行商ヲ含ム)
  - 從業者ノ被服手指ノ清潔ニ關シ 臨時檢査數 一六八五一
  - 防蟻除塵ノ方法ヲ講セシメタル件數 注意件數 八八六七件
  - 清潔保持ニ關シ 二二七九九件
  - 器具洗滌水ニ注意ヲ與エタル件數 臨檢度數 一六八七九
  - 器具洗滌水ニ注意ヲ與エタル件數 注意件數 一三〇八四件
- 一 關係從業者ノ健康診斷人員 五六四七八人内トラホーム 三四六四人 結核及疑似 一六三三人
- 一 飲食物及飲食物用器具ノ衛生的檢査ヲ行ヒタル件數 一九六六四件
- 一 御大禮記念用品ニ有害着色染料檢査ヲ行ヒタル件數 二八〇件

食品市場 凡ソ市民ノ食膳ニ上ル魚菜中公私ノ食品市場ヲ通シテ個人ノ庖厨ニ分配セラル、モノ極メテ多シ從テ其販賣品並之カ取扱ニ關シテハ衛生上重大ナル關係ヲ有ス大阪市ニ於テハ社會事業ノ一トシテ曩キニ公設市場ヲ設置セシカ市民ノ便益少ナカラス多大ノ效果ヲ收メタルヲ以テ爾來各所ニ之ヲ設置セシカ一面之ニ刺戟ヲ受ケテ私設市場勃然トシテ起リ今

ヤ公私ヲ併セテ百六十二箇所ノ多キニ達セリ而シテ公設市場ニ在リテハ監督吏員ヲ常置シ販賣品ノ價格品質ノ良否場内ノ清潔等周到ナル取締ヲ施行シ遺憾ナキカ如キモ私設市場ニ至リテハ之ニ及ハズ從テ適當ノ取締ヲ要スヘキモノアレハ御大禮ニ關シ特ニ衛生技手ヲシテ之ニ臨檢セシメ又ハ警察官吏ヲシテ隨時視察セシメテ取締ノ周到ヲ期シ就中魚腸骨塵芥ノ搬出ハ閉場後之ヲ場外ニ搬出セシメ相當處理ヲ爲サシメツ、アリ其成績左ノ如シ

- 一 市場ノ衛生設備及清潔保持ニ關シ 臨檢度數 二九八八  
注意件數 四二〇三件
- 一 市場ニ對シ食品取締法規ヲ勵行シタル件數 五六一六件

六 旅館、料理店、飲食店、貸座敷等ニ關スル件

御大禮ニ關シ本項取締ニ付テハ警察署ニ於テ專務員ヲ置キ特ニ臨檢視察ヲ勵行シテ衛生上ノ設備ヲ按察シ旅人及顧客ノ安固ヲ保持スルト共ニ各營業者ニハ衛生上改良刷新ノ施設ヲ誘導シ且衛生智識ノ啓發ニ努メ這個取締ノ實ヲ擧ケンコトヲ期シタリ就中從業者ノ健康狀態ニ嚴密ナル注意ヲ加ヘ客用器具竝供用ノ飲食物ニ對スル衛生的措置ニ關シテ極力注意訓戒ヲ加ヘテ其實行ニ努力スルト共ニ一面組合長ヲ各警察署ニ招致シテ組合員ノ遵守スヘキ事項ヲ指示シ之ヲ一般組合員ニ通告シテ其實行ヲ期セシメタリ今當該營業者ニ對シ施設ヲ督勵シタル事項ヲ概記スレハ左ノ如シ

- 一 客室内ヲ清潔ニシ採光換氣ヲ十分ナラシムルコト
- 二 飲食物調理所ハ採光ヲ十分ニシ且防鼠防塵防蠅ノ設備ヲ完全ニシ流シ下水溝汚物溜ノ不完全ナルモノハ之ヲ改善スルコト
- 三 調理人ニハ清潔ナル白衣ヲ着用セシメ其他身體手指ノ清潔ヲ保タシムルコト
- 四 飲食物ノ原料ヲ精撰スルコト
- 五 飲食器具ノ清潔ヲ保持スルト共ニ鍍金ノ剝落シタルモノ又ハ固有ノ光澤ヲ有セサルモノハ使用セサルコト
- 六 調理シタル飲食物ハ防蠅防塵ノ設備ヲ怠ラサルコト
- 七 飲食物ノ殘滓及魚腸骨ノ類ハ一定ノ函ニ收拾シ可成速ニ搬出スルコト

八 宿泊人ノ健康狀態ニ注意シ異狀アリト認ムルトキハ速ニ届出ツルコト

九 客用ノ寢具類ハ白布ヲ蔽ヒ之ヲ一客毎ニ取換ヘ且時々日光ニ乾燥スルコト

一〇 貸浴衣ハ一客毎ニ之ヲ取換ユルコト

一一 洗面場浴場便所ノ清潔ニ注意シ且防臭劑ヲ散布シ又ハ時ニ石灰乳ヲ投入スルコト

一二 手洗鉢ハ可成流出裝置トシ一客毎ニ清潔ナル手拭ヲ使用セシムルコト

一三 齒揚子手拭ハ一客毎ニ改ムルコト

一四 唾壺ノ配置ヲ周到ニシ且毎日掃除ヲ怠ラサルコト

一五 灰吹ハ唾壺ニ代用セラルルコトアルヲ以テ清潔ニスルコト

一六 家族雇人ノ健康診斷ヲ行フコト

以上列舉ノ事項ニ就キ之カ實行ヲ督勵シタル成績左ノ如シ

- 一 客室内ノ清潔保持 臨檢度數 三七九九五  
注意件數 一四四〇〇件
- 一 臺所、調理所ノ採光換氣、防塵防蠅ノ設備ニ關シ改善又ハ注意ヲ加ヘタル件數 四六一一件
- 一 流シ下水溜汚物溜ニ改善又ハ注意ヲ加ヘタル件數 一七二二件
- 一 洗面所浴場便所ノ設備ニ注意ヲ加ヘタル件數 二七〇三件
- 一 便所ノ手洗ヲ流出裝置ト爲サシメタル件數 八一二件
- 一 客用寢具ニ對シ注意ヲ與ヘタル件數 五七六八件
- 一 貸浴衣ニ對シ注意ヲ與エタル件數 二〇五七件
- 一 家人使用人ニ健康診斷ヲ行ヒタル人員 六五七八七人内トラホーム患者 三〇七八人  
結核及疑似 三四九人
- 一 以上ノ外衛生上ノ取締規則ヲ勵行シタル件數 五〇三七件

七 其ノ他衛生取締ヲ要スル各種營業ニ關スル件

イ劇場活動寫真館寄席興行場

多衆ノ來集ヲ目的トスル劇場、活動寫真館、寄席其ノ他諸興行場ハ近來漸次改良セラレ其ノ採光換氣又ハ客席ノ施設ヲ首メ便所ヲ水槽便所ト爲ス等著シク進步ノ實績ヲ示スニ至リシモ營業者ハ營利ニ汲々タル結果往々ニシテ公衆衛生上最良ノ施設ヲ有效ニ保持スルコトヲ閑却スル向ナキニアラス就中活動寫真館ノ如キハ採光換氣ニ對シ往々善良ノ注意ヲ怠ル爲觀客ニ及ホス衛生上ノ危害少ナカラス之等ニ對シテハ常ニ取締ヲ勵行スル所ナルモ御大禮ニ關シテハ場内ノ清潔座蒲團其他敷物等ノ日光乾曝唾壺ノ配置便所ノ清潔、消毒及防臭設備並賣店ノ衛生的設備等ニ對シ警察部ヨリ吏員ヲ派遣シテ検査ヲ勵行スル外臨監ノ警察官吏ヲシテ夫々取締ヲ勵行セシメタリ其成績左ノ如シ

一 臨檢度數

八三六八

一 注意ヲ與ヘタル件數

二五二九件

ロ理髮店

府下ニ於ケル理髮業者ノ數ハ男女合セテ一萬九千五百四十名ニシテ内店舗ヲ有スル者九千六百六十一名店舗ヲ有セサル者九百二十八名助手徒弟八千九百五十一名ニシテ組合數六十二ヲ算ス而シテ此等營業者ニシテ試驗合格又ハ學校講習所ヲ卒業シタル者三千二百四十名ニ達シ從來營業者ノ數七千三百四十九名ニ比シ約半數ハ當該學術ヲ修メタルモノナル外當府認可及指定ニ係ル大阪理髮專修學校ニハ男女二百名ノ生徒ヲ有シ九月間ヲ以テ卒業シ又女子ノ爲ニ美髮專修學校在リ修業年限二箇年ヲ以テ卒業ス此等二者ハ何レモ生理、解剖傳染病、消毒方法ノ大意ヲ授ケ斯道ニ必要ナル智識ヲ習得セシムル外試驗制度ニ刺戟セラレ斯道ヲ研究スル者日ニ多キヲ加フルヲ以テ斯界ニ於ケル智識ハ益々向上シ將來多年ヲ出テスシテ從來營業者ハ影ヲ没シ學術技能ヲ有スル營業者ヲ網羅スルニ至ルヘキハ想像ニ難カラス而シテ其營業所ノ設備ニ至リテモ營業者ノ自覺ト當局ノ指導督勵トニ依リ着々改良ノ實ヲ舉ケルト共ニ從業者ノ被服客用器具ノ清潔及消毒ハ進ンテ之ヲ勵行シ以テ顧客ヲ吸集スルニ努ムル爲近來頓ニ面目ヲ一新シ衛生上見ルヘキモノ少ナシトセス而シテ又御大禮ニ際シテハ尙進ンテ取締規則ヲ勵行センカ爲組合長ヲシテ營業者ノ心得ヘキ事項ヲ印刷配付セシメ一面專務員ヲシテ其行否ヲ監視セシム殊ニ郡部僻陬ノ地ニ

在リテハ前記ニ及ハサルコト遠ケレハ之ニ對シテハ一層視察ヲ勵行シテ之ヲ誘導啓發シ取締上遺憾ナキヲ期シタリ其ノ成績左ノ如シ

一 臨檢度數

一三二〇

一 注意ヲ與トタル件數

一四三二九件

一 健康診斷人員

二二三七七人内

トラホーム患者  
結核及疑似患者

一三九五  
一二四人

ハ浴場

當府下ニ於ケル湯屋營業者ハ千五百三十八名ナリ近來市内ニ在リテハ其建築、設備ハ著シク改良セラレ用水ハ勿論浴槽、洗湯上リ湯脫衣場便所ノ設備等殆ント間然スル所ナキ迄嶄新ナル設備ヲ施シタルモノ續々トシテ建設セラル、ニ至リシハ蓋シ衛生思想ノ發達ニ伴フ當然ノ現象ニシテ公衆衛生上喜ハシキコトニ屬ス而シテ御大禮期ニ在リテハ都人ハ勿論多數ノ地方人入浴スルモノアリ從テ浴場内衛生設備ハ一層注意ヲ要スヘキモノアレハ特ニ警察官吏ヲシテ浴場ニ臨檢セシメ浴槽洗場ノ清潔保持浴場殊ニ藥湯ノ更新ハ勿論上リ湯ヲ豊富潤澤ナラシメ脱衣場及容器ノ清潔ヨリ唾壺ノ設備便所ノ消毒方法等ヲ監視セシメ特ニ郡部ニ於テハ用水ニ注意ヲ加フル等這個營業者ニ對スル公衆衛生ノ事項ヲ遺漏ナク施行シタリ其成績左ノ如シ

一 臨檢度數

三五九三

一 注意ヲ與ヘタル件數

三〇五〇件

一 從業者健康診斷人員

六〇七五人内

トラホーム  
結核疑似症

三六〇人  
二九人

ニ貸夜具營業者

貸夜具營業者ハ府下ニ於テ三百九名ヲ算ス而シテ此等ノ内半數以上ハ大阪市ノ周圍部ニ於ケル營業者ニシテ主トシテ木賃宿又ハ低級生活者ノ需用ニ應スルヲ以テ目的トスルモノナレハ品質劣等汚損甚シク且貸付固定スルモノアレハ取締上極メテ困難ヲ感スル所ナリ而シテ御大禮ニ關シテハ特ニ臨檢視察ヲ嚴ニシテ在庫品ハ日光乾曝ヲ獎勵シ汚染セルモノハ洗滌修補ヲ爲サシメ傳染病發生ノ場合此等貸夜具ニ關聯スルモノアルニ於テハ其機會ヲ利用シテ消毒其他適當ノ措置ヲ爲シ又冬期需用期



ニ入ル以前ニ於テ洗滌修補ヲ勸告シテ之カ整頓ヲ爲サシメ一面從業者ノ健康診斷ヲ行フ等可及的取締ヲ勵行シ需用者ノ安全ヲ期シタリ其成績左ノ如シ

- 一 臨檢度數 六〇六
- 一 注意ヲ與ヘタル件數 四八〇件
- 一 從業者健康診斷人員 二一六人内トヲホム九人  
トヲホム二八人

ホ工場衛生

御大禮ト工場製造場トノ關係ハ直接間接ニ影響スル所少ナカラス就中食品及手工品ノ製造工場ニ至リテハ、其製品ノ分布上極メテ深キ關係ヲ有スルモノナリ而シテ之カ取締ニ關シテハ工場課ノ主管ニ屬スルモ各工場ニ於ケル狀況ヲ概記スレハ左ノ如シ

府下ニ於ケル工場ハ大小合セテ七千二百七其職工數二十三萬三千九百二十二ニシテ内原動力ヲ使用スル工場六千二百七十五之ニ使役スル職工二十二萬六千九百五十九人動力ヲ使用セサル工場九百三十二之ニ使役スル職工六千九百六十三人ナリ而シテ此等工場中職工千人以上ヲ使役スルモノヲ舉クレハ紡績工場二十三箇所ノ外染工場、船舶車輛工場、綿糸綿布工場、足袋製造工場、莫大小工場、鑄鋼場、金屬製品工場、毛織物工場、毛斯倫工場等合セテ十一箇所其職工總數五萬五千八百六十八人ナリ此等ハ何レモ寄宿舎ヲ有シ職工ヲ收容セリ

醫療機關前記千人以上ノ職工ヲ有スル工場ニ在リテハ工場内ニ醫療機關ヲ設置シ醫師一名乃至五名藥劑師一名看護婦一名乃至七名ヲ置キ別ニ病室ヲ有スルモノハ收容定員十名乃至百七十名ヲ收容シ得ル設備ヲ爲セリ其ノ病室ヲ有セサルモノニ在リテハ病院ト特約シテ之ニ收容シ又醫療機關ヲ有セサルモノニ在リテハ附近醫師又ハ醫師會ト團體契約ヲ爲シテ治療上支障ナキヲ期シツ、アリ

健康診斷 大工場ニ於ケル寄宿職工ノ健康診斷ハ毎月日ヲ定メテ施行スルモノトアルモ多クハ毎年二回一齊ニ施行スルヲ以テ普通トシ概シテ實績ヲ舉クルモノ、如シ此外傳染病流行時ニ在リテハ不定時ニ全部又ハ一部ノ職

工ニ對シ健康診斷ヲ行ヒ腸「チフス」發生ノ場合ニハ一般ニ豫防注射ヲ施行スル向アリ

トラホーム患者ハ其數ヲ知り難キモ牢固タル病竈ヲ築ケルモノ、如シ之ニ對シテハ工業主ハ治療ニ豫防施設ニ力ヲ盡ス所アルモ憾ムラクハ治療上ノ要求ト業務ノ必需事項ト相背馳シ治療ノ根本ニ觸ル、能ハサルハ本病蔓延ノ主因タリ之ニ對シテハ差當リ工業主ノ持續的施設ト職工ノ自衛ヲ獎勵スル外目下對策ナキモノ、如シ肺結核ノ各工場ニ浸淫セル程度ハ之ヲ知り難キモ歸郷職工ニシテ多數此患者アルヲ以テ見レハ其一班ヲ窺フニ足ルカ患者ノ處置ハ一時病室ニ隔離的收容ヲ爲シテ靜養セシメ病勢ヲ觀察シタル上持續的療養又ハ歸郷セシムルモ此間ニ於ケル病毒ノ傳播ニ想到セハ蓋寒心ニ堪ヘサルモノアリ近時工業主モ大ニ覺醒スル所アリ檢診ニ隔離ニ消毒ニ療養上ニ適當ノ施設ヲ爲ス向アルモ之カ根絶ハ容易ニ望ムヘカラサルヲ遺憾トス

職工賄 大工場ニ於ケル寄宿職工ノ賄ハ職工一人ニ對シ一日二十錢乃至四十錢ノ範圍内ニ於テ各工場區々ニ定メラレ之ニ對シ三錢乃至二十錢ヲ會社ヨリ補給スルヲ通例トス主食物ハ米麥混用ヲ普通トシ米ノミヲ使用スル向少數アリ副食物ハ一週間毎ニ献立表ヲ作り醫員ノ査定ヲ經テ調製セラル朝ハ概シテ味噌汁漬物ヲ給シ其他ハ野菜煮物ヲ主トシ偶々魚獸肉ヲ給ス食事時間ハ朝ハ五時ヨリ晝ハ十一時ヨリ一時迄ノ間ニ晝ハ五時ヨリ七時迄トシ夜食ヲ取ル向ハ午後十一時乃至午前一時ノ間ニ於テス食餌ノ調理ハ清潔ト營養價値ニ於テ昔日ノ如クナラス大ニ改良セラレタルヲ見ル炊事夫ハ職工ノ數ニ依リ十人乃至五十人ヲ使用シ白色ノ被服ヲ着シ偶々白帽前掛ヲ着用スル向アリ何レモ比較的清潔ナリ又每週一回又ハ一箇月一回健康診斷ヲ行ヒ其健康保持ニ努メツ、アリ食堂ハ地盤ノ設備ヲ首メ採光換氣防鼠防蠅除塵竝食器清潔消毒及其整理食餌給與ノ方法其他食堂内ノ整理等近來著シク改良セラレタル向アルモ亦依然トシテ舊式ヲ墨守スル向少ナカラス此等ハ漸次改良ノ要アルヲ認ム用水ハ市内ハ水道水ヲ使用シ郡部ハ鑿井井水ヲ濾過シテ使用ス食物ノ殘滓ハ養豚家等ト契約シテ當日場外ニ搬出ス

寄宿舎ハ七十室以上三百餘室ノ大ニ至ル迄工場ノ大小ニ依リ各必要ノ設備ヲ爲ス概シテ木造二階建總テ疊敷ニシテ二人室二十人室ニ區劃シ收容職工一人ニ對シ面積疊一疊三分乃至一疊半ノ割合ヲ以テ分配セラル夜具ハ一人蒲團三枚トシ之ヲ專用トスル向多キモ亦共用トスル向アリ其襟部ニハ白布ヲ以テ被包シ敷布ヲ用ユル向アリ又之ヲ用ヒサル向アリ其洗滌ハ職工ニ於

テ負擔スル向アルモ多クハ會社ニ於テ爲スヲ普通トス蒲團洗滌修補ハ常備雜役婦ヲ以テ之ニ從事セシムルモノハ比較的清潔ナルモ然ラサルモノニ在リテハ甚シク汚染セルモノアリ又蒲團ノ日光乾燥ハ一週一回ヲ理想トスルモ多クハ行ハレ難キ感アリ室内ノ栖掃ハ室長ノ指揮ニ依リ共同栖掃ヲ爲ス外一週一回大掃除ヲ爲スヲ常例トス睡壺ハ適當ニ配置セラル、モ使用ヲ閑却シ又ハ掃除ヲ怠ル向少ナカラス便所ハ水槽便所ヲ設置スルモノアルモ大多數ハ汲取便所ニシテ内容物ノ排除ハ克ク行ハレツツアリ

屑物消毒ハ消毒所收藏所ハ規定ノ設備ヲ爲シ完全ニ近シ

傳染病患者數 前記職工千人以上ヲ有スル工場ノ寄宿舎ニ於テ本年一月ヨリ十一月末日ニ至ル間傳染病患者ノ發生ハ左表ノ如シ而シテ毛織物會社ニ發生シタル十八名ハ一月八日初發二月廿三日發生ヲ最後トシテ終熄シ其他ハ何レモ散發的ナリ

發生場所	腸「チフス」	バラチフス	赤痢	計
紡績	一二	一	一	一三
織物	一	一	三	四
毛織物	一八	二	一	二〇
計	三一	三	三	三七

八 花柳病豫防ニ關スル件

花柳病豫防法實施前當廳ニ貸座敷業取締ヲ招致シテ之カ實施ニ關シ業者ノ心得フヘキ事項ヲ訓示シ特ニ代用診療所設置ニ關シ協議スル所アリ之ニ對シテハ目下詮議中ニ屬ス而シテ法令實施期ニ入りテハ接客業者ヲ遊廓所在地又ハ警察署ニ招致シ部員ヲシテ法令ノ趣旨、病毒ノ危害、傳染ノ経路、豫防藥品、豫防器具及洗滌藥、洗滌具ノ使用等ニ關シ細大洩サズ説明ヲ爲シテ其實行ヲ勸奨シ一面活動寫眞ヲ利用シテ自衛心ヲ喚起シ豫防智識ノ普及ニ努メ更ニ遊廓取締ヲシテ業者一般ニ注意書ヲ配布セシメ又一面部員二名ヲシテ貸座敷業者ノ各戸ニ臨ミ其一家内ニ於ケル娼妓、仲居等ヲ集メテ前記ノ事項ヲ懇示シ目下仍繼續中ニシテ之ヲ府下全部ニ及ホサントスル計畫ナリ此舉ハ大ニ各業者ノ注意ヲ喚起シ痛切ニ豫防措置ノ必要ヲ感得シタルモノ、如ク

效果ノ大ナルモノアルヲ認メタリ此外大阪府衛生會ニ於テハ該病豫防ニ關シ平素講演會、映寫會ヲ開催シ又ハパンフレットヲ頒布スル等豫防上努力スル所アリシカ豫防法實施ヲ機會トシ遊廓貸座敷其他特種營業者ニ對シ豫防上必要ノ警告ポスターヲ頒布セントシ之カ援助ヲ求メタルヲ以テ適切ノ施設ト認メ結核豫防週間ノ例ニ倣ヒ援助ヲ與ヘタリ今警察署ニ於テ本病豫防上措置ヲ爲シタル成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

豫防智識ノ啓發ニ努メタル回数 一〇九

營業者ヲシテ豫防具豫防藥ヲ備付ケシメタル件數 二六二七件

九 結核トラホーム豫防ニ關スル件

イトラホーム豫防

トラホーム豫防ニ關シテハ當府平素三人ノ醫員ヲ以テ之ニ充テ時期ト場所ヲ指定シテ特種營業者並其從業者及直接客ニ接スル者ニ對シ檢診ヲ施行スル所ナルモ本年ハ御大禮ノ關係上特ニ各種組合ニ對シ自衛的檢診ヲ獎勵シ之ト相俟テ其周到ヲ期シタリ而シテ檢診上發見シタル患者ニ對シテハ治療券ヲ交付シテ醫療ヲ強制シ重症患者ハ從業ヲ禁止シ其他ハ治療ノ實行ヲ條件トシテ從業ヲ認容シ一面常ニ家庭ヲ視察シ手拭洗面器ノ區別ヲ勵行スル外治療ノ行否ヲ監察シ之ヲ怠ルモノニハ嚴戒ヲ加ヘ又一面多衆ノ集合スル場所及客ノ來集ヲ目的トスル營業者ニ對シテハ手拭ノ清潔ヲ勵行スル外手洗水ノ流出裝置ヲ獎勵シ神社佛閣ノ手水鉢ノ手拭ヲ撤去セシメ手洗裝置ノ清潔ヲ期スル等凡ソ豫防手段トシテ取ルヘキ方法ハ遺漏ナク之ヲ施行シタリ其檢診成績ハ左表ノ如クニシテ之カ爲患者ヲ發見スルコト九千八百十一人ニ達シタリ

昭和三年自一月至十一月結核及「トラホーム」豫防法ニ據ル健康診斷施行成績

受診人員	ト				男女計	男女別百分比	男女計百分比	結核		
	重	輕	疑	似				計	同	疑
男五九、五九一	六一	二、八八一	一〇	二、九五二	六、一二一	四・九五	五・〇八	一一	二七〇	二八一
女六〇、八七七	六三	三、〇八五	二一	三、一六九	五・二〇	五・〇八	五	四六四	四六九	

昭和三年自十一月結核及「トラホーム」自衛的健康診断施行成績

受診人員	トラホーム			計	男女計	男女別百分比	男女計百分比	結核	
	重症	輕症	疑似症					結核	同疑
男 三一、二一八	一九九	一、五二二	一八八	一、九〇八	三、六九〇	六・二一	五・九七		
女 三〇、三五三	一一七	一、五〇〇	一六五	一、七八二	五、八七	五・九九		一一	五
									計
									計

右ノ外公共團體ニ於テ診療所ヲ設置セルモノ市立二十八町村立十五及私立團體ノ經營セルモノ三合計四十六箇所ニシテ此内大阪市ノ十九箇所堺市ノ四箇所ハ常設トシテ診療ニ從事シ岸和田市ノ五箇所ハ小學校兒童ノ患者ノミヲ治療シ其他ノ町村立ニ在リテハ必要ニ應ジテ診療ヲ開始シ私立團體ノ經營ニ係ルモノハ常設ナリ今其診療成績ニ就キ主ナルモノヲ掲クレハ左ノ如シ

自昭和三年十一月トラホーム患者診療成績

大阪市	新患者	舊患者	計	治療人員	一日平均治療人員	全治人員	中止人員	現在患者數
一三、五二四	四、〇七七	一七、六〇一	六一九、九二四	二、三九八	三、五八七	九、四七〇	四、五四四	
三、六六四	五一五	四、一七九	五八、五五九	三、〇四五	一、六〇四	二、〇五〇	五二五	
一七、一八八	四、五九二	二一、七八〇	六七八、四八三	五、四四三	五、一九一	一一、五二〇	五、〇六九	

結核豫防

結核ノ檢診ハトラホームノ檢診ト同時ニ之ヲ施行シ患者ニハ從業ヲ禁止シ且視察ヲ勵行シテ取締ノ徹底ヲ期スル所アリ而シテ御大禮ニ對シテハ法令ノ規定ニ依ル場所ニ對シ唾壺ノ配置ヲ首メ寢具ノ取締ヲ勵行シ平素之ヲ持續シテ遺憾ナキヲ期シタリ今トラホームノ豫防ト共ニ其取締ノ成績ヲ掲クレハ左ノ如シ

- 一 唾壺ノ配置ヲ勵行シタル件數 八一二四件
- 一 手洗鉢洗面所ノ清潔ヲ勵行シタル件數 二七〇三件

一 手洗鉢ノ流出裝置ヲ爲サシメタル件數 八一二件

一 神社佛閣ノ手洗裝置ニ改善ヲ加ヘシメタル件數 三七五件

一 檢診ヲ行ヒタル人員府ノ檢診 一、二〇、四六八人計 一八二〇三九人内トラホーム患者 九八一 結核及其疑似症 七六六

結核早期診斷所 日本赤十字大阪支部病院ノ付屬トシテ經營ニ係ルモノ一其ノ他私立診斷所二箇所アリ昭和二年中ニ於テ診斷ヲ爲シタル人員千八百三十五人ナリ

結核豫防週間 大阪結核豫防協會、大阪府衛生會ノ共同主催ヲ以テ本年四月二十一日ヨリ同二十七日迄ヲ結核豫防週間トシボスターノ掲示ニ講演ニ映畫ニ演藝利用宣傳ニ其他種々ノ方法ニ依リ之カ豫防宣傳ヲ爲サンコトヲ企テタルヲ以テ當府ハ之ニ對シ後援ヲ爲シ諸種ノ便宜ヲ與フルト共ニ吏員ヲ派遣シテ講演ヲ爲サシメボスター、印刷物健康ポタンノ頒布ヲ援助シ尙此機會ニ於テ各警察署ヲシテ結核豫防法第四條第一項第三號ニ基ク豫防施設ヲ勵行セシメタル其成績左表ノ如シ

- 講演會ト映畫開催度數 三八回 聽講者數 七九、八九三人
- ボスター、ピラ其ノ他印刷物頒布數 八五四、四七八枚
- 健康ポタン頒布數 一五〇、〇〇〇個

結核豫防法第四條第一項第三號ニ基ク豫防施設調査成績 (昭和三年四月結核豫防週間中管下各警署ニ於テ一齊調査ヲ行ヒタル成績)

現在 戸數	調査 戸數	唾壺ヲ備付サル戸數	同上 配置數	内 譚		液體ノ種類	淨水	消毒處	未消毒處	便所	下水	戸數	個數	營業用器具被包	被包	無被包	清	否
				有痰	無痰													
三、二九、九六三	三、二九、九六三	二、一五、八〇六	二、一五、八〇六	三、一八二	四、九四七	三九、三六	五、八三三	三三、六四五	四七、二八三	四三、三三七	八、九三二	五、五三三	一、九七九	五〇、九七四	一三、五九六	一、三三六	三、二九七	

十 癩豫防ニ關スル件

浮浪徘徊ノ癩患者ハ多クハ寺院ノ附近ニ出沒スルヲ常トスルヲ以テ之ニ對シテハ平素取締ヲ嚴密ニシ彼等ヲシテ徘徊ノ餘地ナカラシムルコトニ注意スルモ偶々取締ノ間隙ニ乘シテ出沒スルモノナキニアラサレハ御大禮ニ對スル取締トシテハ專ラ此點ニ意ヲ用キ一面自宅療養ノ患者ニ對シテハ數次忠告ニ臨檢シテ多衆ノ集合スル場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ出入セシメ

サルコトヲ嚴達シ以テ取締上遺憾ナキヲ期シタリ而シテ外島保養院收容定員ハ四百名ニシテ聯合府縣ノ收容申込ニ應スル能ハサル状態ニ在ルヲ以テ本年六月聯合府縣ト協議シ更ニ百五十名増加收容スヘキ病舎増築ヲ決議シ直ニ工事ニ着手シ九月廿七日竣工スルト共ニ救護中ノモノ及新タニ發見シタル浮浪患者ハ悉ク之ヲ收容シタリ之カ取締ノ成績ハ左ノ如シ

- 患者ヲ保養院ニ送致シタル人員 四二人
- 浮浪徘徊ノ癩患者ヲ取締タル件數 一七七件
- 自宅療養患者ニ對シ注意ヲ與ヘタル件數 四三三件

十一 精神病院ニ關スル件

府下ニ於ケル精神病院ハ公私立ヲ合セテ十一箇所アリ而シテ精神病者ハ病院監置一三九五名私宅監置六一名不監置一八四五名計三三〇一名(昭和三年八月末現在)ナリ而シテ患者中ニハ暴行放火ノ危險行動ニ出ツル虞アルモノ少ナカラサルノミナラス危險思想抱持者又ハ上書建白ノ虞アルモノ其他御大禮警備上特ニ警戒ヲ要スルモノアレハ府立中宮病院ニ對シテハ院長ヲ督勵シテ嚴密警戒ニ當ラシムルト共ニ課員ヲシテ特ニ臨檢視察ヲ行ハシメ其他ノ私立病院ニハ所轄警察署長ヲシテ嚴重警戒ヲ加ヘシムルト共ニ警部以下六名ヲシテ十月二十日ヨリ十一月二十六日ニ至ル間斷ナク視察ヲ爲サシメ患者ノ待遇狀況、入院患者ノ定員、構造設備ノ完否監護ノ適否就中脱走ノ原因トナルヘキ事項ニ重キヲ置キテ取締ヲ勵行シ其違反ノ點ニ對シテハ視察員ヨリ嚴重警告ヲ加フルト共ニ所轄警察署長ニ通達シテ直ニ之ヲ改メシムル等ノ處置ニ出テタルヲ以テ各病院ハ警戒上自然緊張ノ度ヲ加ヘ取締上遺憾ナキヲ得タリ其取締成績左ノ如シ

警察部ニ於テ取締ヲ爲シタル成績

- 一、病室ノ構造設備不良ノモノ 三件
- 一、患者定員超過ノモノ 一〇件
- 一、患者ノ所置並醫療ノ適切ナラサルモノ 三件
- 一、患者數ニ比シ看護人及病棟數ニ比シ警護人不足ノモノ 三四件

警察署ニ於テ取締ヲ爲シタル成績

- 一、精神病院臨檢度數 一九六
- 一、管理ニ關シ注意ヲ與ヘタル件數 一二五件

十二 防疫ニ關スル件

イ、一般傳染病豫防(ベストヲ除ク)

當府防疫ニ關シテハ本書第二款ニ掲グル吏員ヲ以テ之ニ方ラシメ平素ニ於テ夫々計畫ヲ立テ防疫ノ事ニ從ハシム而シテ府下ニ於ケル傳染病發生ノ狀況ハ左表ニ示ス所ノ如ク近年概シテ増加ノ趨勢ニ在リ就中赤痢ハ大正十五年以來甚シク増加シ特ニ本年ニ於テ一層ノ増加ヲ見ルニ至レリ其原因ハ大阪市ノ周圍部則チ新市ニ激發セシニ依ル是或ハ人口ノ密度、生活態樣、交通關係等種々ノ作用ニ依リ健康状態ノ惡化スル外水道ノ普及セサル地域ニ於ケル飲料水ノ關係ニ依ルニアラサルカ腸「チフス」ハ大正十四年以來減少ノ傾キニアリシモ本年ニ至リ著シク増加シ傳染病患者總數ノ四二%ヲ占メ主トシテ大阪市内各區ニ涉リ散發的ニ増加ヲ示シタリ而シテ之カ傳染系統ニ付テハ特ニ徵スヘキ原因ヲ發見スルコト能ハス本病ノ撲滅ハ上下水道ノ完成其他衛生的改良ニ俟ツヘキハ論ヲ俟タサル所ナルモ大阪市ノ如キハ尿尿ノ處置未タ充分ナラス且其周圍部ニ於テハ下水道ノ素ヨリ上水道未タ普及セサルヲ以テ之カ爲ニ直接間接ニ傳播ノ原因ヲ爲スニアラサルナキ乎由來傳染病豫防ニ關シテハ幾多ノ方策アリト雖就中患者ノ早期發見ニ努メ保菌者ノ檢索ヲ周密ニシ患者ノ隔離及適切ナル消毒方法等ニ依リテ其病源ヲ撲滅シ更ニ平時ニ於ケル施爲施設ニ依リテ衛生状態ノ改善ニ力ヲ致シ一面民衆ニ對シ豫防智識ノ啓發ニ努ムルヲ以テ要諦トス當府ニ於テハ夙ニ此點ニ留意シ防疫上間斷ナク檢病調査ヲ首メ死體檢案ニ患者檢診ニ遺漏ナキヲ期シ一面衛生講話又ハ路傍演說ヲ試ミテ智識ノ啓發ニ努メボスタ「其他印刷物ヲ配布シテ豫防宣傳ニ努ムル等凡ソ豫防上適當ト認ムル施設ハ之ヲ施シテ怠ルコトナシ殊ニ大禮ニ對シテハ特ニ深甚ナル注意ヲ拂ヒ諸多ノ計劃ヲ樹テ其作業ノ徹底ヲ期シ一面郡市醫師會ト連絡ヲ取り患者ノ早期發見ニ努メ更ニ京都府接壤地域ハ勿論大阪市内特種營業者食品市場從業者等ノ健康診斷並檢便ヲ施行シ豫防上遺策ナキヲ期シ御大禮期日切迫スルニ從ヒ吏員ヲ臨時増員シテ之ヲ適所ニ配置シ警察官吏ト協同シテ豫防ノ事ニ方

シメツ、アリシ折柄俄然十月二日一名ノ「コレラ」患者ヲ市内ニ發生シタルヲ以テ更ニ之ニ對スル防疫計劃ヲ立テ極力防遏ニ努ムル所アリシカ幸ニ續發スルコトナクシテ終熄シタリ當府ニ於ケル防疫狀況以下記載スル所左ノ如シ

既往六箇年間傳染病患者發生數比較表

年	コレラ	痢腸チフス	バラチフス	瘧疾	疹	紅熱	チフリア	流行性腦脊髄膜炎	ベスト	計
大正十二年	三	七二二	二〇八〇	二九四	二三五	一〇三	五八八	九三		四一〇八
同十三年		七一二	三三一四	四五〇	二一	一〇二	六〇〇	八七		五二八六
同十四年	五三	七九六	二二六六	三二二	五六	一一七	九二三	八三		四六一六
同十五年		一三三九	二二四二	二七七	二九	二一二	九六五	九八		五一六二
昭和二年	一	一五八二	二二三七	二四六	三	二四六	一一二二	七七		五六〇七
同三年	一	一八三一	二八〇五	二四九	四八	三六七	一二五六	六〇		六六一七

本表ハ各年共一月一日ヨリ十一月三十日迄ノ事實ヲ登載ス

一、檢病調査

(イ)警察官吏ノ調査檢病調査ノ施行ハ傳染病流行ノ時期ハ勿論其季節ニアラサルモ既ニ一地域ニ於テ患者發生シ流行ノ兆アルトキ其他豫防上必要ト認ムル時期ニ於テ警察署長ハ檢病調査ヲ施行シ主トシテ低級部落労働者木賃宿及流行ノ地域竝必要ト認ムル地域ニ對シテ之ヲ行ヒ以テ患者ヲ檢索ノ發見ニ努メツ、アリ本年ニ於テハ一月ヨリ之ヲ施行シ御大禮期日近ツクニ從ヒ更ニ通達シテ徹底的調査ヲ反覆セシムル外京都府ニ接近セル地域ヲ首メ前年著シク發生シタル地域竝流行ノ虞アル場所ニ對シテハ一層之カ周密ヲ期セシカカ爲ニ傳染病患者ヲ發見スルコト十二名ニ及ヒタリ其成績左表ノ如シ

檢病的戸口調査成績表(昭和三年自一月至十月)

施行區域	調		査		發見患者數		發見傳染病患者數		從事員數
	戸數	人	口	普	通	注	意	計	
三十八署管内一團	一、四八六、〇二八	七、八〇二、五二二	一九、三三六	一六八	一九、五一四	一〇	一	一一	五九、二六九

(ロ)醫師會健康診斷大阪府醫師會ニ於テハ御大禮ニ對スル奉仕トシテ九月廿五日ヨリ十月廿四日ニ至ル間會員タル醫師二百二十七名ヲ動員シ巡查一名同行シテ大阪市内四十八萬餘世帯ノ居住民ニ對シ健康診斷ヲ行ヒ傳染病患者ノ早期發見ニ努メンコトヲ提議シタルヲ以テ當府ハ之ヲ以テ有益ナル企圖トナシ九月十五日市内各署長ニ通達シ左記ノ方法ニ依リ之ヲ實施セシメタリシカカ爲ニ傳染病患者六名注意患者六十五ヲ發見スルヲ得タリ大阪府醫師會這個ノ企圖ハ傳染病豫防上有力ナル援助ニシテ而カモ從事員タル醫師ハ自己ノ業務ヲ抛チテ之ニ從事シ其計劃ノ遂行ニ努メタルハ多トスヘク之ニ對シ知事ヨリ各從事員ニ謝狀ヲ發送シタリ

- 一、檢病調査及健康診斷ハ戸口調査規程ノ趣旨ニ依リ任意承諾ノ下ニ之ヲ行フコト
- 二、前項ノ調査及診斷ハ家人ノ全部ニ對シ之ヲ行ヒ若家人中不在者アル場合ハ其事由ヲ明瞭ナラシメ以テ患者隱蔽ノ弊ヲ防止スルハ勿論其他最善ノ方法ニ依リ傳染病患者ノ早期發見ニ努ムルコト
- 三、前項調査及診斷ノ結果傳染病ノ疑アル患者ヲ發見シタルトキハ主治醫ニ於テ決定セシメ主治醫ナキカ又ハ主治醫ニ於テ決定シ難キ場合ハ其署長ニ報告セシメ其署内防疫擔當醫師ヲシテ檢診セシムルコト
- 四、檢病調査ノ結果ハ當部衛生課宛毎日電話ヲ以テ報告スルコト

以上ノ方法ニ依リ行ヒタル檢病調査及健康診斷ノ成績ハ左表ノ如シ

檢病的戸口調査成績(昭和三年自九月二十五日至十一月四日)

調査戸數	調査人員	發見患者數		發見傳染病患者數		從事員數			
		注意	普通	腸チフス	バラチフス	赤痢	計		
四三七、三五四	一、七九六、六二二	六五	八、〇二五	八、〇九〇	四	一	六	四、五九一	四、六二〇





御大禮關係採便成績表(自十月二十五日)

第一回	第二回	計
四四八	五八	三

御大禮關係者檢診及檢便成績種別表

御所出入者關係	檢便人員		發見シタル保菌者	
	第一回	第二回	赤痢	計
饗儀材料納入者關係	一七	一五	一	一
地方賜饌關係	一八六	一七七	一〇	一
献上品關係	一六八	一六八	四八	二
他府縣ヨリ依頼ニ依ル地方賜饌關係	五九	二七	二	二
御警衛巡查	二〇	二〇	二	二
計	四七九	四四八	五八	三

(ロ)豫防注射

腸「チフス」豫防ニ關シテハ前記ノ如ク保菌者ノ檢索ニ努ムル外腸「チフス」ワクチンヲ當應細菌室ニ於テ製造シ之ヲ市町村又ハ衛生組合ニ無償交付シ市町村醫又ハ囑託醫ヲシテ注射ヲ施行セシメタリ其ノ注射ヲ受ケタルモノ十六萬九千二百二十五名ナリ

ハ「コレラ」豫防

六月中旬上海ニ「コレラ」發生ノ通報アリ注意警戒ヲ怠ラサリシカ八月七日衛生局長ノ通牒ニ基キ注射班十班ヲ組織シ大阪市堺市内ノ河川ニ碇泊シ又ハ航行スル水上生活者ニ對シ同月十三日ヨリ左記計畫ノ下ニ豫防注射ヲ施行シ之ヲ續行中九月二十五日神戸ニ入港シタル英船「グレナツプ」號乗組員ニ疑似「コレラ」發生シタル旨ノ通報ニ接シタルヲ以テ九月二

十八日更ニ前記豫防注射ノ外阪間往復ノ船舶乗組員ニ對シ檢病調査ヲ施行スルコト、ナシタリ

水上生活者ニ對スル「コレラ」豫防計劃

豫防注射ノ範圍

- (一)汽船乗組員
- (二)帆船其ノ他ノ船舶乗組員及舢舨船夫
- (三)沖仲仕
- (四)沖行商

施行ノ方法

(一)ニ對シテハ汽船會社ヲ勸誘シ水上警察署長監督ノ下ニ施行セシム但シ注射液ハ要求ニ依リ無償交付ス

注射班ノ編成

(一)(二)(三)(四)ニ對シテハ醫員看護婦事務員ヲ水上警察署ニ配置シ署長ヲシテ之ヲ施行セシム

注射人員

水上生活者約八萬人トシ一班一日ノ注射人員ヲ平均百三十人トシ二箇月間ニ終了ノ豫定

堺港ニ在ル船舶ニ對シテハ以上ノ注射班ヲ隨時派遣シテ施行ス

實施ノ狀況

以上ノ計劃ニ基キ水上署ニ於テハ各配置セラレタル班ニ依リテ八月十八日ヨリ豫防注射ヲ實施スル外巡查十二名乃至二十五名ヲ以テ檢病調査ヲ施行シ一面屎尿吐瀉物放流取締ノ爲ニ番番巡查ヲ以テ之ニ當ラシメ又一面豫防注射宣傳ノ爲ニ夜間路傍演說ヲ試ムル等其活動見ルヘキモノアリ而シテ豫防注射ハ之ヲ十一月二十日迄ニ繼續施行セシカ其成績ハ殆ント豫定ニ達



シタルト上海地方ニ於ケル「コレラ」ハ漸次終熄ノ期ニ近ツキタルヲ以テ十一月二十日限り之ヲ廢止シタリ以上ニ依リ施行シタル豫防注射ノ成績ハ左表ノ如シ

昭和三年自八月十三日「コレラ」豫防注射施行成績表

陸上	施行團體名	回数	回数	注射人員	備	考	水				署別	回数	回数	船數	注射人員	備	考	
							合	自衛的	計	埠岸和田 水上派出所								木津川水上
大阪	市	二一	回回	一、二、一、三〇 五、五、六〇〇			三、九、五、八、六、五 〇、二、三	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	三、九、五、八、六、五 〇、二、三	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	一、二、一、三〇 五、五、六〇〇	二一	回回	六、六、六、〇 四、七、七、七	二七、一、六、八 一、八、四、二、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ		
		二一	回回	九、七、九、七 六、一	三、五、〇、七、〇 三、五、九、八、四	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	九、七、九、七 六、一	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	九、七、九、七 六、一	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	二一	回回	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	二一	回回	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ
		二一	回回	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	二一	回回	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	二一	回回	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ
		二一	回回	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ	二一	回回	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	二一	回回	一、四、七、〇、二 九、五、八、二	八、月、十、三、日 十一月、二、日、ヨリ

「コレラ」發生

前記ノ計劃ニ依リ豫防事業其緒ニ就キ着々實績ヲ擧ケツ、アリシカ俄然十月二日ニ至リ大阪市港區三軒家樋町一丁目一番地ノ一某六十四年ハ疑似「コレラ」ト決定三日死亡四日眞正ト決定セシカ此事タル眞トニ卒然ニシテ當局ノ心膽ヲ寒カラシメタリ同人ハ當府警察部衛生課細菌室小使ニシテ主トシテ「コレラ」豫防注射液製造作業ノ雜役ニ從事シ居タルモノニ

シテ九月三十日宿直ヲ爲シ引續キ翌十月一日午後五時迄勤務シ歸宅後八時頃寢ニ就キシカ十二時頃ヨリ腹部ニ異和ヲ感シ翌朝ニ至ル間ニ於テ下痢十數回嘔吐二三回アリ依テ附近醫師ノ往診ヲ求メタルニ「コレラ」ノ疑アル旨届出テタリ此報告ニ接スルヤ急遽防疫醫ヲ派遣シ検査材料ヲ採取シ之ヲ細菌検査ニ付シタルニ二日午後八時「コレラ」疑似症ト決定セリ其感染ノ徑路ハ前記ノ如ク細菌室小使勤務中「コレラ」豫防注射液製造ノ業務ニ從事シ居タル者ナルヲ以テ之ニ依リ感染シタルモノナルコトハ何等疑フノ餘地ナシ

豫防措置「コレラ」ノ疑アル旨届出ニ接スルヤ所轄警察署ハ直ニ巡查ヲ派遣シ患家ノ假交通遮斷ヲ行ヒ決定ト同時ニ患者ハ大阪市立桃山病院ニ收容スルト共ニ交通關係者八名ヲ大阪市立隔離所ニ隔離シ患家ノ消毒ヲ施行シタリ(患家附近ハ倉庫)而シテ患家ハ尻無川沿岸ニ在リテ該川ニ患者ノ吐瀉物ヲ投棄シ且汚物ノ附着セル布片ノ洗滌水ヲ放流シタル事實アルヲ以テ直ニ左記ノ範圍内ニ於ケル河海水ノ使用及漁撈游泳ヲ停止スル府令ヲ公布シ同時ニ關係警察署長ニ通達シテ嚴重取締ヲ施行セシメ一面ニハ既設豫防注射班十班ヲ尻無川及其附近ニ集中シテ河川内ニ碇泊セル船舶乗組員ニ對シテ夜ヲ徹シテ豫防注射ヲ施行セシカ其船數二千七百六十三人員八千四十一人ニ達シタリ之ト同時ニ水上生活者並附近河岸地居住者ニ對シテ檢病調査ヲ施行シ且之ヲ續行スルコト、セリ而シテ沿岸及患家附近ノ居住者ニ對シテハ大阪市ト協商シテ豫防注射ヲ行ハシメタルカ其人員一萬七千六百九十人ニ及ヒタリ

大阪府令第五十九號

「コレラ」豫防ノ爲傳染病豫防法第十九條ノ規定ニ依リ當分ノ間左記場所ニ於テ漁撈游泳ヲ爲シ又ハ其水ヲ使用スルコトヲ停止ス

本令ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年十月三日

記

- 一、大阪港(内港並築港防波堤外三十間以内)
- 一、安治川
- 一、木津川
- 一、尻無川
- 一、安治川、木津川間ノ各河川並運河
- 一、六軒屋川(開門下流)及安治川ニ通スル河川
- 一、大川(天満橋下流)
- 一、堂島川(堂島堀割ヲ含ム)
- 一、土佐堀川(中ノ島堀割ヲ含ム)
- 一、東横堀川
- 一、西横堀川
- 一、道頓堀川
- 一、堀江川
- 一、長堀川
- 一、立賣堀川
- 一、薩摩堀川
- 一、阿波堀川
- 一、海部堀川
- 一、京町堀川
- 一、江戸堀川

- 一、百間堀川
- 一、堀川
- 一、高津入堀川
- 一、新川
- 一、駒川

右府令公布ト同時ニ前記河川及其沿岸ヲ管轄スル各警察署長ニ對シ府令公布ニ至リタル事情並漁撈游泳及海水ノ使用停止ノミナラス右區域内ニ於テハ釣魚ノ餌トナルヘキ蟲類ノ採取ヲモ停止セラル、旨並該停止處分ノ爲水上生活者ハ最モ苦痛ヲ感スル所ナルヘシト雖豫防上止ムヲ得サルニ出ラタルモノナレハ水陸兩署長協力シ該府令ノ勵行ニ努ムルト共ニ水上生活者並沿岸居住者ニ對シ周密ナル檢病調査ヲ施行シ豫防上遺漏ナキヲ期スヘキ旨警察部長ヨリ通達シテ之ヲ鞭撻シタリ

各警察署長活動狀況

大阪港水上警察署十月三日ヨリ九日ニ至ル七日間尻無川各巡查派出所ハ晝間見張ヲ廢シ全部巡回勤務ニ變更ノ上河水使用取締及檢病調査ニ從事セシメ更ニ別働隊ヲ編成シテ尻無川及大阪港内ノ檢病調査並河水使用ノ取締ニ從事セシムル外宣傳部隊ヲ編成シテ尻無川沿線船舶乗組員ニ對シ河水使用防止宣傳ヲ爲シ又各所ニ散在セル豫防注射班ハ全部之ヲ尻無川ニ集中シ同川ヲ中心トシテ豫防注射ノ事ニ方リ署長以下總動員シテ之カ實施ニ努メタリ

木津川水上警察署「コレラ」發生スルヤ曩ニ水上各署ニ配置セラレタル豫防注射班十班ヲ當署ニ集中シ岩崎運河及尻無川ヲ中心トシテ十月二日一齊ニ豫防注射ヲ施行スル外探便班十班ヲ以テ此方面ニ於ケル探便ヲ勵行シ別ニ宣傳隊ヲ組織シ河水使用停止ノ宣傳ニ努メ無料給水栓増設ニ依リ之カ使用ヲ獎勵スル爲印刷物二千枚ヲ配布シ一面ニハ從來ノ檢病調査ヲシテ特ニ徹底セシムル爲別ニ調査隊ヲ組織シテ之ニ方ラシメ十月三日ヨリ十日ニ至ル間大ニ努ムル所アリタリ

安治川水上警察署「コレラ」發生ノ報ニ接スルヤ衛生專務員及防疫職員ヲシテ部内各種船舶乗組員ニ對シ豫防ニ關スル巡

回講演ヲ試ムルト共ニ檢病調査ヲ施行シ豫防期間中之ヲ反覆シ一面河海水使用ヲ停止セラル、ヤ一般巡回調査ヲシテ二日ニ涉リ船舶乗組員ニ對シテ周知ノ方法ヲ講スルト共ニ違反者ノ取締ヲ勵行シタリ

河川海沿岸管轄警察署 尻無川沿岸ヲ管轄スル警察署及堺警察署ニ於テハ特種營業者ニ對シ消毒藥ヲ裝置セシメタルモノ及豫防注射ヲ施行シ其人員二萬九千三百三十人ニ達シタリ

防疫措置以上ノ如クニシテ幸ニ效ヲ奏シ前記患者一名ノ外後續患者ヲ見サリシヲ以テ十月十六日大阪府令第六十二號ヲ以テ前記府令第五十九號ヲ廢止シ各關係ノ豫防措置ヲ徹廢シタリ

ニ、痘瘡豫防

大正二年以來福岡大分兩縣下ニ痘瘡發生シ本年ニ入り益猖獗スルノミナラス東京、愛媛、福島ノ各府縣下ニ於テモ患者ノ發生ヲ見ルノ狀況ナルヲ以テ當府三月二十六日各市町村長ニ對シ注意警戒ヲ促カスト共ニ種痘期ニ在ルモノニ對シ急速之ヲ施行シ懈怠者ヲ嚴密調査漏ナク種痘ヲ施行スヘキ旨ヲ通牒シ警察署長ニ對シテハ之ニ協力スヘキ旨ヲ通達シテ警戒スル所アリシカ四月九日ニ至リ俄然港區鶴町四丁目一名ノ痘瘡患者ヲ發生シタルヲ初メトシ同月十四日迄ニ同區壽町一、二、三丁目内ニ九名其他同區内ニ六名東淀川區一名東成區一名合計十八名ノ發生ヲ見タリシモ之カ系統ハ漠然トシテ捕捉スヘカラス爰ニ於テ當府ハ同月十四日左記告諭第一號ヲ以テ本年秋季京都ニ於テ行ハセラル、曠古ノ御大禮ニ際シ當府下ニ於ケル本病ノ流行ニ依リ病毒ヲ京都府ニ移入スルカ如キコトアラシカ寔ニ由々數大事ナレハ此際各自ハ年齡ノ如何ヲ問ハス進テ速ニ種痘ヲ受ケ豫防ノ事ニ努ムヘキ旨ヲ警告シ一面訓令第七號ヲ以テ警察署長、市長、區長、町村長ニ對シ告諭ノ趣旨徹底ニ努メ且衛生組合其他各種ノ公私團體工場等ヲ督勵シテ種痘ノ普及ヲ圖ルヘキ旨ヲ訓令シタル外府醫師會ニ對シテハ會員ノ援助ニ待チ種痘ノ普及ヲ圖リ以テ豫防ノ實ヲ擧ケンコトヲ依頼シ更ニ警察署長ニ對シ一般ニ急速種痘ノ普及ニ努ム就中客ノ來集ヲ目的トスル營業者及合宿所、寄宿舎、貨夜具、貸本、古着其他之ニ類スル職業、洗濯屋、洗屋及其從業者、藝娼妓其他接客業者、鍼灸按摩術營業及其徒弟電車自動車乘務員屑物營業者及其從業者工場職工等ニ對シテハ直ニ種痘ヲ施行スヘキ旨ヲ通達シタリ而シテ一面所轄警察署ハ發生地ニ在リテハ患者ヲ中心トシテ附近住民ニ對シ臨

時種痘ヲ施行シ尙當非番巡查又ハ防疫監吏ヨリ成ル調査班ヲ組織シテ部内全部ニ涉リ檢病調査ヲ反覆施行シ就中朝鮮人、支邦人、木賃宿泊人貧民部落居住者、屑物取扱業者及其附近ノ居住者ニ對スル檢病調査ハ一層周密ニ之ヲ施行シ特ニ朝鮮人ニ對シテハ醫師及巡查ヨリ成ル種痘班ヲ以テ各戸ニ就キ全部接種シ其他ノ不健康地ト目サル、地帯ニ對シテハ大阪市及其方面ノ衛生組合ヲシテ臨時種痘ヲ行ハシメ一面豫防宣傳ポスターヲ電車内、巡查派出所、浴場、理髮店其他民衆ノ見易キ場所ニ揭示シ又ハ衛生組合ト協力シテ宣傳ビラヲ配布シ更ニ部員ヲ派遣シテ其實況ヲ視察セシメテ督勵スル所アリシカ六月二十三日港區ニ於ケル發生ヲ最終トシテ終熄シタリ此間患者四十八名内死亡七名ヲ出シ港區ニ於ケル三十二名ヲ最多トシ大阪市内ハ浪速區及西淀川區ヲ除キ各區一名乃至三名ヲ出シタル外泉北郡一名ノ患者ヲ見タリ其豫防措置ニ關スル成績左表ノ如シ

種痘施行人員	一、二三七、五六七人	内	大阪市	九八八、三二一人
			郡部	二四九、二四六人

痘瘡豫防ニ關スル檢病的戸口調査成績表

戸	數	人	患	
			普通	注意患者
水	上	三八九、〇二一	四、〇六〇、二六三	一五、三九〇
		八八四、一八七		四〇一
				一五、七九

大阪府告諭第一號 昭和三年四月十四日

福岡及大分縣下ニ於テハ昨年以來引續キ痘瘡患者發生シ本年一月上旬以後更ニ山口、東京、静岡、岡山、高知、熊本、佐賀、宮崎、福島、愛媛、石川、富山、愛知等ノ各府縣下ニ散發シ今ヤ全國ノ流行ヲ見ントスル趨勢ニ在リ交通至便ノ當府下ハ何時該病毒ノ侵襲ヲ蒙ルヤモ難計ヲ以テ疾ニ種痘ノ普及ヲ圖リ一面檢病的戸口調査及死體檢案ヲ勵行シ以テ患者ノ早期發見ニ努ムル等銳意豫防警戒中ノ處不幸ニシテ病毒ハ大阪市内ヲ侵シ突如本月九日港區鶴町四丁目ニ於テ一名ノ患者ヲ發見シ相次テ同區壽町一、二丁目桂町一丁目及東淀川區南濱町ニ一時二十一名ノ患者發生尙續發ノ傾向ニ在リ萬一往

年流行ノ轍ヲ踏ムカ如キコトアラシカ慘禍ノ及フ所測リ知ルヘカラサルノミナラス殊ニ本年秋季京都ニ於テハ曠古ノ御大禮ヲ舉行セラルルヲ以テ當府下ニ於テ本病ノ大流行ヲ見其病毒ヲ京都府下ニ移出スルカ如キコトアラシカ寔ニ由々數大事ニシテ轉寒心ニ堪ヘサル所ナルヲ以テ患者ノ發生地附近ハ勿論本病豫防上必要ト認ムル地域ニ對シ急遽臨時種痘ヲ施行セシメツツアリト雖府下一般ニ警戒ノ要アリト認メラルルヲ以テ此ノ際各自ハ年齡ノ如何ヲ問ハス進ンテ速ニ本病唯一ノ豫防方法タル種痘ヲ受ケ以テ不測ノ禍害ヲ免レンコトニ努メラルヘシ

其他雜件

(イ) 蠅ノ驅除ヲ施行シタル戸數

四五三八戸

(ロ) 傳染病院、隔離病舎及公私立病院傳染病室

視察度數

一三二四

注意ヲ與ヘタル件數

一九二件

(ハ) 行旅病人中傳染病患者ヲ發見シタル人員

一六人

ホ、「ベスト」豫防

「ベスト」豫防上一日モ缺クヘカラサル事業ハ鼠族ノ驅除ニ在リ大阪市ニ於テハ明治三十二年以來市内ノ捕鼠買收ヲ繼續シ其數二千二百萬頭ニ上リ之ニ支出シタル金額ハ百數十萬圓ヲ算スルニ至リシカ市ハ昭和三年四月一日以後之カ買收ヲ廢止シ左ノ計畫ニ依リ捕鼠作業ヲ行ハントヲ申出テタルヲ以テ當府ハ市内居住者ノ自營的捕鼠ヲ買收センヨリハ寧ロ豫防上必要ト認ムル地域ニ對シ捕鼠器又ハ殺鼠劑ニ依ル除鼠ヲ行フヲ以テ勝ルニ如カスト爲シ之ヲ承認實行セシムルコト、セリ

本年度計劃概要

一、鼠投棄函ノ設置

一年ヲ通シ警戒ヲ要スル方面ニ鼠投棄函ヲ置き毎日之ヲ蒐集ス

二、捕鼠隊ノ活動

既往ニ於ケル「ベスト」流行季節ニ鑑ミ毎年十月、十一月、三月、四月、五月ノ五ヶ月間捕鼠隊約七班ヲ編成シ危險地

區ノ強制捕鼠ヲ行フ

三、殺鼠劑配布及探鼠

毎年十二月、一月、二月ノ三箇月間前二號ノ地區ニ約七班ヲ以テ殺鼠劑ヲ配布シ鼠族ノ驅除ヲ行フ

四、如上ノ方法ニ依リ獲タル鼠ハ凡テ府衛生課細菌室ニ送付ス

第一項ノ鼠族投棄函設置ノ場所左ノ通ニシテ當分之ヲ設置シ毎日一回又ハ二回蒐集スルコト  
以上ノ方法ニ依リ四月十四日作業ヲ開始シタリ

第一區		第二區	
投棄函番號	投棄函設置場所	投棄函番號	投棄函設置場所
1	桃園衛生組合	1	本田衛生組合
2	地藏坂巡查派出所	2	九條聯合衛生組合
3	高津聯合衛生組合	3	三軒家衛生組合
4	下寺町四丁目巡查派出所裏手	4	市岡衛生組合
5	難波西部衛生組合	5	朝潮衛生組合
6	櫻川一丁目巡查派出所	6	三條通三丁目巡查派出所
7	日吉衛生組合	7	築港埠頭巡查派出所
	南區西賑町		西區本田町三番丁
	南區瓦屋町三番丁		港區九條通三丁目九條會館内
	南區高津四番丁		港區大正通五丁目
	天王寺區下寺町四丁目		港區魁町一丁目
	浪速區櫻川町二丁目		港區八幡屋元町一丁目
	浪速區櫻川町一丁目		港區三條通三丁目
	西區南堀江下通一丁目		港區北海岸通
	高津署		川口署
	高津署外二署		九條署
	同		泉尾署
	同		市岡署
	同		築港署
	同		同

8	築港天保山衛生組合	港區二條通二丁目	同
1	櫻島巡查派出所	此花區櫻島町	朝日橋署
2	千鳥橋南詰	此花區四貫島町大通二丁目	同
3	下福島二丁目巡查派出所	此花區下福島船津橋北詰	福島署
4	北野衛生組合	北區高垣町	會根崎署
5	瀧川衛生組合	北區龍田町	天滿署

其後増設シタル箇所ハ二十九ヶ所ナリ

第二項第三項ニ依ル除鼠作業計劃ハ左ノ如クニシテ各班ニハ巡查一名ヲ付シテ五月一日ヨリ之ヲ施行スル旨築港、朝日橋市岡、九條、川口、泉尾、芦原、難波、曾根崎、天滿、高津、戎、島ノ内、福島、新町、天王寺、玉造ノ各署ニ四月三十日付ヲ以テ通達シタリ

除鼠作業

- 一、除鼠班七班但シ五月七日以後ニ班ヲ築港署ニ配置シ當分頻回ニ除鼠ヲ行フ 一班ノ組織ハ市吏員一人人夫一人
- 二、施行地域
  - (イ)、海外「ベスト」流行地ト關係ヲ有スル船舶ノ着陸地及河川沿岸地帯
  - (ロ)、米棉ヲ收藏スル倉庫地帯及其附近
  - (ハ)、紡績工場及停車場地帯及其附近
  - (ニ)、最近「ベスト」患者又ハ有菌鼠發生地帯
- 三、作業方法
  - (イ)、捕鼠班ハ前項地帯ノ倉庫及住家ニ對シ一器乃至三器ノ捕鼠器ヲ配置スルモノニシテ一班一日ノ受持ヲ百戸(倉庫ヲ含ム)内外トス

(ロ)、殺鼠班ハ前項ノ地域ニ在ル住家倉庫ニ對シ十粒内外ノ殺鼠劑ヲ配布スルモノニシテ一班一日ノ受持ヲ百五十戸(倉庫ヲ含ム)トス

「ベスト」豫防計劃

- 一、除鼠區域
  - (一)、沿岸地域
    - 外國航路船舶ノ岸壁ニ繫留シ得ル地帯(天保運河兩岸及其以西並櫻島驛前運河以西)
  - (二)、隣接地域
    - 沿岸地域ニ隣接セル地域(沿岸地域ヲ除キタル築港署管内全部及松ヶ鼻渡ヨリ北港大橋ニ至ル線ヨリ以西)
  - (三)、第一次倉庫地域
    - 外國貨物中穀類、穀粉類、豆粕、有機性肥料等鼠ノ食料タリ得ヘキ物件及棉花類ヲ外國航路ノ船舶ヨリ沖荷役シテ第一次ニ收藏スル倉庫及其附近ノ住家
- 二、除鼠方法
  - (イ)、沿岸地域
    - 倉庫ニ對シテハ一ヶ月二回殺鼠劑ヲ配布ス住家ニ對シテハ一ヶ月三回ノ捕鼠器配置二回ノ殺鼠劑ヲ配布ス
  - (ロ)、隣接地域及(ハ)第一項倉庫地域
    - 倉庫ニ對シテハ一ヶ月一回ノ殺鼠劑配布及二回ノ捕鼠器配置ヲ爲ス
- 三、除鼠班ノ組織
  - 吏員一人人夫一人ヲ以テ一班トシ十七班ヲ編成シ各班ニ巡查一人ヲ附ス
- 四、除鼠作業

除鼠班一班ノ受持ハ捕鼠器配置ニ在リテハ百七十戸トシ一戸ニ對シ一乃至三器ヲ配置ス殺鼠劑配布ニ在リテハ二百五十戸トス(倉庫ニ對シ平均三十粒ヲ配布ス)

五、除鼠作業ノ順序左表ノ通

六、倉庫ニ對スル除鼠並防鼠

以上三區域ニ在ル倉庫ニ對シテハ所轄警察署ニ於テ大正十四年<sup>十月</sup>大阪府令第六號傳染病豫防法施行細則第三十九條ニ規定セル除鼠及明治四十一年<sup>六月</sup>大阪府令第七十八號倉庫納屋其ノ他建物取締規則第三條ニ規定セル防鼠設備ヲ督勵スルコト右ニ關シテハ特ニ當廳ヨリ防疫職員(十人)ヲ派遣スヘキニ付署員ト協力從事スルコト(本項該當ノ倉庫ハ左ノ作業順序表中除鼠戸數欄倉庫ヲ指ス)

七、船舶ニ對スル除鼠

大阪港及大阪市内各河川ニ於テ貨物運搬ニ從事スル船隻ニ對シ水上署長ニ於テ各所有者ヲ諭示シ適當個數ノ捕鼠器ヲ備付除鼠ヲ行ハシメ且之ヲ監督スルコト

右ニ關シテハ特ニ當廳ヨリ防疫職員(八人)ヲ派遣スヘキニ付署員ト協力從事スルコト

除鼠作業順序

除鼠地域	除鼠區域	除鼠戸數	捕鼠器配置	殺鼠劑配付	班數	所轄署名
沿岸地域	天保山運河沿岸及其以西 櫻島町ノ各沿岸及其附近	二、五〇〇 倉庫 一八九	三回 日數 一六	二回 日數 一〇	三	築港署 朝日橋署
隣接地域	築港署管内(沿岸地域ヲ除ク) 松ヶ鼻渡ヨリ北港大橋ニ至ル線ヨリ以西 (同上)	一〇、〇〇〇 倉庫 一一六	四	三	一四	築港署 朝日橋署
三軒家方面	三軒家濱通自一丁目至四丁目	一、〇〇〇	一	一	八	

泉尾方面	今木町一、二丁目 難波島一、二丁目 千島町小林町及其附近	倉庫 八六				六	泉尾署
南北堀江方面	長堀川、西道頓堀川間西横堀川、木津川 間ノ區域 立賣堀南通五、六丁目 新町通四、五丁目 幸町自二丁目至五丁目(幸橋筋以西)櫻 川三丁目	倉庫 一、五〇〇 倉庫 九七 倉庫 五〇〇 倉庫 四〇〇 倉庫 二四				九 二 三	新町署 同原署 荻原署
西難波方面	安治川上通一、二丁目 下福島三、四、五丁目 兼平町、安井町對込町十六町	倉庫 六〇〇 倉庫 五〇				四	福島署
中ノ島方面	中ノ島一圓中ノ島一、二丁目ヲ除ク 土佐堀三、四、五丁目 江戸堀南通三、四、五丁目 上福島南通二、三丁目 堂島通三、四丁目 平松町一丁目草間町	倉庫 八〇〇 倉庫 一一七 倉庫 八〇〇 倉庫 五〇				五 五	川口署 福島署
梅田驛附近	梅田町、北梅田町、大深町、西梅田町、 小深町、佐藤町 樋ノ上町、鳴尾町、菅原町 天滿橋筋五丁目、國分寺町、樋ノ口町、 吉山町、池田町、天滿橋筋六丁目	倉庫 五〇〇 倉庫 一〇〇 倉庫 四〇〇 倉庫 二〇〇 倉庫 一〇〇 倉庫 一六				三 三 八	會根崎署 天滿橋署 會根崎署
高津方面	東西眼町瓦屋町及其附近	二、五〇〇				一四	高津署
難波方面	東西日手町稻荷町一二丁目及其附近	二、四〇〇				一	難波署
計	沿岸地域 其他 倉庫	二、五〇〇 二、四〇〇 七八二	九	八			

備考 沿岸地域ハ毎月捕鼠器三回殺鼠劑二回隣接地域及第一次倉庫帶ハ捕鼠器二回殺鼠劑一回トシ高津及難波方面ハ捕鼠器及殺鼠劑各一回トス但シ沿岸地帯ノ三班ハ固定班トス

前記ノ順序ニ基キ其施行日割左ノ通定メ六月二十五日通達シタリ

除鼠作業區域及期間 自六月二十七日 至七月二十六日

警察署名	施行月日	施行期間	作業ノ種類	施行區域
築港署	自六月廿七日 至六月廿九日	三日	捕鼠器配置	築港署管内天保山運河沿岸及其以西ヲ除ク 恩加島町千島町方面但シ松ノ鼻渡ヨリ北港大橋ニ至ル線ヨリ以西(磯邊橋ヲ除ク)
朝日港署	六月三十日	一日	"	(イ)三軒家濱通今木町及其附近
泉尾署	七月二日	一日	"	(ロ)千島町小林町及其附近
新原署	七月三日	一日	"	(イ)堀江方面長堀川西道堀堀川間西横堀川木津川間ノ要警戒地域
福島署	七月四日	一日	"	(ロ)立賣堀南通河岸倉庫地帯及其附近幸町自二丁目至五丁目沿岸地帯及其附近
會津橋署	七月五日	一日	"	(イ)安治川上通下福島及其附近
高津署	七月六日	一日	"	(ロ)堂島濱通及日本紡績周圍其附近
天満津署	七月七日	一日	殺鼠劑配付	(イ)中ノ島一圓(但一、二丁目ヲ除ク) 土佐堀及其附近
朝日港署	七月九日	二日	殺鼠劑配付	(ロ)富島町及其附近
築港署	七月十日	一日	"	(イ)梅田驛附近
高津署	七月十一日	一日	"	(ロ)池田町合同紡績周圍部及其附近浪花橋北詰倉庫地帯
天満津署	七月十二日	一日	"	賑町瓦屋町及附近
會津橋署	七月十三日	一日	"	捕鼠器配付ノ區域ニ同シ
福島署	七月十四日	一日	"	東西目手町及稻荷町ト其附近
新原署	七月十五日	一日	"	
泉尾署	七月十六日	一日	"	
朝日港署	七月十七日	一日	捕鼠器配置	
朝日港署	七月十八日	一日	"	
朝日港署	七月十九日	一日	"	
朝日港署	七月二十日	一日	"	
朝日港署	七月廿一日	一日	"	
朝日港署	七月廿三日	一日	"	
朝日港署	七月廿四日	一日	"	
朝日港署	七月二十五日	一日	"	

天會 根滿崎署 七月二十六日 一 前回ニ同シ

備考 高津及難波署ハ同一班ヲ以テ毎月交互ニ作業ヲ行ヒ其ノ他ハ毎月捕鼠器二回殺鼠劑一回トス  
右ノ外築港及櫻島沿岸地域ニ固定班三班ヲ置ク  
七月二十七日以後十一月三十日ニ至ル施行豫定日ハ毎月之ヲ定メ反覆施行シタリ其成績左表ノ如シ

施行別	自四月一日 至十一月三十日	除鼠成績	除鼠數
捕鼠	一〇三、九四二		
倉庫	一一、〇三三		
船隻	一、五三八		
蒐集	九、七五七		
投棄	二九、九三三		
計	一五七、二〇三		
自六月四日 至六月十六日	一三、七三〇		
計	一七〇、九三三		

倉庫防鼠設備督勵成績 (十一月三十日迄ノ分)

地域別	防鼠設備	防鼠設備ニ要シタル
棟舎庫	八二	一、〇六一
防鼠設備ヲ命シタル棟數	一一	一八
配置數	五五二	一四〇
修理	八二	五九
新設	一一	四五
鼠返地盤	一一	三五
下水溝	一一	二〇八
金網	一一	一、八二三
壁體	一一	七四九
戸其ノ他	一一	一六、九九八、八三〇
計	一一	
經費	一一	

城地岸		隣接地城			第一						
計	朝日橋	計	朝日橋	築港	曾根崎	福島	天満	新町	市岡	川口	九條
二〇三	四六	一三二	四〇	九二	二〇	九〇	一五	八七	八	二六三	一七
一九九	四二	一二七	四〇	八七	二〇	九〇	一五	八七	八	二六二	一七
二、四八五	三〇〇	一、二九〇	三八〇	九一〇	二二三	九〇二	一四五	九五〇	一六〇	三、六三七	三〇〇
新設	修理	新設	修理	新設	修理	新設	修理	新設	修理	新設	修理
七二五	一〇九	三九〇	一六	三七四	一六	一一一	三〇	四〇	二六	六六四	三六
一、〇六一	一七三	二七九	八六	一九三	七	一九	四八	一四	九	二〇八	三一
一四〇	一八	四八	五	四三	三	三	一〇	一〇	六	一七	二二
七二	二七	一九三	二三	一七〇	七四	七	一二	六三	一八	二二五	五〇
四七八	八三	一五五	一四	一四一	二三	二〇	一五	一五	四	二六〇	一一七
二四〇	三二	一九	一九	一九	五	五	一〇	一〇	九	二八二	一二
一、九八三	一六〇	一、〇八四	一四四	九四〇	一一九	一六三	一〇五	一五二	四〇	八八三	一六二
九四九	二〇〇	二四七	九八	一四九	七〇	一九	一九	九七	四一	九四四	八八
一七、四四八、八三〇	四五〇、〇〇〇	一、三八〇、九六〇	五八六、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇	五二〇、〇〇〇	一、二二三〇、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇	三八六、三一〇	一四八、〇〇〇	四、四〇八、六四〇	四二八、一〇〇

合計	倉庫			
	計	泉尾	荻原	難波
九二九	五九四	六九	一七	八
九〇六	五八〇	五六	一七	八
一一、〇一四	七、二三九	七二二	一四五	六五
新設	修理	新設	修理	新設
一、九五四	七七〇	一七六	二〇	一〇
三二	二〇	五	二	三
一九八	二八	二〇	一	二
六〇九	五〇二	一四五	一〇	二
四一	四六九	四	八	二
二九	三四八	一五	二〇	一
二、八六三	一、八〇五	三三〇	六八	一〇
△七、五〇〇、〇〇〇	一〇、三三一、〇五〇	一、五〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	△七、五〇〇、〇〇〇

備考 本表中經費中△却付シタルハ工事未済ノ倉庫六棟ニ對スル所要經費ニシテ認可申請中ノモノナリ

以上ノ外来穀其他雜穀商乾物商八百屋パン菓子製造業麴商等ニ對シ除鼠ヲ督勵シタル戸數三萬千八百四十五戸ナリ  
**十三、家畜傳染豫防ニ關スル件**

- 一、狂犬病豫防
- イ、野犬捕獲 本年ニ於ケル病犬發生ノ數ハ二百十九頭(大正十五年 五九三頭 昭和二年 三三九頭)ニシテ被咬傷者三百九十三人恐水病患者四名ヲ出セリ之ヲ豫防ニ關シテハ野犬掃蕩ノ爲常時捕獲班二班(一班巡查班 名入夫二名)ヲ市部ニ設置シ毎月平均千二百頭内外ノ野犬ヲ捕獲整理スル所ナルモ御大禮ニ關シ七月一日ヨリ十一月末日ニ至ル間更ニ二班ヲ増設シ極力掃蕩ニ努ムルト共ニ三島北河内豊能三郡ノ如キ京都府ニ接壤ノ地域ニハ隔月野犬捕獲ヲ爲スノ計畫ヲ立テ三郡各警察署一班ヲ新設シタリ其成績左ノ如シ
- 一市部野犬捕獲數 一四五四一頭
  - 一三島、北河内、豊能各郡内捕獲數 五四三頭
  - 計 一五〇八四頭
- ロ、豫防注射 犬ニ對スル豫防注射ハ定期、常時、臨時注射ノ三方法ニ依リ定期豫防注射ハ告示ヲ以テ場所及期日ヲ指定シ



テ之ヲ行ヒ常時注射ハ府廳内ニ常設シテ之ヲ行ヒ更ニ必要ト認ムル場合ニ臨時注射ヲ行フ而シテ人ニ對スル豫防注射ハ府廳内細菌室及堺警察署内ニ常設シテ之ヲ施行シツ、アリ其成績左ノ如シ

- 一、豫防接種人員 三九六一人
- 一、豫防接種犬頭數 二二三六九頭
- 一、非狂犬檢診數 三九二一頭
- 一、被咬傷者人員 三八一三人

ハ、狂犬病豫防週間 農林省ノ通牒ニ基キ本年七月一日ヨリ七日ニ至ル七日間及十月一日ヨリ七日ニ至ル七日間ヲ狂犬病豫防週間ト定メ此期間内大小ボスター一萬枚ヲ各警察署市役所學校等ニ配布スル外巡查派出所駐在所百貨店湯屋理髮店電車停留場其ノ他衆目ニ觸レ易キ場所ニ掲出セシメ一面衛生組合青年會處女會等ノ協力ヲ求メテ標語、數ハ歌、漫畫等ヲ印刷シタルビラヲ配布シ又一面パンフレットヲ中等學校、小學校等ニ配布スルト共ニ生徒、兒童ニ講話ヲ依囑シ新聞紙ニハ狂犬ニ關スル一般智識及之カ豫防方法人畜被害統計並豫防週間實施ノ趣旨等ヲ掲載シテ週間實施ヲ一般ニ徹底セシメ又ラジ  
 オヲ放送シ更ニ警察官吏ヲシテ學校公園其他多衆集合ノ場所ニ於テ講演ヲ爲サシメ以テ豫防思想ノ啓發誘導ニ努メ一面劇場活動寫眞館等ニ於テ演藝ヲ利用シテ宣傳ヲ爲サシムル等極力之カ徹底ニ努ムルト共ニ警察署ヲシテ畜犬ノ整理飼犬ノ繫留ヲ勵行セシメタル外野犬ノ買上ケヲ爲サシメ更ニ市部ニハ野犬捕獲班四班郡部ハ各署ニ一班(捕獲作業一日間)ヲ配置シテ大ニ野犬ヲ捕獲シ又豫防注射ノ爲技術員一名乃至二名ヲ以テ一班トシタル注射班五班ヲ組織シ府下一圓ノ注射洩飼犬ニ對シ注射ヲ施行シタリ其成績左ノ如シ

- 一、買上犬頭數 八一七三頭
- 一、捕獲犬頭數 一三三〇頭
- 一、豫防注射施行頭數 六二四二頭

二、炭疽豫防

客年十月衛第一一八一八號ヲ以テ府下各警察署長ニ對シ斃死牛馬アリタルトキハ即報セシムルコトシ之ニ對シ檢案ノ結果炭疽牛ヲ發見シタルコト數次アリ本年一月以降檢診ノ結果二十九頭ノ炭疽牛ヲ發見シタリ之ニ對スル豫防措置トシテハ發生地附近ノ牛馬豚ニ對シ豫防注射ヲ施行スル外家畜檢病調査ヲ爲シテ發見ニ努メ尙十月十二日ヨリ十一月末日ニ至ル間從來發生シタル場所ヲ中心トシ危險區域ト認ムル範圍内ノ乳牛役牛及馬豚ヲ檢診シ以テ之カ豫防ニ努ムル所アリ其成績左ノ如シ

- 一、檢診頭數 四七二二頭
- 一、斃死牛馬豚頭數 一九八頭
- 一、炭疽豫防注射頭數 一〇六二頭
- 一、家畜檢病調査頭數 三八〇七頭

十四、畜牛結核病豫防ニ關スル件

府下ニ於ケル檢査ヲ要スヘキ乳牛頭數ハ三千三百十四頭ニシテ之カ檢査ハ技師一名助手三名ヲ以テ之ニ當ラシメ年内ヲ通シテ之ヲ行ハシム本年四月ヨリ十一月ニ至ル間檢査上發見シタルハ輕症牛十六頭疑症牛九頭及重症牛一頭ナリ而シテ京都府隣接地域ニ於テ檢査シタルハ三百八十頭ニシテ之ニ對シ輕症牛及疑症牛各一頭ヲ發見シタリ

十五、救護ニ關スル件

今回御舉行アラセラルル御大禮ニ付曠古ノ御盛儀ヲ拜觀センカ爲京都市其他ノ行幸啓地、往復スル者多カルヘク從テ大阪市内汽車電車ノ發着場所ハ多人數ノ昇降アルハ素ヨリ奉祝ノ爲各種催物ノ企テアルヲ以テ公園盛場其他等ニ於テ雜沓ヲ極メ爲ニ不慮ノ傷病者ヲ出サンモ計リ難ケレハ當府ハ大阪市役所、大阪府醫師會、大阪府衛生會及日本赤十字社大阪支部ト協議シ御大禮期間中左記ノ編成ニ依ル救護班ヲ大阪驛外十六ヶ所ニ二十八班(大阪府十一班、大阪府役所四班大阪府醫師會六班大阪府衛生會三班日本赤十字社大阪支部四班)ヲ組織シ左記ノ場所ニ配置シ晝夜其部署ニ於テ傷病者救護ノコトニ努メタリ因ニ當府救護班ノ組織ニ方リ大阪府看護婦組合ハ無償ニテ看護ノ勞ニ服センコトヲ申出テタルヲ以テ之ニ採納セシカ同會ハ一日二十二二人延百二人ノ看護婦ヲ出動セシメ以テ本事業ノ遂行ヲ幫ケタルハ多トスヘキナリ救護ノ成績左表ノ如シ



計	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	日本橋一丁目衛生會	天保山市醫師會	茨佳吉市役所	松島衛生會
合計	府衛生會	赤十字支部	市醫師會	大阪府役所	大阪府				
三	一	一	一						
四	三	一							
三四	二	四	三	三	二				一
一四	六	一	四	三		五			一
六	一		二	三					
三〇	一	二	一	六	一	六			一
二八	一	九	一	八		八			一
一			一						
二	二								
一二二	五四	九	一三	一〇	三六				四

各種團體ノ施設事項

講路	活動	衛生	町村	衛生組合	青年會	醫師會	齒科醫師會	藥劑師會	看護婦會	府衛生會	町村衛生會	各種組合	警親會	自治會
演說	寫真	劇	七	二	七	一	一	一			二	五		一
一	九〇	三	二	二	四	五	一	一			一	三		一

興行幕間演說	パンフレット及ポスター頒布	浪花節	標語、立看板及印刷物頒布	健康ボタン頒布	布市配布	衛生隊行	樂隊	種痘	救急	健康	花柳病豫防
一七	二〇	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
二〇	二八	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一八	一八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

一、御大禮ニ關スル衛生上ノ經費

科	目	金額
大禮施設費	衛生費	二、二七五・〇〇
	禮費	二、二七五・〇〇
	應費	六三六・〇〇
	國內旅費	三一九・〇〇
	雜給及雜費	一、三二〇・〇〇
合計		一、三二〇・〇〇

(イ)國庫ヨリ受ケタル經費  
(ロ)府費豫算  
昭和三年度大阪府歳出經常部追加豫算

衛生課長國澤健雄	保健係	六〇名	四八四名	一九、八〇〇・〇〇
衛生課長國澤健雄	醫務係	一九名	四八四名	一九、八〇〇・〇〇
衛生課長國澤健雄	防疫係	一八二名	四八四名	一、三八〇・〇〇
衛生課長國澤健雄	各警察署衛生事務關係官吏	二二三名	四八四名	一、一三二・〇〇
衛生課長國澤健雄	衛生課長國澤健雄	衛生課長國澤健雄	衛生課長國澤健雄	四、三九四・〇〇
衛生課長國澤健雄	衛生課長國澤健雄	衛生課長國澤健雄	衛生課長國澤健雄	二、八九四・〇〇

二、御大禮ニ關シ衛生關係職員配置左ノ如シ

衛生課長國澤健雄  
 保健係 六〇名  
 醫務係 一九名  
 防疫係 一八二名  
 各警察署衛生事務關係官吏 二二三名  
 四八四名

衛生及病院費  
 衛生諸費  
 衛生費  
 傳染病豫防費  
 家畜傳染病豫防費  
 傷病者救護費

(4) 神奈川県

御大禮衛生事務ニ就テハ其ノ敏活周到ナル處理ト統一トヲ期スル爲之ヲ總務部及第一乃至第十一部ニ分掌シ警察部長總指揮ノ下ニ福田衛生課長ヲ主任トシ施行セルカ其ノ施設及成績次ノ如シ  
 總務部ニハ特記スヘキモノナシ

第一 部 一、飲料水ニ關スル件

水道條例ニ依ル水道（横濱市、横須賀市、川崎縣、秦野町、戸塚町、中野町、元箱根村、北足柄村、西秦野村、松田町、強羅水道、江ノ島水道、橋樹水道）及簡易水道布設地ニ對シテハ上水道水使用ヲ勸奨シ必要ノ個所ニハ共用栓ノ増設ヲナサシムル等之レカ普及ヲ圖リ一方水道水源及水質ノ保護ニ留意セシメ且ツ其ノ水質試驗ヲ勵行シ飲用井ニ對シテモ其ノ井側、流シ場等ノ構造ニ注意セシメ不完全ナルモノニハ相當修理ヲナサシメ且ツ治ク唧筒裝置ヲ勸奨シ一方之レカ必要ニ應シ水質試驗ヲ施行セリ  
 其ノ成績左ノ如シ

水質試驗成績

種別	試驗總數	試驗成績	
		飲料適	飲料不適
上水道及簡易水道水	五二	四四	八
井水	七五	四九	二六

尙觀艦式直前横濱市水道、横須賀市水道、及川崎市水道ニ對シ水源取入ヨリ濾過池等ノ設備及ヒ水質ノ検査ヲナサシメ特ニ横濱市水道ニ於テハ前三日巡視員夜警等ヲ倍加取締上ノ完全ヲ期シタリ



不適數	三四	一二	七	九	三	六五
不適數百分率	〇、八六	一、六四	二二、五八	二、〇五	七、三一	一、一五

牛乳試驗成績

試驗數	不適品發見數	不適品%	不適			適		
			比重過高	比重低シ	比重不適%	脂肪量不足	脂肪不足%	由
一、八四〇	一二九	七、〇一	—	七五	四、〇七	五四	二、九四	—

飲食物ニ關スル臨檢個所數自四月至十一月每月施行

旅館	料理店	飲食店	販賣店	酒店	菓子店	陶磁器店	金物店	待合	貨座敷	水水營業	其ノ他	合計
總數	否	總數	否	總數	否	總數	否	總數	否	總數	否	總數
六五九	八一九	二、七七八	一、八五八	三、七七一	三、〇〇〇	三	一	三	一六	一〇〇	六三	六、二四一
否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否

飲食物用器具ニ關スル臨檢個所數自四月至十一月每月施行

旅館	料理店	飲食店	販賣店	酒店	菓子店	陶磁器店	金物店	待合	貨座敷	水水營業	其ノ他	合計
總數	否	總數	否	總數	否	總數	否	總數	否	總數	否	總數
六五九	八一九	二、七七八	一、八五八	三、七七一	三、〇〇〇	三	一	三	一六	一〇〇	六三	六、二四一
否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否

四、汚物掃除ニ關スル件

街路、河川、溝渠及下水溝等ノ清掃、浚渫、改修ニ關シテハ常ニ當該市町村又ハ衛生組合若クハ個人ヲシテ之ヲ施行セシメ各戸ヨリ排出スル塵芥ノ搬出ニ就テハ當該吏員ヲ督勵シ實施上遺憾ナキヲ期セシメタリ

衛生組合其他ノ團體ヲ督勵シ各戸ニ完全ナル塵芥容器ノ備付ヲ勵行セシメ破損セルモノ、覆蓋ナキモノハ速ニ改修ヲ爲サシメ

尙一面塵芥容器ノ改善ヲ指導スル必要ヲ認メ本年七月懸賞募集ヲ發表シ應募セル容器五十種ニ就キ特ニ審査員ヲ設置シ左記各號ヲ標準トシテ審査ノ結果二等三種選外優良五種ヲ選定シ二等金貳拾圓三等金拾圓選外金五圓宛ヲ授與シ之ヲ表彰シ去ル九月二十七日ヨリ三日間本縣第二衛生試驗場内ニ陳列シ關係當事者ノ縦覽ニ供シタル等之カ改善指導ニ努メタリ

審査標準

- 一、各戸ニ於テ塵芥ノ蒐集ニ便利ナルコト
  - 二、掃除夫ノ塵芥搬出ニ便利ナルコト
  - 三、容器ノ型體ハ市街ノ美觀ヲ損セサルモノタルコト
  - 四、堅牢ニシテ耐久力ニ富ミ且修繕簡易ナルモノ
  - 五、價格比較的低廉ナルモノ
  - 六、衛生ニ適スルモノナルコト
- 塵芥處分ニ關シテハ燒却及埋却ノ二方法ニシテ現時鎌倉、葉山、浦賀ノ三ヶ町ハ全部横濱市ニアリテハ一部分ヲ燒却ニ付シ其ノ他ノ市町村ニアリテハ何レモ低地ノ埋却ニ付シツ、アル現況ナルヲ以テ塵芥燒却場及同捨場ヲ設備セシムルノ必要ヲ認メ之カ施設ヲ督勵シタル結果該建設ヲ爲シタルモノ又ハ建設工事中ノモノ若クハ建設認可申請ノ市町村左ノ如シ
- 一、浦賀町ニ於テハ豫算金六千五百圓ヲ要シ本年十月二十日建設工事竣功セリ
  - 二、横濱市ニ於テハ豫算金五十八萬壹千五百圓ヲ計上シ目下建設工事中ナリ
  - 三、川崎市ニ於テハ豫算金五萬圓湯本町ハ豫算金四千五百圓ヲ計上シ建設認可ヲ申請セリ
  - 四、厚木町、逗子町ニ於テハ建設計畫中ナリ
- 塵芥取扱場及同捨場ヲ認可シタル市町村左ノ如シ
- 一、横須賀市 茅ヶ崎町 秦野町
- 現時管下ニ於テ汚物掃除法ヲ施行ノ市及同法ヲ準用指定シタル町村左表ノ如シ

汚物掃除法施行市町村表

市町村名	實施戶數	同上人口	監視吏員	市町村名	實施戶數	同上人口	監視吏員
横濱	一一八、二六九	五一四、五八〇	三八	藤澤	四、一四	二一、五六一	三
横須賀	一七、五〇〇	七四、三三九	一一	茅ヶ崎	二、六六〇	一四、六三〇	三
川崎	一六、五一五	七八、一六〇	八	平塚	三、九五〇	一九、七五〇	三
戸塚	一、〇一五	五、〇七五	三	大磯	一、六〇一	九、八七〇	三
鎌倉	四、三六四	一五、八八七	三	厚木	一、二〇〇	五、二〇〇	三
腰越	八八〇	四、四〇〇	三	伊勢原	五九七	二、九八二	三
川口	二四〇	一、二〇〇	三	秦野	一、八七〇	九、三五〇	三
逗子	二、七〇〇	一二、五〇〇	三	小田	六〇〇	三、〇〇〇	三
田浦	三、四八六	一八、〇〇〇	四	府原	五、五九二	二七、〇〇〇	五
浦賀	一、六六八	八、三四〇	四	津	八〇〇	四、〇〇〇	三
三崎	一、四四五	七、四九〇	三	本	三九七	二、一八三	三
葉山	一、一四五	五、六一〇	三	泉	一五〇	九七五	三

五、水槽便所取締ニ關スル件

水槽便所取締ニ就テハ之レカ取締ノ必要ヲ認メ本年三月縣令ヲ以テ之レカ取締規則ヲ定メ其ノ既設ト新設トヲ問ハス常ニ實況ニ注意シ取締ヲ勵行シ構造設備不完全ノモノニ對シテハ速ニ改善セシメ殊ニ消毒ノ勵行ニ努メタリ而シテ之レカ調査數ハ一九三件内構造設置ノ規程ニ適合セルモノ一三二件ヲ算セリ

水槽便所調査數	適數	汚水試験數	適數
一九三	一三二	五一	七

備考 水槽便所ノ放流汚水ノ消毒ハ汚水十萬分ニ對シテ、五分乃至六分ノ「クローリ」カルキヲ使用セリ

六、食品市場取締ニ關スル件

食品市場ニ對シテハ常ニ建築物ノ構造地盤、下水溝等衛生的設備ノ改善ヲ促シ横濱市中區港町食品市場其ノ他ニ於テハ地盤ノ破損及下水ノ疏通不良ナルヲ認メ之カ改善ヲ督勵シタル結果何レモ適當ノ改善ヲ施スニ至レリ市場内ニ於ケル日々ノ掃除ハ各市場共其ノ從業者ヲシテ之ニ從事セシメ塵芥ハ常人夫ヲシテ市町村ノ塵芥處理場若ハ無害ノ場所ニ搬出セシメ魚骨等ノ汚物ハ各其ノ特約人ヲシテ化製場其ノ他ノ場所ニ移送シ適當ニ處置セシメ又汚水ノ疏通ニ支障ナカラシムル爲特ニ毎月三回下水溝ノ浚渫ヲ爲サシムル等市場内ノ清掃ニ努メシメタリ、食品及品質ノ監督ハ隨時當該吏員ヲシテ食品取締關係法令ヲ勵行スル様嚴重ニ監視セシメ一面當業者ニ懇示シテ品質ノ不良ト認ムル物品ヲ販賣セサルコトノ良慣習ヲ獎勵セシメ水道水布設地ノ市場ニアリテハ水道水ヲ其ノ他ニアリテハ善良ナル水ヲ使用セシメ井戸ニハ汚水汚物及塵芥等ノ侵入防止ノ設備ヲ爲サシメ且唧筒裝置ヲ勸奨シ之カ改善ヲ促シタリ市場内ニ於ケル便所ハ特ニ清潔ヲ保持セシメ時々防臭劑ヲ撒布セシメ尿尿ハ特約人ヲシテ充溢セサル様汲取ラシムルコトニ注意セシメタリ管内ニ於ケル食品市場數ハ横濱四、横須賀三、川崎二、鎌倉四等計四十八ナリ

右從事職員ハ多田技師外十名ナリ

第二部

一、海港防疫施設ニ關スル件

本件ニ關シ昭和三年六月一日當應ニ於テ内務省衛生局縣市衛生課横濱稅關港務部横濱川崎市內各警察署衛生主任會合ノ上協議會ヲ開催シ該施設中ベスト防疫ニ關シ左記ノ如ク協定シ更ニ六月十三日外來貨物ヲ第一次ニ收納スル倉庫所有者二十名ヲ當應ニ召集シ實行方法ヲ協議シ六月十三日ヨリ左記ノ方法ニ從ヒ倉庫ノ取締ヲ嚴重ニシ防鼠及除鼠ノ勵行ヲナセリ

イ、倉庫ノ防鼠設備

外來貨物ヲ收納スル倉庫ニシテ稅關構外ニアルモノヲ準沿岸倉庫ト命名シ其ノ地域ヲ準沿岸地區トシ本縣ニ於テハ其地域ニ限

リ税關構内ノ取締ハ税關ニ委任ス

準沿岸倉庫ノ數

二四

同 棟 數

二三二棟

同 總坪數

四三、五四三坪

右二三二棟ノ倉庫ヲ其ノ構造及設備ニヨリ便宜上左ノ三階級ニ別ツ

A級 外壁床等カ石煉瓦コンクリート等ノ防鼠材料ニテ築造セラレ鼠ノ棲息殆ントナク且ツ戸扉ヲ閉シタル時鼠ノ出入全ク不可能ナルモノ

B級 外壁カ前記防鼠材料ナルモ床ハ土間又ハ板張りニテ通常ノ場合ハ鼠ノ交通不可能ナルモ建物古クシテ鼠ノ棲息シ且ツ處々ニ鼠交通ノ穴アル如キモノ

C級 外壁及床共非防鼠材料ニテ建物古ク小修繕ヲスルモ常時到底鼠ノ交通ヲ絶ツ事不可能ナル如キモノ  
右ノ條ニ從ヒ準沿岸倉庫ヲ左ノ如ク區分セリ

A級 倉庫 一七四棟

B級 倉庫 四一棟

C級 倉庫 五棟

計 二二〇棟

右倉庫ニ對シ左記ノ防鼠設備ヲナサシム

一、戸扉窓土臺廻リ其他破損等ニ依リ鼠ノ交通シ得ル如キ場所ハ完全ニ修理スル事

二、内部地盤カ非防鼠材料ナルトキハコンクリート漆喰叩キ其他ノ防鼠材料ニ改ムルヲ理想トスルモ止ムヲ得サルトキハ板張りナレハ腐朽部其他荷クモ鼠ノ交通スル穴ヲ造ラル、處アル部分ヲ完全ニ修葺シ土間ナレハ厚サ凡ソ一間前後ニ小石砂利ノ類ヲ敷クカ止ムナクハ鼠穴ヲ搜索シ砂利ノ類ニテ充分填塞スルコト

三、外壁カ非防鼠材料トナルトキハ地上凡ソ三尺地下二尺ヲ防鼠材料トスルカ或ハ亜鉛板ヲ圍繞及埋没スルコト但シ内部地盤カ「コンクリート」「アスファルト」「煉瓦等ニテ鼠ノ潜入不可能ナルモノハ地上部ノ亞鉛板張りノミニテ可ナリ  
以上ノ倉庫ニシテ近ク改造ノ豫定アルモノハ單ニ除鼠施設ヲ勵行シテ代ラシムル事ヲ得

四、外壁ノ戸扉カ完全ニ閉鎖セラレ又ハ其ノ他ノ狀況ニテ鼠ノ潜入シ得サル設備アルモノ、外ハ鼠返ヲ設備セシムル事

五、鼠返シハ成ヘク兩柱間ニ嵌挿スル式トシ外ニ對シテ六〇度前後ノ角度ヲ保チ高サ二尺五寸トシ外面ハ金屬板ニテ滑澤ナルモノトスル事

六、鼠返シハ夜間ハ勿論晝間ト雖モ入口使用時ノ外ハ常時之ヲ嵌挿シ置ク事

七、夜間荷役ノ際ハ荷役中強力ナル燈光ヲ以テ其入口ヲ照射スルコト

右ノ如キ方法ニヨリ不完全ナル箇所ハ改造ヲ命シ防鼠設備ヲ勵行セシメタルニ現今ノ倉庫現況左ノ如シ

A級 倉庫 一七七棟

B級 倉庫 四七棟

C級 倉庫 八棟

計 二三二棟

總坪數 四三、五四三坪

ロ、防鼠ノ施設

準沿岸倉庫並ニ其附近不良護岸ニ對シ殺鼠劑ヲ調製シテ各倉庫業者ニ配付セシメ尙捕鼠器ノ配置ヲ勵行シ傍ラ懸賞ヲ附シテ新案捕鼠方法並捕鼠器ヲ一般ヨリ募集シテ其範タルモノヲ示シ一層研究ニ努メシメ除鼠ヲ勵行セリ

A級倉庫ニ對シテハ殺鼠劑月一回捕鼠器月一回以上

B級 同 同 月二回同 月二回以上

C級 同 同 月二回同 月二回以上



倉庫ニ配付シタル殺鼠劑數 一二二、一一〇個  
 準岸ニ配付シタル殺鼠劑數 五、一〇〇個  
 捕鼠器ノ延數 七四、二三一個  
 捕鼠器數 二、二六〇頭

ハ、蚤ノ驅除及塵芥ノ處理

綿類其他貨物ニ附着セル蚤ノ散蔓ヲ防遏及繁殖ナカラシメン爲メ塵芥ハ可成燒却爐ヲ設置スル様勸說シ止ムヲ得サルモノニ對シテハ危險ナキ一定ノ場所ニ集メ直チニ燒却セシメ時々倉庫内ニ「モルモット」ヲ配置シテ檢査セリ

二、横濱市内殺鼠劑配付ニ關スル件

ベスト豫防ノ爲メ九月五日ヨリ十五日間横濱市内各戸ニ殺鼠劑十個宛配付ヲナセリ

一、亞砒酸製殺鼠劑處方

亞 砒 酸 一八〇瓦  
 蕎 麥 粉 三〇〇瓦  
 煮 干 粉 一五〇瓦  
 小 麥 粉 四七〇瓦  
 蕃 椒 末 一〇瓦

右ヲ水ニテ練合シ軟塊トシ二〇〇〇〇〇個ニ細切シ團子トス一個中亞砒酸含量〇、〇九

横濱市内殺鼠劑配付成績

配 布 日 數	配 布 人 夫 延 人 員	殺 鼠 劑 配 布 個 數
一五〇	六一五	一、三二一、〇〇〇

三、井水豫防消毒ニ關スル件

特別大觀艦式舉行前五日間横濱川崎兩市内ノ飲用雜用井水ニ就キ左記ノ方法ニ依リ豫防消毒ヲ勵行スルコトトシ當廳係員ノ外神奈川縣藥劑師會ヨリ二百餘名ノ應援ヲ得テ川崎市ハ十一月二十一日ヨリ横濱市内ノ鶴見區ハ十一月二十二日ヨリ鶴見ヲ除ク横濱市内ハ全部一齊ニ十一月二十八日ヨリ各五日間衛生組合ヲ督勵シテ井水ノ豫防消毒ニ從事セリ

井水豫防消毒法

井戸水ノ豫防消毒トシテハ井戸水一石ニ對シ二十倍クロール石灰水ヲ一回一勾ノ割合投入シ能ク攪拌シ消毒スルコトトセリ但シ豫防消毒ハ一日一、二回行フ

横濱 井水豫防消毒施行成績

横 濱	衛 生 組 合 數	井 水 消 毒 施 行 數
川 崎	二四七	一四、九六四
計	二二二	三、〇九六
	二六九	一八、〇六〇

四、横濱港内及河川ノ消毒的清掃ノ件

十一月二十七日ヨリ十二月三日迄消毒船二艘ヲ以テ二班ヲ編成シ(各班ニハ監督一、水夫一人夫二乗組)横濱港内海面ニ浮遊セル塵芥ヲ採收シ之ニクロール石灰ノ撒布消毒ヲナシ採收セル塵芥ハ一定ノ場所ニ運搬シ干燥ノ後燒却シ以テ港内海面ノ清掃ニ努メ同時ニ市内河川ノ清掃ヲナセリ

五、救護材料ニ關スル件

救護用携帶鞆第一種第二種第三種ハ時々其ノ内容器ヲ調査シ不足品ハ之ヲ補填シ臨機救護班ノ出動ニ支障ナカラシメ且ツ衛生材料ノ補給ヲ圓滑ナラシムル事ニ努メタリ右從事職員ハ片島技師外十二名ナリ

牛肉營業所、食肉店舗化製場取締ニ關スル件

本件ノ取締ハ九月一日ヨリ十二月四日大禮觀艦式當日迄横濱市横須賀市及三浦郡鎌倉郡ノ内鎌倉町腰越津村川口村ニ検査班五班ヲ出動セシメ施行シタリ其ノ成績左ノ如シ

一、牛乳搾取所臨檢

牛乳搾取所臨檢件數

百五十四件

乳牛健康診斷頭數

二千八百七十五頭

疾病ニ罹リ注意ヲ與ヘタルモノ

二十四頭

牛舎設置不良及衛生上不行届ノ爲メ注意ヲ與ヘ所轄警察署へ申告シタルモノ

七件

二、牛乳請賣營業所臨檢

請賣營業所臨檢件數

二百十五件

設備不良及衛生上不行届ノモノニシテ注意ヲ與ヘ所轄警察署へ申告シタルモノ

四件

三、食肉(獸肉)店舗臨檢

店舗臨檢件數

三百十二件

四、食肉(魚肉)店舗臨檢

店舗臨檢件數

五百九十一件

設備不良及衛生上不行届ノ爲メ注意ヲ與ヘ所轄警察署へ申告シタルモノ

七十七件

五、化製場臨檢

臨檢件數

三十九件

設備不良及衛生上不行届ニシテ注意ヲ與ヘ所轄警察署へ申告シタルモノ

三件

六、各通牒事項

(イ) 九月十四日付衛生課長ヨリ牛乳商同業組合長、横濱搾乳畜産組合長、横濱牛乳販賣業組合長ニ對シ牛乳改善ニ關スル注意ヲ通牒ス

(ロ) 十月一日付ヲ以テ衛生課長ヨリ牛乳營業者ニ對シ乳牛及牛乳ニ關スル注意書ヲ發送ス

(ハ) 十一月五日付衛生課長ヨリ市内各警察署長横須賀、浦賀、三崎、葉山、鎌倉警察署長ニ對シ牛乳搾取營業所牛乳請賣營業所各食肉營業所化製場ニ對スル清潔検査日割ヲ通牒ス

(ニ) 十一月六日付衛生課長ヨリ横濱搾乳畜産組合長、横濱牛乳販賣業組合長、神奈川縣牛乳商同業組合鎌倉支部長、同三浦郡支部長ニ對シ御大禮ニ關シ特ニ清潔法及衛生上遺憾ナキ様各組合員ニ實行セシムル様通牒ス

(ホ) 十一月六日付衛生課長ヨリ横濱鮮魚商組合長、保土ヶ谷鮮魚商組合長、西戸部同組合長、神奈川同組合長ニ對シ店舗清潔法施行ニ關スル注意ヲ通牒ス右從事職員ハ三浦技師外五名ナリ

第四部

一、ペスト豫防ニ關スル件

(イ) 倉庫業者ニ對シ毎月二回殺鼠劑ヲ製シ警察部ヨリ直接之ヲ交付ス鼠族検査數別表第一號ノ如シ

(ロ) 横濱市内各區役所ニ於テ既ニ行ヒツ、アル屍體檢案ハ一層嚴重施行ス五月以降十一月末日迄ノ成績別表第二號ノ如シ

(ハ) 九月一日ヨリ十月中旬迄横濱全市十一萬七千八百五十戸ニ對シ除鼠的清潔ヲ施行セリ

二、「コレラ」豫防ニ關スル件

(イ) 豫防注射八月二十日ヨリ十二月二日迄防疫醫一名防疫監吏二名看護婦二名ヨリ成ル注射班ヲ組織シ横濱市在住水上關係者ニ對シ「コレラ」豫防注射ヲ施行シタリ

其成績別表第三號ノ如シ

(ロ) 船般健康視察

横濱港内及市内各河川碇泊船、達磨船、其他船舶乗組員ニ對シ九月二十九日ヨリ十二月二日迄六十五日間ニ亘リ防疫監吏一名警察官一名ヨリ成ル視察班ヲ組織シ健康視察ヲ行フ

其ノ成績別表第四號ノ如シ

(ハ) 船舶檢疫

大阪市ニ「コレラ」發生シタルヲ以テ之カ豫防ノ方策トシテ十月一日以降大阪港ヲ發シ又ハ寄港シテ來航シタル船舶ニ對シ(税關ニテ行ハサルモノ)船舶檢疫ヲ行フ

其ノ成績別表第五號ノ如シ

(ニ) 「コレラ」ワクチン製造數量 五〇、三六〇cc 同交付數量 二四、三八〇cc (參考表添付)

(ホ) 九月二十七日横濱入港英國船中ニ「コレラ」患者發生ニ付豫防ポスター一萬枚ヲ製シ全國各府縣及横濱市内各警察署並沿岸各警察署ニ配布シタリ

ポスター及配布數量別表第六號ノ如シ

三、腸チフス、バラチフス、赤痢豫防ニ關スル件

(イ) 保菌調査

前年患者及其ノ家族并横濱市内及密接ナル關係ヲ有スル地方ノ旅館、料理店、飲食物ノ營業者及直接從業者并學校工場

等ノ寄宿舍賄入ニ對シ腸チフス、バラチフス、赤痢等ノ保菌調査ヲ施行ス

其ノ成績別表第七號ノ如シ

(ロ) 檢病の戸口調査

前年流行セシ部落并木賃宿等其ノ他必要ナル場所ニ對シ檢病の戸口調査ヲ施行セリ

其ノ成績別表第八號ノ如シ

(ハ) 豫防注射

患者發生ノ地域并發生ノ虞アル地方ニ對シ豫防注射ヲ施行セリ

其ノ成績別表第九號ノ如シ

(ニ) 胆汁培養基ノ交付

傳染病患者ノ早期診定ノ一助トシテ八月ヨリ胆汁培養基ヲ製造郡部醫師會員ニ對シ無料交付セリ

其成績別表第十號ノ如シ

四、宮内傳染病流行病ノ豫防ニ關スル件

(イ) 宮内傳染病流行病ノ豫防ニ關シテハ四月十六日宮内、内務兩次官ノ依命通牒ニ基キ各警察署長郡市醫師會ニ通牒シ發生患者ノ通報ヲ受ケ宮内、内務兩省ニ報告スルト共ニ相當豫防ノ方策ヲ講シタリ

其ノ發生數別表第十一號ノ如シ

五、御沿道ノ警戒

兩陛下 十一月六日京都市幸啓并十一月二十七日還幸啓ニ際シ縣下沿道樞要ノ箇所ニ前日ヨリ防疫職員ヲ派シ衛生上遺

憾ナキヲ期シタリ

六、參考事項

(イ) 大禮特別觀艦式舉行セラル、ニ際シ國民保健協會主唱ノ下ニ十一月二十七日ヨリ一周間横濱全市淨化デー開催家屋ノ内

外ヲ清掃シ各人ノ攝生ニ注意シタキ趣ヲ以テポスター配布方依頼越サレタルニ付市内各警察署ヲ通シ各巡査駐在所交番  
所其他樞要ノケ所ニ掲出セシメ以テ其ノ目的達成ヲ援助シタリ

(ロ) 猶五月一日以降十一月三十日迄ノ法定傳染病發生數ハ第十二號ニ示ス

(第一號表)

鼠族檢査成績表 (自五月一日至十一月三十日)

買鼠シタル市町村	除鼠			細菌檢査ヲ行ヒタル數	同行ハサル數	同行ハサルモ、内乾固シ又ハ腐敗セシモノ	其ノ他
	買	收	其他				
横濱市	五三、三六六			五三、三六六	三三、五三七	一九、八二九	一〇、七九五
計							九、〇三四

備考 本表檢査鼠族中「ベスト」菌ヲ有スルモノナシ

(第二號表)

死體檢案成績 (自五月一日至十一月三十日)

市町村	女	男	病名														
			腦膜炎	肺炎	肋膜炎	脚氣	腦出血	心臟	敗血症	腺炎	腺炎腫	筋肉炎	丹毒	ベスト	其他傳染病	其他	
横濱市	一一二	一九二	二六	八八	一八九	四七	七										
計	二五〇	三六四	五八	一一一	三三一	七〇	一六										

(第三號表)

「コレラ」豫防注射成績 (自八月二十日至十二月二十日)

業態別注射人員備考

艦船行商人 一、一五〇 延日數百三日間一日平均二百十六人四分

水船々々夫 五八〇 注射班五班

沖人夫 六、〇六二 (一班ノ組成防疫醫一、防疫監吏二、警察官一、

沿岸人夫 七七九 看護婦二)

其ノ他水上關係者 一三、六四三

塵船々々夫 八三

計 二二、二九七

(第四號表)

船舶健康視察成績 (自九月二十九日至十二月二日)

健康視察ヲナシタル船數	同 上 人 員		發見シタル普通病者
	男	女	
一九、一五七	二一、〇八三	一〇、六九一	三一、七七四
計			六

備考

視察班ハ二班ヲ組織シ横濱水上署ニ配置シタルモノニシテ一班ノ組成ハ防疫監吏一巡査ヨリ成ル

(第五號表)

船舶檢疫成績 (自十月十三日至十月十三日)

船舶檢疫成績 開始月日 閉止月日 備考

船舶數 同乘組員數 四四 二、九〇一 十月三日 十月十三日 一日平均四隻人員二六二

備考

本表ハ大阪ヲ發シ又寄港シテ來港シタルモノニ對シテ行ヒタルモノナリ

(第六號表)

虎列刺ポスター配布表

六千五百五十枚

(第七號表ノ一)

赤痢前年度患者保菌調査成績

郡市別	検査人員		成績
	男	女	
横濱市	三三二	二六	五八 検出セス
鎌倉、三浦、高座、中、愛甲、足柄上、下、各郡	三三三	三三	六六 同
計	六六五	五九	一二四 同

(同) 腸チフス、バラチフス前年度患者保菌調査成績

郡市別	検査人員		成績
	男	女	
横濱市	一一六	七〇	一八六 検出セス
川崎市	一八	一六	三四 同
橋本、都筑、鎌倉、三浦、高座、中、愛甲、足柄上、下、津久井各郡	一八四	一六二	三四六 同
計	三一八	二四八	五六六 同

(第七號表ノ二)

特殊業態者保菌調査成績 (自九月中旬至十月中旬)

旅館料理店飲食店劇場学校賄人工場寄宿舎	計
一、四五六	一、八八四
五、五一七	六七
七一	六一
九、〇五六	

(第八號表)

検病的戸口調査成績 (自五月一日至十一月三十日)

施行シタル市町村名	検診シタル戸数	同上人口	発見シタル傳染病患者	同上普通病患者
横濱市	八、〇四五	三三、二九二	一	三二

(第九號表)

腸チフス豫防注射施行成績 (自四月一日至十一月三十日)

郡市名	横濱市	横須賀市	三浦郡	高座郡	中郡	計
注射人員	一、〇六五	四、六八五	五、四七五	一、八七八	二、八二〇	一五、九二三

(第十號表)

御大禮ニ關シ胆汁培養基配布場所並ニ數量

個數	検査法	同上検査成績	
		陽性	陰性
一、二〇九	五七	一〇	四七

膽汁培養基検査成績表

自發病 至血液採取	期間	検査	陽性	數	同上百分率
一週日以内ノモノ	三〇	三〇	九	三〇・〇	
二週日以内ノモノ	二〇	二〇	一	五・〇	
三週日以内ノモノ	三	三			
四週日以内ノモノ	二	二			
發病不明ノモノ	二	二			
計	五七	五七	一〇	一七・七	

(第十一號表)

宮内傳染病患者發生數 (自八月一日至十二月四日)

流行性感胃	流行性感冒	流行性耳下腺炎	流行性腦炎
三九七	八四五	一五四	三

(第十二號表)

傳染病患者發生表 (自五月一日至十一月三十日)

横濱市	横須賀市	川崎市	久良岐、橋、都筑、鎌倉、三浦、高座、中、足柄上下、愛甲、津久井各郡	腸チフス	パラチフス	赤痢(疫痢ヲ含ム)	チフテリア	猩紅熱	流行性膜性腦炎脊痘
二一三	六五	三七	二六八	一四	八三	二八七	一一九	七〇	三
二六八	二	一四	一三七	一四	二	一四	二	一八	一
一三三	一四	二	一五三	一四	二	二	二	一	一
一四	一四	二	三〇一	一四	二	二	二	一	一
一九八	二八七	二	一五三	二	二	二	二	一	一
一五三	四八	二	一五三	二	二	二	二	一	一
一〇三	七〇	二	一〇三	二	二	二	二	一	一
五	三	二	五	二	二	二	二	一	一
四	三	二	四	二	二	二	二	一	一

御大禮ニ關シ製造セシ「ワクチン」種類及數量

種別	製造量	摘要
威作チブスワクチン	三八、七四〇cc	交付 一四、四〇〇cc
威作コレラワクチン	五〇、三六〇cc	交付 二四、三〇八cc

右從事職員ハ福田課長外五十八名ナリ

第五部

一、御大禮ニ付御警衛ノ爲メ京都府及三重縣へ派遣セラルヘキ警察官ノ健康診断及腸チフス豫防注射施行ノ件

京都府へ派遣セラルヘキ警察官四拾九名ニ健康診断ヲ施行シ合格者四拾壹名不合格者八名アリ  
其ノ合格者四拾壹名ニ對シ腸チフス豫防注射ヲ二回實施ス三重縣へ派遣セラルヘキ警察官百四拾九名ニ對シ健康診断ヲ施行ス  
其ノ内三名不合格者アリ而シテ合格者百四十六名ニ對シ腸チフス豫防注射ヲ二回施行セリ  
右從事職員ハ石川技師外三名ナリ

二、御大禮地方饗饌御料理納入者並ニ之等ノ物品取扱従事者ニ對スル健康診断ノ件

右健康診断施行期日、十一月八日、十二日、十三日ノ三日間ニ施行ス

檢診人員

百十三名

内疾病人員

十五名

輕症トラホーム  
扁桃腺炎

三名、感  
九名、急性腸加答兒

一名

而シテ健康診断施行人員全部ニ對シテ糞便検査ヲ行ヒシモ病原菌ヲ認メス其成績左表ノ如シ

○地方饗饌調理關係者保菌調査成績 (腸チフス菌)

巴拉チフス菌

男 五十三名

女

六十名

計

百十三名

檢出セス

合計 百十三名

右從事職員ハ三名ナリ

三、御大禮雉子献納者ニ對スル健康診断施行ノ件

雉子、献納者及其ノ家族五名ニ對シ健康診断ヲ施行ス而シテ右病者及保菌者ヲ認メス  
右從事職員二名

四、地方靈饗並ニ市民奉祝日ニ於ケル救護班設置ノ件

期日 十一月十六日、十七日

場所 横濱公園式場内ニケ所

救護件數 七(腦貧血 二、胃腸病 一)  
(下肢打撲裂傷 四)

右從事職員ハ石川技師外十四名及看護婦十四名ナリ

五、御大禮ニ關シ癩豫防ニ關スル件

實施事項

イ、浮浪徘徊ノ癩患者ノ取締ヲ嚴重ニスルコト

ロ、一時救護設備ヲ完全ナラシムルコト

ハ、私宅療養患者ヲ濫リニ外出セシメサルコト

ニ、私宅療養患者ニアリテハ消毒方法ヲ勵行セシムルコト

實施事項ノ成績

視察シタル患者數

男患 四〇人

女患 二二人

計 六二人

死亡ヲ發見シタル數

男 三 女 二 計 五

住所移動ヲ發見シタル數

男 二 女 一 計 三

病院ニ收容シタル數

男 一 女 二 計 三

消毒其ノ他豫防法ニ付加論シタル者

其ノ内  
患者ノ居室ヲ區別セス雜居セルモノ 男 二 女 一 計 三

消毒藥ノ常備ナキモノ 男 七 女 九 計 一六

患者専用ノ理髮器具ナキモノ 男 二 計 二

外出上ニ注意ヲ缺クモノ 男 三 女 四 計 七

病毒汚染物ノ措置不當ノモノ 男 二 計 二

患者用寢具消毒不完全ナルモノ 男 一 計 一

患者居室清潔ナラサルモノ 男 二 女 一 計 三

右從事職員石川技師外二名

第六部

一、花柳病豫防ニ關スル件

横濱、横須賀、川崎、高津、戸塚、鎌倉、逗子、葉山、田浦、浦賀、藤澤、茅ヶ崎、平塚、大磯、小田原、箱根一圓ニ於ケル  
藝妓、酌婦、雇婦等ヲ以テ組織セル自衛的保健組合、其組合ヲ設立セサルモ斯種業體者ト認ムヘキモノニ對シ保健組合ノ各囑  
託醫又ハ警察醫ヲシテ十一月中心三回觀艦式舉行後五日以内ニ更ニ一回宛ノ局部檢診ヲ施行セシメ罹病者ニ對シテハ可及的治

療ヲ督勵シ全治證明アルニアラサレハ客席ニ侍ラサルコトヲ實行申合セテ爲サシメタル外九月ヨリ觀艦式舉行ニ至ル四ヶ月間ニ亘リ花柳病傳播ノ最モ虞多シト認ムル業態者ニ對シ豫防講演會及活動寫真會ヲ開催シテ豫防ニ努ムルコト十五回ニ及ヘリ娼妓ニ對シテハ營業者ヲ督勵シテ (一)「サツク」ノ使用ヲ客ニ勸説セシムルコト (二)「サツク」ノ使用ヲ背セサル時ハ豫防劑ヲ備ヘ置キ客ニ提供シテ使用勸説ニ努ムルコト (三) 花柳病ニ罹レルコトヲ自覺スルト否トニ拘ラス直後五千倍ノ過滿倦怠加里水ヲ以テ洗滌スルコト (四) 組合ニ花柳病豫防ボスターヲ作製セシメ各室ニ貼付シテ豫防知識ヲ涵養スルコトニ努メタル共ニ豫防劑ノ調製ヲ指示シテ調劑配布使用セル數量十五萬瓦ニ及ヘリ

右從事職員ハ富永技師外四名ナリ

第七部

一、狂犬病豫防ニ關スル件

(イ) 狂犬病豫防思想及普及宣傳

七月一日ヨリ七日ニ至ル一週間全國一齊ノ狂犬病豫防週間ヲ實施スルノ外十月一日ヨリ九日ニ至ル間横濱市、三浦及東海道鐵道沿線ノ各警察署管内ニ於テ狂犬病豫防デーヲ實施シ宣傳浪花節及活動寫真ヲ應用シ豫防講話ヲ行ヒ大イニ豫防思想ノ普及宣傳ニ努メタリ

右從事職員ハ鈴木技師外九名ナリ

(ロ) 野犬ノ掃蕩

野犬ノ掃蕩ニハ常ニ努力ヲ各マス捕獲人夫ヲ督勵シテ掃蕩ノ實ヲ舉ケタルノ外前記狂犬病豫防週間、豫防デーニハ野犬不要犬ノ買收ヲ行ヒ別記ノ成績ヲ收メ得タリ尙觀艦式ニ對スル施設トシテ十月二十一日ヨリ同月末迄野犬捕獲班ヲ組織シテ横濱、川崎、兩市内ノ野犬ヲ掃蕩スルト共ニ式當日ハ市内十二ヶ所ノ衛生救護班ニ係員及捕獲人ヲ配置シ掃蕩ノ完璧ヲ期シタリ

右從事職員ハ鈴木技師ノ外八名ナリ

(ハ) 狂犬病豫防注射

豫防注射ハ本病豫防上最モ緊要事ナルヲ以テ本年七月以降全縣下ノ畜犬ニ對シ之ヲ實施シタリ

右從事職員ハ鈴木技師外十名ナリ

(ニ) 畜犬ノ戶別的調査

畜犬ノ整理ハ本病豫防施設ノ基礎ヲナスモノナレハ前記豫防週間及豫防デーニ際シ縣下各警察署、青年團、在郷軍人、衛生組合等ト協力シ畜犬ノ戶別的調査ヲ實行シタリ

右從事職員ハ七名ナリ

二、炭疽豫防ニ關スル件

(イ) 炭疽豫防注射

既往ノ發生ニ鑑ミ七月以降縣下ノ牛馬ニ對シ別記成績ノ通り注射ヲ實施シタリ

右從事職員ハ鈴木技師外七名ナリ

(ロ) 家畜市場及畜舎清潔法勵行

畜舎ノ清潔ヲ保持スルハ家畜ノ健康ヲ促進スルノミナラス公衆衛生上最モ重大ナル關係アルヲ以テ特ニ警察署市町村役場畜産組合等ニ通牒ヲ發シ一般畜主ニ對シ督勵方ヲ依頼スルト共ニ消毒藥品ノ無償交付ヲ行フ等銳意之カ實行ニ努メタリ

右從事職員六名ナリ

施設成績

一、狂犬病豫防思想普及宣傳ノ件

豫防講話會開催度數

百四拾八回(内普通講話會 七十二回、活動寫真應用 六十七回)  
浪花節應用 九回

計 前項ノ如シ

二、野犬掃蕩ニ關スル件



野犬不要犬掃蕩數 八千三百九十頭(內 捕獲頭數 三千九百六十三頭 買收頭數 四千四百二十七頭)

計 前項ノ如シ

三、狂犬病豫防注射ノ件

予防注射實施頭數 一萬千〇六十二頭

四、炭疽豫防注射頭數 一千七百四十五頭(內 豚牛 一千五百四十九頭、馬 百九十五頭)

計

屠畜検査係ハ鈴木技師外十二名ナリ

右ハ四月十六日以降銳意屠畜検査ニ從事セリ

第八部

一、衛生組合ニ關スル件

(一) 衛生組合ノ整備並振興ノ方策

昭和三年三月縣令第二十七號ヲ以テ更ニ衛生組合規則發布セラレタルニ付從來ノ法令ニ依リ既ニ設置セル衛生組合ニ對シテハ速ニ新令ニ適合セシメ未タ設置ナキ市町村ニ對シテハ此ノ機ニ於テ之ヲ設置セシメ以テ縣下ニ普ク衛生組合ノ整備ヲ期セシムルニ努メタリ

殊ニ御大禮ニ近接シテハ一層其ノ整備ヲ圖リ振興ヲ促進スル爲メ八月三十日衛發第六六八號ヲ以テ市町村長ニ、同月十日附衛第七二〇號ヲ以テ所轄警察署長ニ通牒シ夫々指導督勵シテ之カ整備振興ニ努タリ其ノ結果トシテ別表ノ通り新規則ニ適合セル組合ノ整備ヲ見横濱市ヲ始メトシテ他市町村ニ於ケル組合ハ何レモ相當ノ發達ヲ告ケ衛生施設ニ力ヲ致シテ其成績見ルヘキモノアリ

(二) 衛生組合指導講話會ノ開催

衛生組合ヲシテ衛生上ニ於ケル機能ヲ充分發揮セシメ施設上遺憾ナカラシムカ爲メ別表ノ通り指導講話會ヲ開催シ各市町村

ニ於ケル組合事務取扱者及現衛生組合員等ニ關係規則ノ概要並ニ解説組合事業ノ參考、衛生施設其ノ他衛生上必要ナル事項ヲ講話指導セリ講習會開會度數 二五、一六 聴講者 二五、一六

(三) 御大禮衛生施設ニ資スル印刷物ヲ配付シテ組合ヲ督勵

衛生組合ニ對シ印刷物ヲ以テ御大禮ニ際シテ施設スヘキ參考事項ヲ指示シ各組合ノ衛生施設ヲ促シテ之ヲ督勵シ一面行政方面ニ於ケル一般衛生施設ノ助成及普及徹底ヲ期セシメタリ

之ニ依リ撒水車ヲ増設シ又撒水回数ヲ増加シ、或ハ各組合競ヒテ宣傳引札等ヲ頒布シテ夫々活動シタリ

(四) 組合員ノ衛生事項實行強調ニ關スル件

組合員ニ衛生事項ヲ實踐躬行セシムヘク衛生組合ヲシテ實行申合ヲ爲サシメ其ノ申合セ事項其ノ他ヲ組合又ハ聯合會等ヨリ印刷物引札等ヲ以テ各戸ニ配付セシメ其ノ強調ヲ圖リ一方衛生デー又ハ衛生講話會等ヲ開催セシメテ直ニ指導督勵シ其ノ徹底ヲ期セシメタリ

(五) 其他横濱市内及横須賀市内ノ衛生組合ヲ促シテ組合單獨ノ清潔方法、消毒方法等ヲ實施セシメ傳染病豫防上遺漏ナキ様努メシメタリ

右從事職員ハ四名ナリ

(六) 七月以降ニ於ケル衛生組合整備狀況(規約改正認可セルモノ)

市郡別	整備セル組合數	市郡別	整備セル組合數
横濱	一八六	鎌倉	一
横須賀	二五	高座	一七
久良岐	二	中浦	二〇
橘樹	三	三浦	三
都筑	三	足柄上	三

二、衛生思想普及ニ關スル件

(一) 衛生講話會、展覽會及活動寫真會ノ開催  
 衛生思想ノ普及ニ關シテハ衛生講話會同展覽會等ヲ開催セシ外特ニ衛生活動寫真班四班ヲ編成シ各班ニ機械係員及説明係員一名又ハ二名衛生講話ノ爲メ適當ナル講師ヲ加ヘテ横濱市ヲ始トシ樞要地域四十六ヶ所ニ亙リ開催セシニ其成績觀覽人員五萬六千九百九十五名ヲ算シ衛生思想普及上相當效果ヲ歛メタリ  
 右從事職員ハ十三名ナリ

三、街路撒水ニ關スル件

横濱市土木局道路課、同電氣局及市内各衛生組合ニ付撒水施行道路及之レカ實施狀況、汲取個所ノ位置並ニ衛生的見地ヨリ用水ノ適否ヲ嚴密ニ調査シ更ニ標準トナリ得ル用水汲取所河海水十ヶ所井戸三ヶ所ヲ撰定シ滿干兩時ニ踏査ヲ行ヒ檢査材料ヲ採集細菌檢査ヲ施行セリ尙御大禮期間ニ於ケル撒水ニ付再三撒水主體當事者ト懇談シ之レカ遺漏ナキヲ期シタリ其成績左ノ如シ  
 横濱市役所道路課施行撒水狀況

- 一、撒水用具 撒水自動車全部同一型現在使用七台一台用水積込高十三石五斗(重量三噸)
- 二、一車撒水能率 三間幅四百五十間一、三五〇坪一坪ニ付約一升撒水ノ割速力七―八哩
- 三、撒水有效時間 コンクリート、アスハルト道路十五分乃至二十分普通道路一時間乃至二時間
- 四、撒水汲取ノ方法 全部モーターポンプヲ使用河水汲取
- 五、一車一回使用ニ要スル時間 用水積込時間五分撒水時間四分平均往復ニ要スル時間六分計十五分
- 六、一日勤務時間、九時間
- 七、同一道路撒水回数 一日平均六回

- 八、撒水延面積 一車一日三十六回使用、行程一六、二〇〇間面積四八、六〇〇坪七臺ニテ面積三四〇、二〇〇坪
- 九、撒水實面積 一日同一道路六回撒水ニ付一車行程二、七〇〇間面積八、一〇〇坪七臺ニテ面積五六、七〇〇坪
- 一〇、一ヶ月平均使用日數 晴天二十日ノ見込

- 一一、使用人員 定員十四名一臺運轉手、助手各一名ノ割豫備員ナシ
- 一二、撒水汲取場所 十ヶ所同豫定地三ヶ所

市役所電氣局施行撒水狀況

- 一、撒水用具 撒水電車現在使用四臺、二臺増加ノ豫定一臺容水量二十七石(重量六噸)
- 二、撒水電車速力 約八哩
- 三、同一線路撒水回数 一日三回乃至四回
- 四、撒水線路延長 生麥、櫻道間、磯子山下町間、横濱驛、西平沼間、馬車道、南六ツ目間、延長往復二二、〇〇〇間
- 五、一臺撒水能率 一六五〇間幅六尺、面積一六五〇坪、
- 六、撒水汲取ノ方法 モーターポンプ使用河水汲取
- 七、用水積込所要時間 二十分乃至四十分
- 八、撒水有效時間 十五分乃至四十分
- 九、使用人員 八名一臺運轉手車掌各一名ノ割雨天ノ際ハ普通電車運轉ニ從事ス
- 一〇、撒水汲取場所 二ヶ所豫定地一ヶ所

衛生組合等主管撒水狀況

所 轄 署	調查衛生組合數	撒水施行ノ衛生組合其他團體數	撒水施行(本年豫定組合數)	用 水	用 具	用 具 數
加賀町署	一四	七	二	井水、河水、海水	手 車	一三

伊勢佐木署	壽署	戸部署	鶴見署	保土ヶ谷署	山手署	神奈川署	磯子署	計
三五	二八	三八	三二	一八	二一	六四	一一	二六一
一〇	一	二	二	一	一	一	一	二二
井水、河水	井水、河水	井水、河水	井水、河水	井水、河水	井水、河水	井水、河水	井水、河水	井水、河水
同	同	同	同	同	同	同	同	同
八	三	三	一	一	一	一	一	二九

撒水能率

撒水用具	容量	平均一車撒水能率		一坪平均撒水量	平均有效時間		平均一車撒水所要時間	一日使用時間
		行程	面積		鋪裝路	普通道路		
市道路課撒水自働車	十三石五斗	四五〇	一、三五〇坪	一升	一時間三十分	十八分	十五分	九時間
市電氣局撒水電車	二十七石	一、六五〇	一、六五〇	一升六合	一時間三十分	二十七分	三十分	同
撒水手車	一石	六〇	五、五	一升八合	一時間十五分	十八分	十分	同
同	一石五斗	一〇〇	一〇〇	一升五合	一時間十三分	十八分	同	同
同	二石	一一〇	一一一	一升七合	一時間	二十分	同	同

撒水汲取所及用水ノ概況

横濱市道路課及電氣局所管汲取所十二ヶ所ノ内山下橋際ナルハ位置海濱ニ近ク撒水用水トシテ良好ナルモ其他ハ市内河川ノ通有タル河水海水並ニ流入汚水ノ混雜セルモノ多ク撒水用トシテ適當ト認ムル能ハス衛生組合等使用ノ井戸二十七個ハ其汲取装置概シテ被蓋セラレタル手押ポンプナルヲ以テ撒水トシテ佳良ナルモ同河川汲取所五ヶ所ハ前記市汲取所ヨリ狀況一層不良ニシテ之レガ汲揚水ヲ直ニ撒水セシムルハ遺憾ノ點尠ナシトセス

而シテ市内河川水ヲ以テ撒水普通ト認ムル場合ニ區別スル時ハ左表ノ如シ

所管	種別	良好	普通	不良	計
衛生組合其他	河水	一	九	二	一二
撒水組合等	井水	八	一九	一	二七
	海水	一	一	一	三
計	河水	一〇	二九	五	四四

細菌検査

一、撰定ノ場所

- 神奈川區子安町末廣橋際
- 神奈川區高島町金港橋際
- 神奈川區岡野町新田間橋際
- 中區本町辨天橋際
- 中區萬代町鶴ノ橋際
- 中區山下町山下橋際
- 中區南吉田町五ツ目駿河橋
- 中區根岸町坂下橋際
- 中區元濱町萬國橋際
- 中區末吉町南吉田橋際
- 中區永樂町二丁目二十番地

中區伊勢佐木町興信銀行横 井 戸  
 中區太田町三丁目街路 井 戸

二、細菌検査成績

イ、満潮時ノ水質検査

七月二十七日(天候曇後晴)材料採酌即日検査施行  
 採酌前ハ雨天多シ

番號	採酌場所	種別	一cc中ノ細菌數
一	子安末廣橋	河水	四六、〇〇〇
二	高島町	同	一六三、〇〇〇
三	岡野町	同	二〇〇、〇〇〇以上
四	辨天橋	同	七二、〇〇〇
五	鶴ノ橋	同	二〇〇、〇〇〇以上
六	駿河橋	同	二〇〇、〇〇〇以上
七	山下橋	同	六一、〇〇〇
八	根岸坂下橋	同	一三四、〇〇〇
九	萬國橋	海水	三六、〇〇〇
十	南吉田橋	河水	二〇〇、〇〇〇以上
十一	永樂町	井戸水	二〇、〇〇〇
十二	伊勢佐木町	同	六、〇〇〇
十三	太田町三丁目	同	六〇〇

備考

A ハ水面以下約三尺乃至六尺ノ部位ヨリ取上ポンプヲ以テ汲取リタルモノニシテ實際ニ撒水ニ使用スル水ナリ  
 B ハ參考トシテ同一場所ニ於ケル水ノ表面ヨリ汲取リタルモノナリ

ロ、干潮時ノ水質検査

九月十四日(天候晴)材料採酌即日検査施行

採酌前ハ殆晴天續キナリ

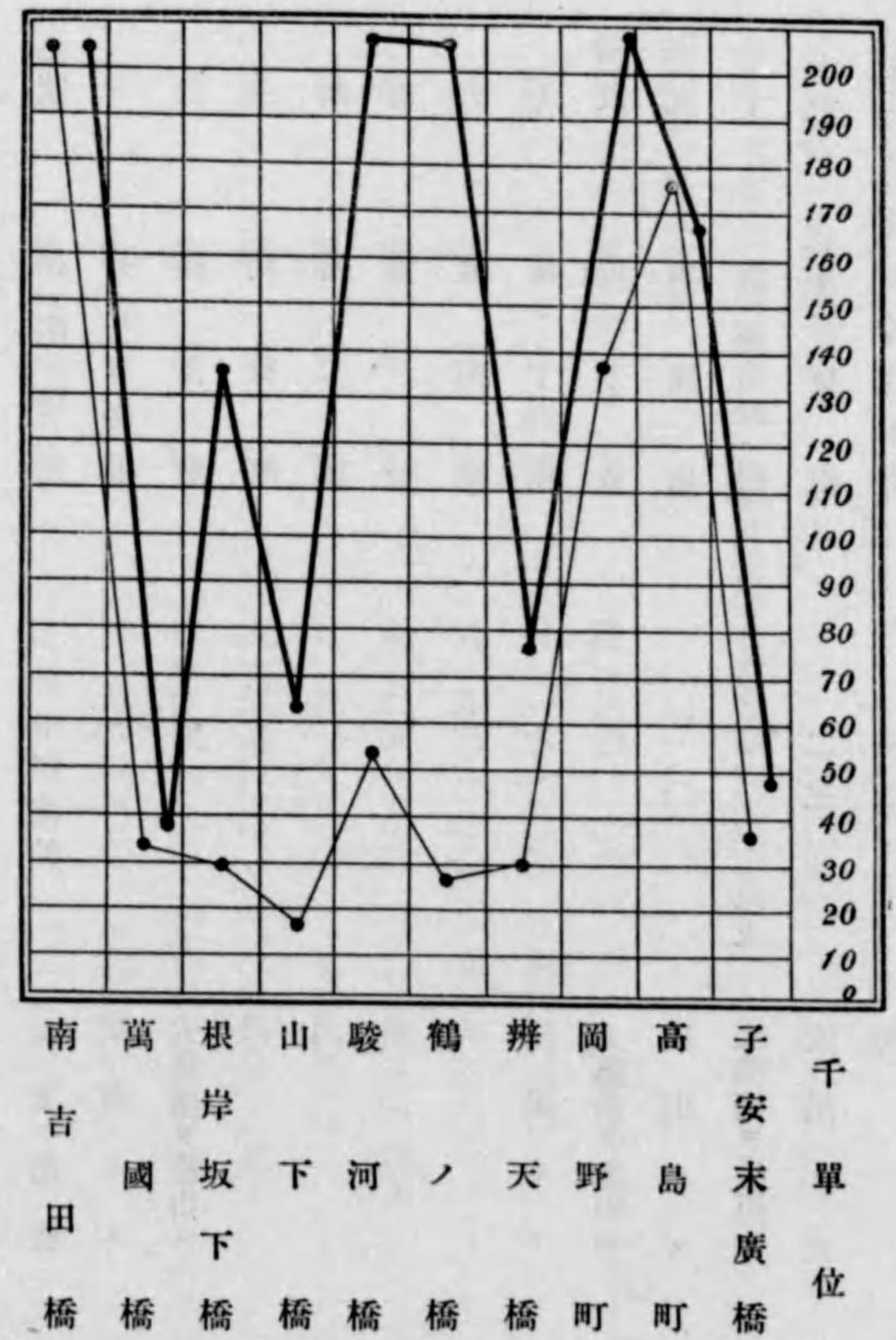
番號	採酌場所	一cc中細菌數	大腸菌族	其 他
一	子安末廣橋	三六、〇〇〇	檢出セス	白色及黄色、葡萄狀菌靈菌
二	高島町	一七五、〇〇〇	大腸菌ヲ檢出ス	同綠膿菌
三	岡野町	一三九、〇〇〇	同	同
四	辨天橋	三〇、〇〇〇	同	同
五	鶴ノ橋	二九、〇〇〇	同	同
六	駿河橋	五三、〇〇〇	同	同
七	山下橋	一七、〇〇〇	檢出セス	同
八	坂下橋	三〇、〇〇〇	大腸菌ヲ檢出ス	白色及黄色葡萄狀球菌
九	萬國橋	三一、〇〇〇	檢出セズ	同
十	南吉田橋	二〇〇、〇〇〇以上	大腸菌ヲ檢出ス	同
十一	永樂町	二、三〇〇	檢出セズ	球菌及枯草菌
十二	伊勢佐木町	一、二〇〇	同	球菌及桿菌
十三	太田町三丁目	三〇〇	同	同

備考

水面以下約一尺五寸乃至二尺五寸ノ部位ヨリ取上ポンプヲ以テ汲取リタルモノニシテ實際ノ撒水ニ使用スル水ナリ

細菌數一覽表

但シ井戸水ニ於テハ前回ト殆ト同一ノ水深ナリ



一、撒水汲取所設備、周圍ノ狀況及細菌學の検査ニ據ル成績

撒水汲取所	設備	周圍ノ狀況	1cc中細菌數	判定
子安末廣橋	稍良	可	四六、〇〇〇	修繕ヲ要ス

高島町	不良	不潔	一六三、〇〇〇	不良
岡野町	不良	不潔	二〇〇、〇〇〇	不良
辨天橋	良	良	七二、〇〇〇	良
鶴ノ橋	良	不潔	二〇〇、〇〇〇	改良ヲ要ス
駿河橋	不良	不潔	二〇〇、〇〇〇	不良
山下橋	良	良	六一、〇〇〇	良
根岸坂下橋	良	可	一三四、〇〇〇	改良ヲ要ス
萬國橋	不良	不潔	三六、〇〇〇	改良ヲ要ス
南吉田橋	不良	不潔	二〇〇、〇〇〇	不良
永樂町(井戸)	不良	不潔	二〇、〇〇〇	修繕ヲ要ス
伊勢佐木町(井戸)	良	良	六、〇〇〇	良
太田町三丁目(井戸)	良	良	六〇〇	良

以上調査セルモノヲ總括スルニ横濱市道路課ニ於テ二等大路幅員六間以上ノ街路ニハ撒水スル方針ヲ採リ居ルモ現在撒水自動車數ニテハ充分ナラス

市電氣局主管軌道撒水ニハ撒水電車四輛ヲ使用シ居ルモ汲取所ノ配置及ヒ數ノ關係ヨリ充分ナラス

衛生組合ノ撒水ニ就テハ市内復興ノ途上ニアリ區劃整理道路改修未了ノタメ設備ノ完全セルモノ少ナキ狀態ナリ撒水ニ使用スル水質ニ付テハ海面ニ面セルカ或ハ隣接セル汲取所ニ於ケルモノハ其質良ナルモ市内河水ノ水質ハ護岸工事河川浚渫下水工事等ノ復興事業ノ爲メ其質良ナラス

上記ノ如キ狀態ナルヨリ市道路課ニ對シテハ撒水自動車ノ増加電氣局ニ對シテハ汲取箇所ノ増設ヲ要求シ市内衛生組合ニ對シテハ街路撒水設備ヲ爲スヘキ注意方所轄警察署ニ通牒ヲ發シタリ尙水質撒水ニ不適ナルモノニ對シテハ復興完成ヲ待ツテ再調

査研究ノ上適當方法ヲ講スルコト、セリ  
 觀艦式當日横濱市内街路撒水ニ關シテハ同市土木局道路課ニ於テハ前日夕刻充分撒水ヲ爲シ更ニ當日ハ未明ヨリ之レヲ開始拜  
 觀者出盛期迄ニ全路ノ撒水ヲ終了シ鋪裝路ハ洗滌スヘク多量ノ撒水ヲ爲シタリ尙常時ハ撒水セサル特種歩道例ヘハ舊横濱驛、  
 櫻木驛間省線側歩道ノ如キ特ニ撒水ヲ爲スヘキ様注意セリ  
 電氣局ニ對シテハ前夜間軌道ノ撒水ヲ要求セルモ夜間撒水ハ事情困難ナル理由アルヲ以テ不得止出來得ル限り撒水ヲ勵行スヘ  
 ク注意セリ、市内各衛生組合ニ對シテモ撒水勵行方通牒ヲ發シタリ  
 右從事職員中村技師外四名

第九部

一、トラホーム豫防ニ關スル件

イ、旅館、木賃宿、下宿屋、理髮店(女髮結ヲ含ム)、料理店、飲食店、待合、合宿舎、藝妓、娼妓(營業者、從業者ヲ含ム)  
 酌婦、給仕人、案内人、劇場、寄席、活動寫眞館、觀物場、看護婦、產婆、鍼灸按摩、營業用自動車、馬車、人力車、  
 電車ノ乗務員ニ對シテ、七、八月ノ三ヶ月間ニ亘リ健康診斷ヲ施行シタルニ其成績左記ノ通ニシテ患者ニ對シテハ治療票  
 ヲ交付シ市町村ト警察署ト協力シテ毎月二回宛ノ治療票點檢ヲナシタリ

檢診人員		ト		ホ		ム		患者	
男	女	計	重	輕	疑	似	合	計	
二八、〇六三	三一、四五四	五九、五一七	一一三	一〇三	九一〇	一、〇一一	三〇〇	二六三	一、三三三
									一、三七八

ロ、客ノ來集ヲ目的トスル旅館、下宿屋、木賃宿、貸座敷、料理店、飲食店及神社佛閣ニ於ケル共用手洗裝置、洗面器ノ清  
 潔保持及共用手拭ヲ常備スルノ不止得モノニ對シテハ洗濯シタルモノト時々交換セシムルコトヲ嚴守セシメタリ  
 右從事職員ハ見留技師外十三名ナリ

第十部

一、結核豫防ニ關スル件

イ、結核豫防物件ノ消毒

旅館、木賃宿、下宿屋、貸座敷、待合茶屋、合宿所等ノ寢具類(浴衣ヲ含ム)貸蒲團、貸衣裳、劇場寄席、活動寫眞館、遊  
 戲場、觀物場等ニ於ケル貸座蒲團ニ對シテハ十一月中ニ一回觀艦式舉行後十日以内ニ更ニ一回宛ノ縣立消毒所ニ於テ蒸汽  
 消毒又ハ「フォルマリン消毒」ヲ營業用電車、馬車、自動車、人力車、乘客待合所、劇場、寄席活動寫眞館、遊戲場、觀物  
 場、理髮店、女髮結、湯屋ノ脱衣場ニ對シテハ十一月中ニ一回宛觀艦式舉行後十日以内ニ更ニ一回宛ノ場内消毒ヲ施行セ  
 シメタル外旅館、料理店、飲食店、貸座敷、待合茶屋其他客ノ來集ヲ目的トセル場所ニ於ケル便所戸障子ノ引手其他必要  
 ナル部分ニ對シテハ常ニ消毒の清潔ヲ保持セシメ尙ホ客ノ來集ヲ目的トスル營業所ニ對シテハ唾壺ノ配置ヲ適當ナラシメ  
 唾壺内ノ清潔唾痰ノ消毒ヲ嚴守セシメ更ニ理髮店、女髮結ニ於ケル豫防衣客用白布、襟卷等ハ一客毎ニ洗濯シタルモノヲ  
 使用セシムルコトニ努メタリ而シテ劇場寄席、活動寫眞館、觀物場、湯屋ノ消毒ヲ爲シタルモノハ八千三百四棟、電車自動  
 車人力車遊覽船壹千四百十六臺、寢具類一萬三千八百三十七貫目、座蒲團二千四百貫七百五十匁、衣服類壹千貳百七十六  
 貫八百匁ニ達シタリ

右從事職員ハ小俣防疫醫外二十一名

ロ、結核豫防健康診斷

飲食物製造業、料理店、飲食店、牛乳店、旅館、木賃宿、下宿屋、合宿所、理髮店、女髮結、貸蒲團貸衣裳ノ各營業者及  
 從業者、藝妓、娼妓、酌婦、給仕人、觀物場等ノ案内人、產婆、看護婦、鍼灸按摩、營業用自動車、馬車、人力車ノ各接  
 客業態者六萬二千六百九十九人ニ對シ健康診斷ヲ旅行シタルニ患者七名ヲ發見シ何レモ直接業務ニ從事セシメス他ニ轉地  
 療養セシムルカ或ハ市立療養所ヘ入所ヲ命シ豫防上遺憾ナキヲ期シタリ

右從事職員ハ小俣防疫醫外十三名ナリ

一、精神病者ノ取締ニ關スル件

イ、私宅監置精神病者ノ取締

管下各警察署ヲ督勵シ十月一日ヨリ十二月四日迄七回ニ涉リ私宅監置精神病者ノ一齊取締ヲ施行セリ  
其結果十月一日現在監置(私宅ノミ)男九三、女二五名、合計百十八名ニ對シ調査ヲ遂クルニ其成績左ノ如シ

	男	女	計
イ、監置室ノ構造堅牢ナラスト認メ改修ヲ命シタルモノ	三	一	四
ロ、鎖鑰不完全ナリシモノ	一	二	三
ハ、採光不充分ナリシモノ	一	二	二
ニ、室内不潔ナリシモノ	三〇	六	三六
ホ、支障ナカリシモノ	五九	一四	七三
計	九三	二五	一一八

ロ、病院監置精神病者ノ取締

縣下ニ於ケル精神病者收容所ハ横濱市立救護所及私立横濱腦病院ニシテ十月一日現在監置者男一六七、女一一八名、合計二八五名アリ救護所ハ定員(九六)ヲ收容セシメ特ニ看護人ヲ増員セシメサリシモ勤務時間ヲ延長シ逃走其他事故ナキ様警戒ヲ嚴ニセシメ横濱腦病院ハ定員以外ノ收容ヲ認ムルト同時ニ看護人ヲ増員セシメタリ又未治患者ノ退院ハ必ス當廳ノ認諾ヲ受ケタル後ニアラサレハ義務者ニ引渡ヲナサ、ル様注意シタルタメ期間中廢止セシメタルモノ一名ニシテ京都府ヘ歸郷スルモノナルニヨリ豫メ同縣警察部ト打合セノ上引渡ヲ認可セリ

ハ、未監置精神病者ノ監護  
監護義務者ニ懇諭シ保護セシメタルタメ檢束假監置ヲ行ヒタルモノナシ

以上ノ通りニシテ取締期間中何等事故ナク良好ナル成績ヲ收メタルモノト認ム  
右從事職員ハ林技師外六名

大禮衛生費豫算

縣費	八、九九七圓
總額	八、九九七圓
内譯	
傳染病豫防費	八四五〇圓
獸疫豫防費	五四七圓

(5) 兵庫縣

御大禮ニ關シ京都府ト近府縣ノ關係ニアルノミナラス交通頻繁ナル海外貿易ノ中心タル神戸港ヲ控ヘタル本縣衛生事務ノ重要ナルニ鑑ミ内務省ヨリノ通牒警察部長會議及衛生課長會議ニ於ケル指示事項ニ基キ特ニ縣内各地方ノ實情ヲ參酌シタル上通牒通達ヲ發シ關係者ノ協議ヲ遂ケ次項以下各項ニ記載スルカ如ク昭和三年四月ヨリ十一月三十日ニ至ル間衛生各般ニ涉リテ之カ施設計畫ヲ實施セリ就中御大禮ニ關係深キ急性傳染病ノ豫防撲滅及精神病者ノ視察取締ニ付テハ最善ノ努力ヲ拂ヒ其他飲食物及同用器具ノ取締ハ元ヨリ結核トラホーム等慢性傳染病ノ豫防ニ努メ浮浪癩患者ノ掃蕩炭疽狂犬病等家畜傳染病ノ豫防ニ至ル迄萬全ナル取締ヲ勵行シ計劃實施上遺憾ナキヲ得タリ

御大禮衛生事務ニ從事シタル職員一覽表

職	員	種							別
		コレラ豫防	ペスト豫防	痘瘡豫防	腸チフス 其他豫防	獸疫豫防	野犬捕獲	精神病者 視察取締	
衛生課長	一	七	七	七	七	三	三	一	
係主任技師	七	七	七	七	三	三	一	四	

備考	良田岡		師技方地		疫防	
	畜	獸	健	保	疫	防
	警部	衛生技師 地方技師 大沼 建彬 新井彌之作	防疫警 春野 武治	同 黒川 義信	地方技師 小牧利三郎	衛生技師 中山 喜二
	計	警察官吏	防疫事務員	防疫監視員	防疫監視員	防疫監視員
	三二六	二二五	五〇	二二	二二	四一八
	二一九	一一八	五〇	二二	二二	四一八
	二二二	一一〇	五〇	二二	二二	四一八
	一八六七	一七六六	五〇	二二	二二	四一八
	二九五	二五〇	五	七	三	二六一
	二、三一七	二、二七二	五	七	三	二六一
	二、一六五	二、一六三				一一
	三、一〇六	三、〇九〇				一一

一、従事職員数ハ實人員ヲ示ス  
二、従事警察官吏ハ本廳衛生課並縣下各警察署勤務ノモノヲ掲上ス

一、痘瘡豫防ニ關スル件

痘瘡豫防ニ關シテハ昭和三年二月縣下各市町村長ニ對シ定期種痘ノ施行並ニ會社、工場等集團の場所ノ臨時種痘ヲ督勵シ居リタル處四月十五日縣下三原郡榎列村ニ初發患者發生以來益々蔓延ノ虞アリシヲ以テ四月二十六日臨時施行ノ縣令ヲ公布爾來發生地域内居住者ニ對シ其ノ都度直ニ防疫職員ヲ派遣シテ市町村長ヲ督勵シ臨時種痘ヲ施行シタル爲メ病毒一市六郡七ヶ町村ニ傳播シタルモ五月二十九日ヲ終發トシテ患者十七名ニテ全ク終熄セリ而シテ本縣ニテ購入市町村ニ交付シタル痘苗十九萬三千二百五十人分臨時種痘施行人員十萬四千二百十三人ニ及ヘリ

(一) 御大禮關係痘瘡豫防事項

月日	豫防事項
三月二十四日	檢發第四六號ヲ以テ縣下各市町村長ニ對シ定期種痘徹底的の施行其他痘瘡豫防警戒ニ關スル件通牒ス
同 日	衛通第四號ヲ以テ各警察署長ニ對シ定期種痘ノ施行ニ關シ市町村長ト協力シテ本病豫防ニ努ムヘク通達ス
四月二十一日	檢發第六二號ヲ以テ縣下三原郡榎列村ニ痘瘡初發患者發生及之カ防疫及措置ノ概況内務大臣ヘ報告ス
四月二十三日	衛通第六號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シ全國ニ於ケル本病蔓延ノ狀況及縣下ニ初發患者發生續發ノ虞アルニ鑑ミ極力豫防警戒方通達ス
同 日	檢發第六五號ヲ以テ縣下各都市醫師會會長宛前記豫防ニ關スル件通牒ス
同 日	兵庫縣令第二十九號ヲ以テ種痘法第十五條ニ依リ臨時種痘施行ノ縣令公布ス
同 日	兵庫縣告示第二六七號ヲ以テ飾摩郡飾摩町高濱村手柄村居住者ニ對シ臨時種痘施行ノ旨指定ス
同 日	檢發第七三號ヲ以テ飾摩町高濱村手柄村長ニ對シ種痘施行ノ件通牒ス
同 日	衛通第七號ヲ以テ飾摩龍野警察署長ニ對シ前記ノ件通達ス
同 日	檢發第七二號ヲ以テ縣下各市町村長ニ對シ痘瘡豫防警戒ノ件通牒ス
同 日	檢發第七四號ヲ以テ痘瘡豫防ノ縣令公布ノ旨内務大臣ヘ報告ス
同 日	號外ヲ以テ廳内各課長宛廳内職員及家族ノ種痘實施ノ旨通報ス
同 日	檢發第七五號ヲ以テ各警察署長ニ對シ警察官及其家族ノ種痘實施ノ件通牒ス
同 日	檢發第七六號ヲ以テ縣下公私立中等學校長宛學校職員生徒關係者等ノ臨時種痘施行方通牒ス





(二)痘瘡患者發生月別表

郡市別	初發月日		發生患者數		合計
	最終月日	四五月	合計		
神戶市	五月二十四日		一〇	一〇	
武庫郡	五月四日		一	一	
川邊郡	四月二十八日		一	二	
飾磨郡	四月二十二日		一	一	
揖保郡	四月二十五日		一	一	
城崎郡	五月三日		一	一	
三原郡	四月十五日		ナシ	一	
合計		四	一三	一七	

(三)痘瘡患者發生豫防措置ノ概況(昭和三年四月二十一日、兵庫縣知事報告)

一、患者ノ住所、職業、年齢

兵庫縣三原郡榎列村

農業及騎手

某

當二十八年

二、發病前後ノ狀態及感染系統

患者ハ平素身體頑健ニテ農業ノ傍ラ常ニ乘馬ノ調教及騎手トシテ各地競馬場調教場等ニ出場セリ而シテ四月一日ヨリ三日間(三日ハ雨天ニテ四日開催)開催シタル高知縣高知市三橋競馬會ニ出場ノ爲メ三月二十八日ヨリ四月四日迄同市楠瀬旅館ニ投宿

同日優勝馬所有者ナル同縣香美郡佐古牛馬商横田國次方ニ泊ノ上六日朝同地出發德島縣撫養ヲ經テ午後八時頃歸宅シタルモノニシテ翌七、八兩日ハ身體倦怠ヲ覺ヘシモ強ヒテ自村ニ宮調教場ニ至リ十數頭ノ調教ヲ爲シ八日午後六時頃ヨリ發熱臥床九日頃ヨリ下肢ニ發疹ヲ生シタルモ熱ノフキ出ト稱シテ醫療ヲ受ケサリシカ益々病勢増進シテ發熱四十度七分ニ昇リタルニ付十日ヨリ附近醫師ノ診療ヲ受ケ居ル内十五日午後ニ至リ主治醫ヨリ痘瘡ノ届出アリ傳染病舎ニ收容シタル次第ニテ高知縣滯在中目下同縣下ニ流行セシ病毒ニ感染シタルモノト認メラル因ニ患者ハ左右上膊ニ二顆宛ノ瘡痕ヲ存シ第一期第二期種痘共經過シ居レリ

三、豫防措置

(1)臨時種痘ノ實施

御大典ニ對スル本病豫防ノ爲客月縣下各市町村長及警察署長ニ對シ定期種痘ノ施行ニ當リ要種痘者ノ調査通報整理ヲ正確ニシ種痘洩ナキ様又前年來ノ洩者ニ對シ種痘ヲ行フ様通達シテ督勵中終ニ患者ノ發生ヲ見而モ發病ヨリ診定隔離迄八日間ヲ經過シ居リテ其間病毒散蔓セル虞有之ニ付即時防務職員ヲ派遣シテ發生地住民四千五百名及隣接四ヶ町村民ニ對シ種痘ヲ實施スルト共ニ一般町村學校會社工場等ニ對シテモ臨時種痘ヲ督勵施行シツ、アリ

(2)檢診並ニ檢病的戶口調査ノ施行

患者發生地及關係住民ニ對シテハ所轄警察署長ヲシテ檢病的戶口調査ノ續行及四月六日午後六時二十分阿淡連絡會社汽船阿淡丸ニテ德島縣撫養町ヨリ患者ト同船本縣三原郡福良町ニ上陸シタル船客五十三名ニ對スル豫防並ニ患家ニ出入接觸シタル者二十五名ハ特ニ醫師ヲシテ檢診ヲ行ハシムル等早期患者ノ發見ヲ期シ居レリ

(3)流行地發船舶ニ對スル豫防警戒大阪高知線及大阪四國線中高知縣發神戶入港ノ汽船ニ對シテハ特ニ其都度防疫職員ヲシテ船客ノ檢病調査ヲ行ハシメテ警戒ヲ嚴重ニスル外本縣管内沿岸各港(日本海沿岸ヲ除ク)ニ上陸スル船客ニ對シテモ各警察署長ヲシテ健康狀態ヲ視察セシメ病毒ノ侵入防遏ニ努メツ、アリ

(四)臨時種痘指定町村及施行成績

指定期間	指定町村	現住人員	種痘人員
四月二十七日ヨリ 五月十日ニ至ル	飾磨郡飾磨町	一一、六〇二	一〇、一五一
同	同 高濱村	三、三一〇	三、二四〇
同	同 手柄村	二、八四九	三、二六〇
同	同 揖保郡龍野町	六、四五〇	七、三七〇
四月三十日ヨリ 五月十日ニ至ル	川邊郡伊丹町	一一、五八五	一一、〇〇〇
五月十一日ヨリ 五月二十二日ニ至ル	城崎郡日高町	七、二九九	六、六九三
同	武庫郡魚崎町	六、九九九	六、九一一
五月十六日ヨリ 五月二十二日ニ至ル	神戸市上澤通一丁目ヨリ四丁目	二、三七八	二、三三一
五月十六日ヨリ 五月二十二日ニ至ル	同 松本通一丁目ヨリ四丁目	二、〇六一	二、〇二二
五月十六日ヨリ 五月二十二日ニ至ル	同 下澤通二丁目ヨリ四丁目	二、三六〇	二、二六五
同	同 中道通二丁目ヨリ四丁目	一、九八六	一、九三一
同	同 大井通一丁目ヨリ三丁目	三六二	三六二
同	同 東山町一丁目ヨリ三丁目	一、七四八	一、六三〇
同	同 會下山町一丁目ヨリ二丁目	五四五	五三六
五月十九日ヨリ 五月二十一日ニ至ル	同 遠矢町一丁目ヨリ二丁目	六九九	六九二
同	同 和田宮通五丁目ヨリ八丁目	七四三	七四三
同	同 笠松通七丁目ヨリ十丁目	七九二	七八八
同	同 小松通四丁目ヨリ六丁目	四五〇	四四八
同	同 濱山通四丁目ヨリ六丁目	六九六	六九〇

五月二十日ヨリ 五月二十六日ニ至ル	同 小松通一丁目ヨリ三丁目	一、六四八	八〇七
同	同 濱山通二丁目ヨリ三丁目	四六〇	二八六
同	同 笠松通一丁目ヨリ六丁目	三、一〇九	一、八二九
同	同 和田宮通一丁目ヨリ四丁目	二、〇九六	一、八九一
同	同 中庄通一丁目ヨリ三丁目	六一二	三八四
同	同 上庄通一丁目ヨリ五丁目	一、四三三	一、一一〇
同	同 三石通一丁目ヨリ四丁目	一、四〇八	一、三三五
同	同 和田崎町	八六一	五五一
同	同 吉田町一丁目	一、九〇〇	一、〇一六
同	同 南逆瀬川町二丁目	二七六	一九八
同	同 今出在家町一丁目ヨリ三丁目	一、四二五	一、四一三
五月二十三日ヨリ 五月二十九日ニ至ル	同 中山手通五丁目ヨリ八丁目	六、二一一	三、四一一
同	同 山本通五丁目	一、〇二五	二三五
同	同 下山手通五丁目ヨリ六丁目	二、〇五三	二、一四八
同	同 再度筋	一、八四九	八五五
同	同 楠谷町	一、四八三	三二二
同	同 花隈町	二、三四八	一四四
五月二十四日ヨリ 五月二十六日ニ至ル	同 御崎本町一丁目ヨリ三丁目	四、三六八	三、九九八
同	同 御崎町一丁目ヨリ二丁目	二、六六六	二、一八〇
五月三十日ヨリ 五月三十一日ニ至ル	同 仲町五丁目六丁目	一、二一一	一、二〇二

同	多聞通七丁目八丁目	七八三	三二〇
同	六番町七丁目ヨリ八丁目	三七三	七七六
同	五番町七丁目ヨリ八丁目	八二八	一〇五
同	四番町八丁目	二一九	二一七
同	西須磨川端町	二〇五	五六
同	同 下濱田	二八四	七三
同	同 新田	三二二	三七
同	同 東町	五一八	九七
同	川邊郡小田村	三一、四一〇	一八七
六月一日ヨリ		一四〇、二八九	一三、二八七
六月十日ニ至ル			一〇四、二一三
合計			

二、「ペスト」豫防ニ關スル件

「ペスト」豫防ニ就テハ常ニ神戸、尼崎、西ノ宮ノ各市洲本、由良兩町ノ鼠族ノ買収及之レカ細菌學的検査ヲ實施シ居リテ其數毎年四十五萬頭内外ニ達シ居リ益々之レヲ督勵スルト共ニ昭和三年ハ特ニ外國船舶ノ繫留スル神戸港沿岸ヲ中心ニ警戒區域ヲ定メ區域内ニ於テ鼠族ノ食料タリ得ル物品ヲ收藏スル倉庫二千六十六棟二十五萬二千餘坪及住家一萬六千餘戶並神戸港内第二類船二千二百二十一隻ニ對スル徹底的除鼠及防鼠設備ヲ改善スヘク警察官防疫監吏市吏員人夫ヲ以テ編成セル捕鼠班殺鼠劑配布及探鼠班設備ノ改善班三十一班ヲ七月一日ヨリ十一月二十五日迄配置實行シタリ而シテ其ノ成績ハ除鼠總數十六萬七千四百一十一頭内細菌學的検査ヲ行ヒシモノ十三萬八千五百四頭(有菌鼠ヲ認メス)改善シタル倉庫七百七棟六萬三千五百四十九坪改善費一萬三千八百七十七圓六十五錢ナリ

(一)御大禮關係「ペスト」防疫施設實施事項

月 日	實 施 事 項
四月十日	午前十時頃警察部長室ニ内務省衛生局加藤防疫官井上兵庫縣警察部長岡田兵庫縣衛生課長藤村神戸稅關港務部檢疫課長伊庭野神戸市衛生課長小林三宮向井相生橋烟水上各警察署長中山本縣衛生技師芦田防疫主任ハ御大禮防疫施設ニ關シ「ペスト」豫防「コレラ」豫防疫瘡豫防協議事項ヲ(別紙)協議決定シタリ
四月十一日	衛發第一七七號ヲ以テ三宮相生橋水上各警察署長神戸市衛生課長港務部檢疫課長加藤内務省衛生局防疫官宛前日決定セシ協議事項(別紙)ヲ送付ス
六月四日	檢發第一三九號ヲ以テ「ペスト」豫防施設遂行ニ要スル防疫職員増員ノ件内務大臣へ稟請ス
六月二十一日	衛通第二一號ヲ以テ三宮相生橋兵庫水上各警察署長ニ對シ「ペスト」豫防施設實行ニ關スル件通達ス
同 日	衛發第二〇九號ヲ以テ神戸市長ニ對シ同上施行ノ件通牒ス
六月二十六日	伊庭野神戸市衛生課長三宮相生橋兵庫水上各警察署長及衛生主任ヲ警察部長室ニ招集シテ井上本縣警察部長岡田本縣衛生課長影本警務課長中山衛生技師芦田防疫主任ハ別紙除鼠作業ノ期間方法班ノ編成ニ關スル件ヲ協議決定ス
七月一日	曩ニ計劃協議シタル事項ニ基キ殺鼠劑配布及除鼠班捕鼠班防鼠設備ノ督勵班ヲ夫々配置シ鼠族ノ掃蕩ニ着手ス

(二) 防疫ニ關スル協議

昭和三年四月十一日

衛發第一七七號

三宮、相生橋、水上、各警察署長  
神戸市衛生課長  
神戸税關港務部檢疫課長  
内務省衛生局加藤防疫官

宛

協議事項送付ノ件

四月十日御大典ニ對スル防疫措置トシテ協議サレタル事項別紙ノ通りニ有之候條此段及送付候也

協議事項

「ベスト」豫防

一、警戒區域ニ關スル件

1. 第一警戒區域ハ直接外航船舶ニ關係アル地帯ヲ區域トス
2. 第二警戒區域ハ第一警戒區域ニ直接關係アル地帯トス
3. 第三警戒區域ハ神戸市鐵道以南ニシテ前二項ニ該當セサル地帯トス
4. 第四警戒區域ハ神戸市鐵道以北ノ地帯トス

二、除鼠ニ關スル件

1. 第一警戒區域ニ對シテハ殺鼠劑ノ配付、捕鼠器ノ配置、瓦斯除鼠法ヲ勵行セシメ特ニ高濱倉庫、東神倉庫等ノ大倉庫ニハ專任捕鼠人夫數名ヲ常置スル様セシムルコト
2. 第二警戒區域ハ市役所ヨリ配置セル人夫ヲシテ殺鼠劑ノ配付及捕鼠ヲ勵行セシム
3. 第三、第四警戒區域ニ對シテハ宣傳其ノ他ノ方法ニヨリ捕鼠ヲ督勵スルコト

4. 外航船舶ニ對シテハ港務部ニテ從來施行シツ、アル方法ヲ勵行シテ除鼠ヲ行フコト

5. 内航船舶及舥内ノ除鼠方法ハ水上署ニテ督勵スルコト

尙舥組合ニ對シテ水上署ヨリ除鼠督勵方交渉スルコト

三、防鼠設備ニ關スル件

1. 各關係警察署ニ於テ現在倉庫ノ防鼠設備ノ現状及收藏物品ノ種類等變更ナキヤ否ヤニ就テ調査視察スルコト
2. 外航船舶ノ鼠返シノ設備及取締ハ港務部ニテ勵行スルコト
3. 内航船舶ノ鼠返ニ就テハ水上署ニテ取締ルコト
4. 岸壁ノ防鼠設備ヲ修理スルコト

四、檢案並ニ細菌檢査ニ關スル件

1. 檢案並ニ細菌檢査ハ從來ヨリモ一層勵行スルコト

五、蚤ノ驅除及試験ニ關スル件

1. 倉庫ノ清潔方法ヲ勵行スルト共ニ必要ノ場所ニハ「蚤取粉」又ハ「クレゾール」水ヲ撒布スルコト  
尙必要ニ應ジ「モルモット」ヲ放置シ「ケオビス」ノ檢査ヲ行フコト

「コレラ」豫防

一、宣傳ニ關スル件

1. 縣市及聯合衛生組合ニテ其ノ時期方法等ヲ適當ニ協議スルコト
2. 但シ豫防注射ヲ開始スル直前及同時ニ數回行フコト

二、豫防注射ニ關スル件

開始ノ時期業態地域

1. 上海ノ發生狀況ニヨリ大阪、福岡、山口、廣島、岡山、香川、徳島、高知等ノ各府縣ト成ヘク同時ニ開始スル様加藤防

疫官ニ一任ス

- 海上従業者及其家族並ニ之レト密接ナル關係ヲ有スル地域ニ住居スルモノニ對シ第一着ニ實施スルコト
- 直接神戸市其他ニ於ケル水上従業者二萬五千人及其ノ家族約十萬人合計十二萬五千人ニ對シテ實施スルコト(但漁業者ヲ除ク)
- 前項注射ハ内務省ノ援助ヲ受ケ注射班貳拾班ヲ編成シ二ヶ月間ニ實施スルコト
- 外航ノ郵船商船等ノ乗組員全部ニ對シテ直ニ實施スル様當該會社ニ示達スルコト
- 魚類ニ關スル件

- 縣下ニ於ケル漁業者一萬一千五百六十二戸人口約五萬五千人ニ對シ豫防注射班十八班ヲ編成シ二ヶ月間ニ實施スルコト
- 各縣ト連絡ニ關スル件

- 注射ノ回数分量注射證ノ交付等加藤防疫官ニ一任スルコト
- 早期發見

1. 醫師會共ノ他ノ團體ト連絡ヲ密ニスルト共ニ檢病的戸口調査ヲ勵行シ患者ノ早期發見ニ努ムルコト

痘瘡豫防

- 定期種痘ノ施行及未種痘者ニ對スル督勵ニ關スル件
- 現在神戸市ハ勸誘員ヲ増員シテ施行シツ、アルモ特ニ支那人朝鮮人等ニ勵行スルコト
- 警察署戸口調査簿ニ依リ調査シテ巡回督勵スルコト
- 臨時種痘所増設ニ關スル件
- 市役所ニ於テ増設ヲ實施シ警察署ニ於テ目的達成ニ努ムルコト
- 港務部ニ於テ主トシテ取締ル外陸上地警察署ニテモ取締ルコト

三輸入物件取締ニ關スル件

(三)御大禮關係除鼠成績

昭和三年自七月二十五日 兵庫縣

警察署別	區分			除鼠			鼠			數			内		
	A 地帯	B 地帯	C 地帯	第一類船	以上計	其ノ他	合計	細菌検査ヲ行ヒタルモノ	有スルモノ	細菌検査ヲ行ハサルモノ	合計	細菌検査ヲ行ヒタルモノ	有スルモノ	細菌検査ヲ行ハサルモノ	
三宮署	四、八四六	二二、〇九七	七、七六八		三四、七一	二、〇九八	三六、八〇九			二九、八九三				六、九一六	
相生橋署	六、七二三	一六、六六六	一八、五五七		四一、九四六	一六、八三六	五八、七八二			四六、三七六				一二、四〇六	
兵庫署	一〇、九三四	二二、五一二			三三、四四六	二、九一二	三六、三五八			二九、一一一				七、二三七	
水上署					五、七六九	二七八	六、〇四七			五二二				五、五二五	
葦合署					五、七六九		四、七一八			三、五七四				一、一四四	
湊川署					一一五、八七二		一九、九一八			一五、五七二				四、三四六	
林田署					五、七六九		三、四四〇			二、六九八				七四二	
須磨署					一一五、八七二		一、〇六九			七四八				三二一	
計	二二、五〇三	六一、二七五	二六、三二五	五、七六九	一一五、八七二	五、二六九	一二八、五〇四			一二八、五〇四				三八、六三七	

(四)御大禮關係防鼠設備改善督勵成績

昭和三年自七月二十四日 兵庫縣

署別	地帯別	改善豫定倉庫		改善シタル倉庫		改善シタル箇所		改善ヲ要スル倉庫		改善ニ要シタル費額	
		棟數	坪數	棟數	坪數	側壁	床面	金網	其ノ他	棟數	坪數
三宮署	A	二四	一〇、二三〇	五	二三〇	四	二	一	五	一九	一、〇〇〇
同	B	一七三	一三、五〇七	五一	二、九二〇	二九	一八		一一二	一〇、五八七	六、二九二
同	C	一	一一						一	一一	六、二八五
相生橋署	A	九三	八、四三二	九三	八、四三二	四三	一一	二一	一一	一、六四八	一、六四八
同	B	六七	三、二四七	六七	三、二四七	九	一一	一三六	一四	二八五	二八五
同	C	七	三〇〇	七	三〇〇	三	七	三四	五	九〇五	九〇五
同	上屋	七	六、八五〇	七	六、八五〇	二〇	三	六	六	三三三	三三三
兵庫署	A	一七三	八、二八三	一七三	八、二八三	一九五	六一	二〇	二〇	一、〇五〇	一、〇五〇
計		一七三	八、二八三	一七三	八、二八三	一九五	六一	二〇	二〇	一、〇五〇	一、〇五〇



備考	計	殺鼠劑 配布及 探鼠班		捕鼠班
		倉庫班	住家班	
一、捕鼠班所要人夫ハ現在配置中ノ者ヲ使用シ三宮署ノ不足三名ハ湊川署ヨリ一名森合署ヨリ二名ヲ充當ス	一二	五	三	三
	人警市監 察吏員 夫官吏	人警市松 察吏元 夫官監	人警天原中 察野村 夫官各 各監吏	警四谷角 察崎内 官各 監吏
	一一 一六二四八	一〇 五四四	六三	三
	六	二	一	二
	人警市監 察吏員 夫官吏	人警市前 察吏田 夫官監	人警奥 察田 夫官監	警青中 察坂野 官監 吏
	六六一五	四二一	二	二
	九	五	一	二
	人警市監 察吏員 夫官吏	人警市小 察吏野 夫官監	人警藤 察田 夫官監	警泰本 察庄 官監 吏
	一二九三六	一〇五三	二	二
	四	四		
	人警市監 察吏員 夫官吏	人警角上 察本 夫官他 監中		
	四四四	四四一		
	三一	四	一	七
	人警市監 察吏員 夫官吏	人警市監 察吏員 夫官吏	人警監 察官 夫官	警監 察官 吏
	三三一 三八	二二 四	一〇 五五	七 七

三、「コレラ」豫防ニ關スル件

「コレラ」豫防ニ關シテハ海外特ニ上海ノ流行狀況ニ依リ神戸港及縣下各港ニ於テ水上従業者並ニ之ト密接ナル關係者等約十七萬七千五百人ニ對シ直ニ豫防注射ヲ實施スヘク豫テ計劃シ居リタル處内務省ヨリ八月十日付ヲ以テ計劃遂行ノ訓令ニ接シ同月十五日ヨリ神戸港ノ外主ナル十七港灣ニ醫師、看護婦、防疫監吏、警察官、市町村吏員ヲ以テ編成セル注射班ヲ適宜ニ配置實行シツ、アリタル處九月二十七日神戸港ニ入港セル英國貨物船グレンナツプ號一等運轉士デー、エフ、ゼー當三十八年「コレラ」患者ト決定次テ十月二日大阪市内一名ノ本病患者發生シタルヲ以テ從前ヨリ警戒ヲ一層嚴密ニシ神戸港ノ海水使用ヲ停止シタル外特別防疫班ヲ増加配置スルト共ニ神戸市全部ニ對スル豫防注射ヲ實施シタルカ十一月二十日防疫班解除迄ニ神戸港水上従業者及其關係者三萬六千五百七十人、其ノ他ノ港灣二萬九千六百八十三人、日本郵船、大阪商船兩會社ニ示達シテ會社船船乗組員ニ施行シタル者一萬三千百七人、合計七萬九千三百六十人ニ實施セリ

(一)御大禮關係「コレラ」防疫實施事項

- 月 日 實 施 事 項
- 六月九日 檢發第一四六號ヲ以テ「コレラ」豫防ノ爲メ防疫職員増員方内務大臣へ稟請ス
  - 八月十日 衛通第三一號(別紙ノ通り)ヲ以テ神戸市各警察署長ニ對シ注射實施ニ關スル件通達ス(八月七日付衛生局長通牒ニ基キ)
  - 同 日 衛通第三二號ヲ以テ沿岸關係尼崎外十二署長ニ對シ前記同上ノ件通達ス
  - 同 日 檢發第一八六號ヲ以テ神戸市長ニ對シ水上生活者ニ對スル豫防注射開始ニ付關係署長ト協力實施方ノ件通牒ス
  - 同 日 衛通第三三號ヲ以テ神戸市内(水上署ヲ除ク)各警察署長ニ對シ市長ト協力實施シ其成績報告方ノ件通牒ス
  - 八月十三日 檢發第一八七號ヲ以テ關係各府縣警察部長宛「コレラ」豫防注射施行ノ件通報ス
  - 八月十四日 縣下各港ニ於ケル水上生活者ニ對スル豫防注射開始ノ件内務大臣へ電報々告ス
  - 八月二十二日 衛通第三五號ヲ以テ那波警察署長ニ對シ「コレラ」防疫方法實行方通牒ス
  - 八月二十四日 檢發第一九九號ヲ以テ「コレラ」豫防注射實施ニ關スル件内務大臣へ報告ス
  - 八月三十一日 衛通第三六號ヲ以テ神戸水上那波兩警察署長ニ對シ「コレラ」流行地ト指定セラレタル場合各地ヨリ來航ノ船舶ニ對スル取扱方ノ件通達ス
  - 九月十一日 衛通第四〇號ヲ以テ檢病調査採便検査其他防疫法續行方通達ス
  - 九月二十二日 檢發第二四六號ヲ以テ「コレラ」豫防措置概況内務大臣へ報告ス
  - 九月二十七日 神戸港ニ入港ノ外國船舶乗組員「コレラ」患者發生ノ件内務大臣へ報告ス
  - 同 日 前記警戒方神奈川京都大阪其他關係府縣へ電報又ハ電話ス



九月二十八日 檢發第二四七號ヲ以テ關係各官公衛宛「コレラ」患者發生ノ件通報ス  
 同 日 兵庫縣令第四十七號ヲ以テ神戸港内ノ海水使用ヲ停止ス  
 同 日 檢發第二四九號ヲ以テ縣令公布ノ件内務大臣へ報告ス  
 同 日 檢發第二四八號ヲ以テ關係各官公衛長宛海水使用停止ノ件通報ス  
 九月二十九日 檢發第二五一號ヲ以テ「コレラ」患者發生ノ件關係各官公衛宛通報ス  
 同 日 檢發第二五五號ヲ以テ縣下各都市醫師會長宛「コレラ」豫防警戒ノ件通牒ス  
 同 日 衛通第四三號ヲ以テ關係警察署長ニ對シ海水使用停止取締ニ關スル件通達ス  
 同 日 衛通第四四號ヲ以テ神戸市内各警察署長ニ對シ更ニ一般市民「コレラ」豫防注射實施ノ件通達ス  
 同 日 檢發第二五四號ヲ以テ神戸市長宛前記ノ件通牒ス  
 十月二日 檢發第二六〇號ヲ以テ沿岸各警察署長宛移出生魚類ニ對スル證明書交付ノ件通牒ス  
 十月三日 衛通第四六號ヲ以テ大阪市ニ發生セル「コレラ」豫防警戒ノ件沿岸各警察署長ニ對シ通達ス  
 十月六日 檢發第二六九號ヲ以テ「コレラ」防疫狀況ヲ内務大臣へ報告ス  
 十月十五日 兵庫縣令第五〇號ヲ以テ海水使用停止ノ縣令ヲ廢止ス  
 同日 檢發第二八七號ヲ以テ前記ノ件内務大臣へ報告ス  
 十月六日 衛通第四七號ヲ以テ神戸水上警察署長ニ對シ「コレラ」豫防事績報告方通達ス  
 十月九日 檢發第二七六號ヲ以テ京都府知事宛「コレラ」豫防ノ府令廢止ノ件照會ス

(二)「コレラ」豫防注射成績表 昭和三年(自七月二十五日 至十一月二十五日)

種別	回数	神戸市		同上家族		其ノ他ノ市部		合計
		男	女	男	女	男	女	
汽船乗組員	二一回	七、六〇〇	一、〇〇〇	七、六〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、六〇〇
帆船	二一回	三、六〇〇	一、〇〇〇	三、六〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	六、六〇〇
解船夫	二一回	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
沖仲仕	二一回	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
濱仲仕	二一回	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
艦船商人	二一回	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
座船々夫	二一回	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
漁夫	二一回	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
其他	二一回	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
計		二二、〇〇〇	二二、〇〇〇	二二、〇〇〇	二二、〇〇〇	二二、〇〇〇	二二、〇〇〇	八八、〇〇〇

(三)海水使用停止中ノ取締事績表 (昭和三年自九月二十八日 至十月十六日)

兵庫縣

署名	種別	取扱總件數	漁撈	游泳	海水汲取	飲食物、同器具衣類洗滌	科内	
							料	說
兵庫	庫上	七三	六七	一	三	三	三九	六
水相	橋上	一七一	八三		一六	三〇	一〇三	六
三生	宮	二二				六	四	二
御合	影合	五八	七		三二	一九	一一	一
計		二四四	九六	二二	八四	四一	五九	二二

計	五六八	二五三	二四	一九二	九九	六〇	二一六	三六	二五六
---	-----	-----	----	-----	----	----	-----	----	-----

備考  
使用停止 昭和三年九月二十八日兵庫縣令第四十七號  
解除 同年十月十五日同 令第五十號(十月十七日ヨリ廢止)

(四)神戸港内水上生活者ニ對スル「コレラ」豫防診療成績表 昭和三年自十月二日至十一月二十日

種別	性別		診療人員	同 上 中 投 藥 並ニ 處 置 人員						計		
	男	女		感	胃	脚	氣	胃腸病	外		傷	其ノ他
汽船乗組員	女	男	二七				三					一五
帆船	女	男	一八一				二七					四二
舢舨	女	男	六七				一七					四〇
沖仲仕	女	男	三									二
濱仲仕	女	男	三									一
艦船商人	女	男	一									一
座船	女	男										
漁夫	女	男	三									三
其他	女	男	一八六	四七	二	二	一一	一	一	一		一八〇
計	女	男	一八六	四七	二	二	一一	一	一	一		一八〇

(五)神戸港内水上生活者ニ對スル「コレラ」豫防檢病調査成績表 昭和三年(自十月二日至十一月二十日)

種別	性別		檢病人員	同上中探便人員
	男	女		
汽船乗組員	女	男	一、六五九	四〇
帆船	女	男	一、五七九	二二六
舢舨	女	男	四三九	二二
沖仲仕	女	男	二四三〇	一七四
濱仲仕	女	男	二九一	一四
艦船商人	女	男	二六四	一一
座船	女	男	六三	
漁夫	女	男	八二	
其他	女	男	二四二	
計	女	男	六、六三〇	四二四

(六)「コレラ」流行地ト指定セラレタル場合同地ヨリ來航ノ船舶ニ對スル取扱方ノ件(衛通第三六號神戸水上警察署長宛)  
上海ニ於ケル「コレラ」發生ノ現況ニ鑑ミ近ク同地ヲ本病流行地ト指定セララルヤモ計難キニ付豫メ當該船舶ノ遵守事項ヲ示達シ置クト共ニ指定後ハ左記ニ依リ取扱ハルヘシ  
右通達ス

昭和三年八月三十一日

警察部長  
兵庫縣書記官 井上政信

「コレラ」流行地ヨリ來航スル船舶ニ現ニ又航海中「コレラ」患死者ナキ場合ノ取扱方

第一 便所其ノ他ノ場所竝流行地ニ於テ積入レタル飲料水、使用水、野菜、果物、魚介等ノ生物其ノ他病毒傳播ノ媒介トナルヘキ物件ニシテ特ニ消毒ノ必要アリト認ムルモノハ最初ノ港ニ於テ之ヲ消毒スルコト他ノ港ニ於テ消毒ヲ施行シタルモノニ對シテハ特ニ必要アル場合ノ外再ヒ消毒ヲ爲ササルコト

第二 前項ノ消毒ハ當該官吏之ヲ施行スルカ又ハ當該官吏指揮ノ下ニ船舶ヲシテ之ヲ行ハシメ消毒ノ爲成ルヘク他港ニ回航セシメサルコト

第三 船客、乗組員ニ對スル取扱ハ左ノ各號ニ依ルコト

一、船客、乗組員ニ對シテハ消毒ヲ爲ササルコト

二、最初ノ港ニ於テ船客乗組員ニ對シ其ノ必要ナシト認ムル者ヲ除クノ外糞便検査ヲ施行スルコト、他ノ港ニ於テハ特ニ必要アル場合ノ外再ヒ糞便検査ヲ爲ササルコト

三、前號ニ依ル糞便検査ヲ行ヒ得サル事情アルモノニ對シテハ成ルヘク探便ノ上他港ニ進航ヲ許シ糞便検査ノ結果ハ直ニ其ノ到着港ノ官憲ニ速報スルコト

四、前二號ニ依リ糞便検査又ハ探便ヲ爲シ得サルトキハ順次ニ他ノ港ニ於テ前掲ニ準シ之ヲ取扱フコト

五、注意スヘキ症狀アル者及之レト密接ノ關係アル者竝糞便検査ヲ爲スヘキ者ニ對シテハ其ノ検査完了迄上陸ヲ許可セサルコト

第四 糞便検査済ノ者探便済ノ者及糞便検査ノ必要ナシト認メタル者ニシテ他港ニ進航スル者ニ付テハ其ノ證明書ヲ與フルコト

本項ノ證明アル者ニ對シテハ注意スヘキ症狀其ノ他特ニ必要アリト認ムル事情ナキ限り更ニ糞便検査ヲ行ハサルコト

第五 糞便検査ノ結果異狀ナキ者、糞便検査ノ必要ナシト認メタル者及流行地ヲ發シタル後二週間ヲ經過シタル者ノ糞便ヲ除

クノ外船客乗組員ノ糞便ハ之ヲ消毒シタル後ニ非サレハ港内ニ放流セシメサルコト

第六 第一乃至第三ニ記載スル處置ヲ了セサル船舶ニ對シテハ當該官吏指定ノ錨地ニ於テ其ノ監督ノ下ニ荷役ヲ許可スルコト

第七 上海、長崎、神戸間ノ日支連絡船ニ關スル取扱ハ別ニ定ムルトコロニ依ル

備考

本文中當該官吏トアルハ検査ヲ施行スル港ニ於テハ検査官吏、検査ヲ施行セサル港ニ於テハ警察官吏ナリトス

第三項第五號ノ取扱ニ關シテハ更ニ相當指示スル迄ハ検査完了ヲ待タズ探便ノ上上陸ヲ許可シ其ノ糞便検査ノ結果「コレラ」菌ヲ發見シタルトキハ本人ノ行先地ノ官憲ニ速報スルコト

「コレラ」流行地ヨリ來航スル船舶ノ遵守スヘキ事項

第一 便所其ノ他ノ場所並流行地ニ於テ積入レタル飲料水、使用水、野菜、果物、魚介等ノ生物其ノ他病毒傳播ノ媒介トナルヘキ物件ニ對シテハ最初ノ港ニ於テ消毒ヲ施行シ又ハ船舶ヲシテ消毒ヲ施行セシムルコトアルヘキニ依リ特ニ便所ノ清潔保持ニ努メ尙流行地ニ於テハ前記ノ物件ヲ成ルヘク積入レス又ハ之ヲ持込マシメサルコト

第二 乗組員ニ對シテハ已ムヲ得サル用務アル場合ノ外流行地ニ上陸ヲ禁シ上陸中ハ生物其ノ他病毒傳播ノ虞アルモノヲ飲食セシメサルコト

第三 流行地碇泊中已ムヲ得ス一時上陸スル船客ニ對シテハ豫防上必要ナル注意ヲ與フルコト

第四 流行地ヨリ乗船スル者ハ乗船前其ノ健康状態ニ注意シ疑ハシキ者ハ乗船セシメサルコト

第五 船舶ニ於テハ特ニ船客乗組員ノ健康状態ニ注意シ「コレラ」ニ疑ハシキ患者ハ速ニ隔離其ノ他適當ノ豫防措置ヲ爲スコト

第六 船客乗組員ノ糞便及「ビルヂ、ウォーター」ヲ内地ノ港内ニ放流又ハ排除スルニ付テハ當該官吏ノ指示ニ從フコト

第七 現ニ又ハ航海中「コレラ」患死者ナキ船舶ニ在リテハ規定期間ノ停留ヲ省略スル爲メ糞便検査ヲ爲シタル者ニ對シテハ注意スヘキ症狀アル者及之ト密接ノ關係アル者ニ非ラサル限り直ニ上陸ヲ許可スヘキニ付探便其ノ他ニ關シ豫メ相當ノ用意

ヲ爲スコト

三二六

(七)「コレラ」疑似患者發生豫防措置ノ概況報告(檢發二四六號)

本日午後四時「コレラ」疑似患者一名發生シタル狀況左記ノ通りニ有之候條此段及報告候也

昭和三年九月二十七日

知事

内務大臣宛

記

一、疑似決定ノ日時

昭和三年九月二十七日午後四時

二、發生ノ場所

神戸港入港中第十號浮標繫留ノ英國貨物船グレナツプ號

三、患者

グレナツプ號一等運轉士 英國人 テイ・エフ・ゼー

當三十八年

四、本病流行地トノ交通關係

前記グレナツプ號ハ八月四日倫敦出帆ポートサイドニ八月十五日入港同日同港出帆スエズ八月十六日通過ベナン九月二日入港翌三日出帆シンガポール九月五日入港七日同港出帆香港九月十二日入港十四日同港出帆上海十七日入港二十二日(上海六日間碇泊)出帆二十五日午前七時五分和田岬檢疫所ニテ下級船員四十八名探便ノ上午前八時神戸渡入港第十號浮標ニ繫留荷役ヲ了シ二十六日午後一時横濱ニ向ケ出帆セリ

五、患者發病ヨリ決定迄ノ狀況

九月二十五日夕刻神戸市三宮町一丁目四三ドクトル、カニコ、チルン方ヘグレナツプ號ヨリ患者ノ往診ヲ求メタルヲ以テ直

ニ往診シタルニ前記患者ノ症狀ニ赤痢又ハ「コレラ」ノ疑アリタルヲ以テ探便ノ上二十五日午後九時豫テ面識アル神戸市東山病院前山副院長ヘ送付シテ患者ノ居所氏名等ハ附記セス單ニコレラ菌赤痢菌ノ有無検査方依頼シタルヲ以テ直ニ培養試驗中二十七日午後三時コレラ疑似菌ヲ認ムル旨當廳ヘ報告検査ノ立會ヲ求メタルニ依リ直ニ當廳吏員ヲ派シ検査ノ結果疑似コレラ菌ヲ認ムト決定ス

六、患者ノ處置

以上ノ狀況ニテ主治醫チルンハ疑似ノ疑ヲ懷キタルモ未タコレラ患者ト診定ニ至ラサリシ爲メ豫防法ニ示セル消毒其他ノ指示ヲ爲ササリシ故二十七日午後四時ノ決定前二十六日午後一時該船ハ既ニ荷役ヲ了シ患者ヲ乗セタル儘横濱ニ向ケ出帆シタルモノニシテ繫留中ノ患者ノ排泄物ハ其儘、港内ニ放流セラレ海水ハ爲ニ汚染セラレタルノミナラス横濱迄ノ航海中病毒傳播ノ虞アルハ頗ル遺憾トスル所ナルカ瀬戸内海沿岸各縣ニ通報スル外神戸港内海水使用停止ノ縣令ヲ公布シテ病毒ノ散蔓ヲ防止スルト共ニ警戒方直ニ神奈川縣ニ通報セリ

七、豫防措置

(1)豫防注射並ニ健康診斷

神戸港内水上生活者約二萬五千人ニ對スル豫防注射ハ既報ノ通り八月十五日ヨリ引續キ實行シ居リ既ニ本日迄ニ二萬一千餘人ヲ實施シテ大部分ヲ終了セルモ其後ノ異動者注射洩レ等ヲ徹底的ニ調査實行スルハ勿論該船繫留中交通シタル荷役人夫艦船行商其ノ他船員ノ上陸先等關係者全部ニ對スル注射並ニ健康診斷ヲ行フ

(2)探便検査

該船ノ荷役ニ從事シタル人夫百餘名並ニ艦船行商人其ノ他直接關係者全部ハ防疫職員ヲシテ嚴重調査ノ上探便班ヲ編成シ徹底的ニ探便検査ノ筈ナリ

(3)陸揚シタル荷物並ニ其處置

イ、薄板(鐵板)一千八百東ハ神戸市川西倉庫取扱ニテ解船二隻ニテ直接大阪市御崎町大阪亞鉛板株式會社ニ收納シ居リ其

三二七

旨大阪府警察部へ通報ス

- ロ、硫酸アンモニヤ四千袋大七商會取扱
- ハ、硫酸アンモニヤ二萬一千二百袋大正運輸會社取扱前記四千袋ト共ニ縣下加古郡多木肥料會社送附ノモノ
- ニ、桐材 二千九百六十七枚 神戸市上組扱ニテ森本濱ニ存置ス
- ホ、雜貨三十七箇(洋毛)
- ヘ、牛骨 百九十九袋 前記雜貨ト共ニ上組取扱ニテ京橋ノ下ニ繫留中
- ト、米四百八十俵 高濱三菱倉庫ニ收藏
- チ、護謨原料 二百箇 住友倉庫收藏
- リ、雜 貨 四百箇 同 上

以上ノ如ク陸上貨物ハ行先數量調査ノ結果判明セルヲ以テ夫々消毒處置スル筈

(4) 檢病の調査ノ實行

濱仲仕、沖仲仕、石炭仲仕、帆船々夫、漁夫其他ニ對スル檢病調査ハ既ニ二班ヲ編成シテ實行シ居レルモ海水汚染ノ虞アルニ鑑ミ之レヲ増班シテ周密ニ實行スル見込

(5) 神戸港内海水使用停止

二十五日午前八時第十號浮標繫留後二十六日午後一時神戸港出帆迄約三十時間ニ亘ル長時間患者ノ排泄物ヲ港内ニ放流シテ海水ヲ汚染シタル虞アルヲ以テ豫防法第十九條ニ依リ當分ノ内海水使用停止ノ縣令ヲ公布シ一面多數船舶ノ使用水ハ神戸市長ヲシテ神戸港沿岸適宜ノ場所ニ無料給水栓及給水船ヲ設置配水シ嚴重取締ヲ勵行シテ病毒ノ傳播防止ニ努ムル筈

(6) 關係各官衙へ通報及患者早期發見

京都大阪等ノ近府縣ハ勿論臺灣朝鮮關東廳其ノ他内地ノ關係官公衙ニ通報シテ豫防警戒ノ連絡ヲ期スルト共ニ縣下沿岸各警察署長ヲシテ此際特ニ下痢症患者等ニ對スル健康視察ヲ勵行シ患者ノ早期發見ニ努ム 以上

(八)「コレラ」防疫ノ狀況報告(檢發第二六九號)

九月二十八日附ヲ以テ報告致置候「コレラ」防疫ニ關スル件其後ノ狀況左記ノ通及報告候也

昭和三年十月六日

兵庫縣知事 長 延 連

内務大臣 望 月 圭 介殿

記

一、檢疫費追加豫算ノ支出

御大禮關係衛生施設事項ノ遂行上萬遺憾ナカラシムヘク本縣當初豫算中ノ檢疫費四萬八百九圓ノ外五月五日同上追加豫算二萬八千九百二十七圓、九月五日四千四百九十七圓ヲ支出シテ「ベスト」、「コレラ」、「痘瘡」、「腸チフス」其他ノ傳染病ノ豫防ニ萬全ヲ期シ居候處九月二十七日既報ノ通り外國汽船中ヨリ「コレラ」患者發生シタルノミナラス次テ十月二日大阪府ニモ發生シ之レカ防疫施設ノ擴張増加ヲ必要トスルヲ以テ尙十月五日別紙第一表ノ通り八千八百八十四圓ノ檢疫費ヲ追加豫算ヲ以テ支出セリ

二、神戸港内ノ防疫措置

1. グレナツプ號荷役其ノ他ノ關係者ノ採便検査

該船ノ荷役ニ從事シタル者ヲ精査シタルニ別紙第二表ノ如ク百五十二名ナリシヲ以テ九月三十日迄ニ第一回ノ採便検査ヲ終了シタルニ何レモ陰性ニテ更ニ十月二日、三日ニ亘リ第二回ノ採便ヲ爲シ目下細菌検査中

2. 海水使用停止ノ取締

九月二十八日日本縣令第四十七號ヲ以テ神戸港内ニ於ケル海水ノ使用ヲ停止スルト共ニ沿岸各警察署長ヲシテ嚴重ナル取締ヲ勵行シ海水ニ依ル病毒ノ散蔓防止ニ努メ居レリ

3. 陸上荷物ニ對スル措置

陸上荷物ハ既報ノ如ク重量一千六百噸ニ及ヘルモ米以外ハ飲食物ナク而モ收藏所調査ノ結果判然タルヲ以テ夫々措置ヲ了シ本項ニ依ル病毒傳播ノ虞ナシ

4. 海上従業者ニ對スル患者早期發見

海上従業者ニ對シテハ既ニ其大部分ニ對スル豫防注射ヲ完了シ居レルモ引續キ從前ヨリ配置セル注射班六班ヲ督勵シテ出入船舶乗組員ノ未了者ヲ調査實施セシムル外十月二日ヨリ第三表ノ如ク防疫醫、藥劑師、防疫監吏、警察官、看護婦ヨリ成ル無料診療班及檢病班ニ探便班ヲ新ニ編成配置シ之等従業者約二萬五千人ニ對スル各種疾病ノ無料診療並檢病探便ヲ行ヒ患者ノ早期發見ニ努メ居レリ

5. 「コレラ」豫防ノ注意警告

海水使用ノ停止並ニ診療及探便ノ徹底ヲ計ル爲メ別紙宣傳紙五萬枚ヲ印刷ノ上神戸港ヲ中心トシテ一般ニ配付シ自發的警戒心ノ喚起ニ努ム

三、神戸市内ニ於ケル豫防注射ノ實施

1. 神戸市醫師會ノ活動

病毒侵入シテ海上従業者ノ家族生魚商等直接關係アル者ハ勿論一般市民ニ對スル豫防注射ノ必要ヲ痛感シ居リタルニ際シ神戸市醫師會ハ御大禮モ逼レル今日神戸市醫師會トシテ活動シ一般市民ニ無料注射ヲ爲シタキ旨申出タルヲ以テ神戸市ト協議シ注射液ハ縣市ヨリ交附シ十月一日ヨリ市内各開業醫ニ於テ市民ノ希望者及警察署ヨリ示達セル前記家族等ノ無料豫防注射ヲ實施スル外縣市衛生課及縣立病院、濟生會病院ニ於テモ醫師會同様一般ニ開放シテ豫防注射ヲ開始シ居レリ

四、大阪府ニ發生ノ「コレラ」ニ對スル措置

1. 尼崎港ニ對スル防疫

十月二日大阪府ヨリ本病發生ノ通報アリタルヲ以テ直ニ當應防疫職員ヲ派遣シテ狀況調査セシメル一面本縣尼崎市トハ海陸共ニ接續シテ交通運輸ノ頻繁ナルモノアルヲ以テ防疫醫三名、藥劑師一名、看護婦三名、防疫監吏四名、警部補一名ヲ

派遣シ防疫班三班、消毒班一班ヲ編成シ尼崎港入港船舶乗組員ニ對スル豫防注射ノ續行及檢病調査、探便検査等ヲ實施ス

2. 沿岸各港ニ對スル措置

患者發生セル尻無川一帶ニハ本縣ヨリ石材、薪炭、材木等ヲ運送スル舟乘業者又ハ商用ノ爲往復スル者多數ナルヲ以テ之等ヲ調査シテ豫防注射探便検査ヲ實施ス

3. 大阪府河港ヨリ移入セル飲食物ニ對スル措置

大阪府ノ河港ヨリ移入セル飲食物ニ對シテハ當分ノ間左記方法ニ依ル消毒ヲ行フコトヲ旨示督勵ス

(イ) 煮沸燒焙

(ロ) 清淨ナル水ニテ充分洗滌スルコト

(ハ) 三千倍稀鹽酸水ニテ洗滌スルコト

(ニ) 直射日光ニテ充分消毒スルコト

以上物品ノ種類ニ依リ撰擇實行セシム 以上

(九) 海水使用停止取締ニ關スル件 (衛通第四三號兵庫、神戸、水上、相生警察署長)

「コレラ」豫防ノ爲九月二十八日日本縣令第四十七號ヲ以テ當分ノ間神戸港内(神戸港内トハ西郷町新在家ノ東角ヨリ南ハ五度西ニ入りタル線ト和田岬ヨリ北八十四度三十四分東ニ入りタル線ト交叉シタル一線内ヲ云フ)ニ於テ漁撈游泳ヲ爲シ又ハ海水ヲ汲取り若ハ飲食物、飲食用器具、衣類ノ洗滌ヲ爲シ之ヲ使用スルコトヲ停止セラレタルニ付之カ取締ヲ勵行シ其成績左記様式ニ依リ報告セラルヘシ

右 通 達 ス

昭和三年九月二十九日

警察部長

兵庫縣書記官 井上政信

海水使用停止中ノ取締事績報告(自月 日)署名

取扱總件數	漁	撈	游	泳	海水汲取	飲食物、同器具		内		課											
						衣類	洗滌	科	料		說	論	調	戒	注	意					

(一〇)海水使用停止解除ニ關スル件報告(檢發第二八七號)

本日別紙ノ通縣報ヲ以テ九月二十八日公布ノ海水使用停止ノ縣令ヲ解除致候右ハ幸ニシテ其ノ後患者發生セス水上生活者生魚商等ニ非常ナル苦痛ヲ與ヘツ、アル實情ニアル爲一先解除致候得共上海地方ノ狀勢並ニ隣接大阪市ニ患者發生ノ狀況ニ鑑ミ警戒ハ不相變嚴重施行致居候條此段及報告候也

昭和三年十月十五日

兵庫縣知事

内務大臣宛

兵庫縣令第五十號寫

昭和三年九月二十八日兵庫縣令第四十七號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ昭和三年十月十七日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年十月十五日

兵庫縣知事 長 延 連

四、腸チフス豫防ニ關スル件

「チフス」豫防ニ關シテハ昭和三年特ニ本病ノ發生著シク五月既ニ例年ノ二倍ニ達スル狀況ナリシヲ以テ極力豫防注射ヲ督勵スルト共ニ尼崎、西宮、神戸、明石、姫路各都市及其間ニ於ケル町村内飲食物販賣業者五萬一千餘人並ニ前年來ノ罹患全

治者ニ對スル治癒後ノ病原體保有者檢索ノ計劃ヲ樹テ六月十八日ヨリ防疫醫四名、防疫監吏十二名並各署衛生係員ヲシテ採便檢鏡ニ從事セシメ十月一日全部ノ檢査ヲ終了シタリ而シテ其ノ檢査人員三萬七千六百七名中腸「チフス」病原體保有者二十七名「バラチフス」同上十名赤痢同上一名合計三十八名ヲ發見シタリ尙本廳ニテ腸「チフス」豫防注射液ヲ調製市町村ニ無料交付シタルモノ一百十二ヶ町村數量三十六萬一千九百六十cc 二十萬九千五百二十一入分ナリ

(一)御大禮關係傳染病豫防實施事項

- | 月 日    | 實 施 事 項  |
|--------|--|
| 四月十九日  | 同 衛通第五號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シ傳染病及各種流行病ノ報告方通達ス               |
| 同 日    | 同 檢發第五九號ヲ以テ縣下各郡市醫師會長宛前記ノ件通牒ス                       |
| 六月十八日  | 同 衛通第二〇號ヲ以テ各警察署長ニ對シ腸「チフス」「バラチフス」病原體保有者檢索ニ關スル件通達ス   |
| 同 日    | 同 檢發第一五一號ヲ以テ洲本姫路相原豐岡村岡各細菌檢査所ニ對シ前記病原體保有者檢索採便檢鏡ノ件通牒ス |
| 六月二十三日 | 同 檢發第一五五號ヲ以テ各警察署長ニ對シ採便採取日報報告方通牒ス                   |
| 八月二日   | 同 檢發第一八〇號ヲ以テ縣下各郡市醫師會長宛腸「チフス」豫防ノ件通牒ス                |
| 同 日    | 同 衛通第二九號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シ前記豫防ノ件通達ス                     |
| 八月三日   | 同 檢發第一八〇號ノ一ヲ以テ縣下各市町村長ニ對シ前記豫防ノ件通牒ス                  |
| 同 日    | 同 衛通第三〇號ヲ以テ各警察署長ニ對シ「チフス」豫防ニ關スル件通達ス                 |
| 十月十二日  | 同 衛通第四九號ヲ以テ各警察署長ニ對シ衛通第五號通達ノ週報ヲ日々報告方通達ス             |
| 十二月十日  | 同 衛發第五〇號ヲ以テ各警察署長ニ對シ第四九號通達ニ基ク日報廢止方通牒ス               |

(二)御大禮關係傳染病患者發生表

昭和三年 自四月一日起至十一月三十日





五、癩豫防ニ關スル件

從來外島保養院ニ於ケル患者收容定員ハ四〇〇名ニシテ殆ント常時満員ノ實狀ニ在リシヲ以テ浮浪徘徊ノ癩患者ヲ悉ク同院ニ送致スルヲ得ス從テ外人ノ來往極メテ頻繁ナル神戸市及阪神沿線ニ於テハ浮浪徘徊ノ癩患者常ニ其ノ迹ヲ絶タス本病豫防上ハ勿論國家ノ體面上實ニ寒心ニ堪ヘサル状態ナリシカ本年ハ御大典ノ關係上外島保養院ニ於ケル收容設備ヲ擴張シテ其ノ定員ヲ五五〇名ニ増加セラルルコトナリシヲ以テ御大典舉行前ニ浮浪徘徊ノ癩患者ヲ縣下ヨリ一掃スルト同時ニ御大典期間中自宅治療ノ癩患者ノ外出ヲモ嚴重ニ取締ルヘキ計劃ヲ樹テ本年九月外島保養院ニ於ケル擴張設備ノ完成スルヤ縣下各警察署ヲ督勵シテ浮浪〇徘徊ノ癩患者十七名及無資力癩患者十二名ヲ外島保養院ニ送致シ且自宅治療ノ癩患者ニ對シテモ妄リニ外出セシメサル様嚴重ニ取締ヲ加ヘタルヲ以テ幸ニ御大典期間中縣下ニ癩患者ノ彷徨徘徊スル者杜絶セルノ好成绩ヲ收メタリ

六、結核及「トラホーム」豫防ニ關スル件

一般業態者ニ對スル結核健康診断及「トラホーム」檢診ニ關シテハ左表(甲)ノ通昭和三年二月ヨリ三月迄ニ既ニ縣下郡部ニ於テ九、〇九五ノ檢診ヲ施行セシカ本年ハ御大典ノ舉行セラル、關係上特ニ業態者ノ範圍ヲ擴張シテ所謂特種業態者中菓子及乳ノ製造又ハ販賣ニ直接從事スル者(鮎、煮染ノ製造販賣ニ從事スル者ハ飲食店従業員トシテ從來ヨリ施行シ居リ又肉ハ大體ニ於テ生食セサルヲ以テ之ヲ除外セリ)及貸蒲團、貸本、古着ノ賣買、授受ノ業務ニ直接從事スル者ニ對シテモ之ヲ施行スルコトトシ先ヅ第一ニ御大典舉行前ニ神戸市及阪神沿道ノ該當業態者ニ對シテ之ヲ施行シ第二ニ縣下ノ未済地方全部ニ及ホスヘキ計劃ヲ樹テ五月二十三日ヨリ毎日醫師三名ヲ派遣シテ之ニ從事セシメ七月二十五日神戸市内ヲ終了シ引續キ直チニ阪神沿道地方ニ着手スヘキノ處「ベスト」竝「コレラ」豫防及腸「チフス」竝赤痢保菌者ノ檢索等ノ防疫事務ノ爲醫師ノ手不足ヲ生シ已ムヲ得ス之ヲ延期シ十月上旬ニ至リ「コレラ」防疫モ一段落ヲ告ケ聊カ醫師ニ餘裕ヲ生シタルヲ以テ同月十八日ヨリ之ヲ開始シ同月二十九日迄ニ御影、菅屋、西宮ノ各警察署管内ノ該當業態者ニ對シテ之ヲ施行セリ其ノ成績左表(乙)ノ通ニ有之而シテ之ニ依リテ發見シタル結核竝「トラホーム」患者ニ對シテハ夫々諭旨休廢業、治療督勵等適宜ノ措置ヲ講シタリ

(甲) 昭和三年 自二月 至三月 施行 結核 檢診業態別成績表

業態別	種別	受診者	結核			患者百分比	ト			計	患者百分比
			肺結核	喉頭結核	計		重	輕	疑似症		
藝妓	居	五七五							二四	四、一七	
仲居	居	七八二	一					三七	四二	五、三七	
宿理屋	居	六八一						三七	四七	六、九〇	
料理屋	居	八四〇						三七	四六	五、四七	
飲食店	居	二、二四六						一三六	一五四	六、八五	
藝妓置屋	居	五四						一	一	一、八五	
貸座敷	居	一三二							一	〇、七五	
席貸	居	八									
理髮	居	一、一七							八九	七、九六	
牛乳搾取販賣	居	一六三						一二	一二	七、三六	
鍼灸、按摩	居	三九〇						一二	一二	七、三六	
菓子製造販賣	居	一、九八四						二二	二五九	一三、〇五	
興行場	居	一〇〇						一	一	一、〇五	
遊藝場	居	二二									
計		九、〇九五	三		三	〇、〇三	三〇	六五四	四五	七二九	八、〇一

備考 施行署名 三田、三木、加古川、高砂、魚橋、飾磨、網干、赤穂、篠山、洲本、志筑、岩屋以上十二署

(乙) 昭和三年 自五月 至十月 施行 結核 檢診業態別成績表

業態別	種別	受診者	結核			患者百分比	ト			計	患者百分比
			肺結核	喉頭結核	計		重	輕	疑似症		
藝妓	居	二、〇二〇							一三	一六	〇、七九
仲居	居	一、九五							一	一	〇、五一

備考	施行警察署名	葦合	三宮	神戸水上	湊川	相生橋	兵庫	林田	須磨	御影	芦屋	西宮以上十一署
仲居酌婦	二、一九八											
宿屋	一、五一〇											
料理屋	四、五九一											
飲食店	六、九九九	三										
藝妓置屋	四九											
席貸	九四六											
理髮	四、四七八	二										
貸座敷	九一六											
牛乳搾取販賣	六〇六											
鍼灸、按摩	九二八											
菓子製造販賣	五、五八三	一										
興行場	六五三											
遊藝場	六五一											
貸蒲團	五二											
貸本	八二											
古着	五一四											
船行商	六一	六										
計	三三、〇三二	六	六	〇、〇二二	一一	九一三	三〇八	一、二二二	三、七三			

七、精神病患者取締計劃並顛末ノ概要

(一)、精神病患者取締ノ概要  
 御大禮ニ關シ精神病患者ノ視察取締ハ最重要視スヘキモノナルヲ以テ本年二月一齊取締ヲ勵行シテ患者ノ整理ヲ行フト共ニ八、九、十ノ三ヶ月間ヲ第一期ノ視察期間ト爲シ十月二十五日ヨリ十一月三十日迄ヲ第二期間ト定メ第二期間中ニ於テハ毎日一回以上實地臨檢ヲ行ヒ旅行外出ヲ禁止シ其間一齊檢査及戸口調査ヲ勵行シテ新規患者ノ發見ニ努メ特ニ精神病院及治療

ノ目的ヲ以テ寺院ニ參集スル精神異常者ノ取締ヲ始メ御大關係府縣立廻者行衛不明者等ヲ調査シテ夫々手當ヲ爲ス等最モ峻嚴ナル計劃ノ下ニ視察取締ヲ勵行シタルモノニシテ取締計劃及實施顛末ノ概要次項ノ如シ

(二)、病者ノ整理

本年二月縣下全般ニ亘リテ一齊取締ヲ行ヒ更ニ九月十日ヨリ十日間ニ亘リ一齊戸口調査ヲ勵行シテ行衛不明者及新規病者ノ發見ニ努メ病狀ヲ仔細ニ調査シテ監置ヲ要スル程度ノモノハ監置ノ方法ヲ講セシメ看護義務者ニシテ義務ヲ履行スル能ハサル者ニ對シテハ所屬町村長ニ引渡シテ監置セシムルコト、シ御大關係府縣ヘ立廻スル者及行衛不明者ヲ調査シテ夫々通知スル等病者ノ一大整理ヲ行ヒ十月十五日現在ヲ以テ精神病患者名簿ヲ作成シテ各署ニ送附シテ取締上ノ參考ニ資セシムルコト、爲セリ

(三)、一般取締計劃

(イ)八、九、十ノ三ヶ月間ハ所轄警察署ニ於テ一ヶ月三回以上實地臨檢視察取締ヲ勵行セシムルコト、シ特ニ京都、奈良、三重等御大關係府縣ニ旅行セムトスルモノアルトキハ行先地所轄警察署ヘ即報セシムルコトト爲ス  
 (ロ)十月二十五日ヨリ御大禮御終了迄ノ期間ハ毎日一回以上受持巡者若クハ視察專従者ニ於テ實地臨檢視察取締ニ從事セシムルコトトシ此期間中外出又ハ旅行セムトスル者アルトキハ阻止ノ方法ヲ講シ強テ旅行セムトスル者ニ對シテハ檢査スルコト、爲ス

(四)、病者及精神異常者ノ檢査

御大禮期間中十一月十一日、十二日、二十二日ノ三日間毎日午前七時ヨリ午後四時迄縣下全般ニ亘リ病者ノ一齊檢査ヲ行ヒ併セテ視察圏外ニアル老耄、腦病者等精神異常者檢査ニ努力セシムルコト、爲セリ

(五)、入院中ノ病者ノ取締

神戸精神病院ノ外四ヶ所ノ病院ニ入院中ノ病者ノ取締トシテハ十月二十五日ヨリ御大禮御終了迄ノ間所轄警察署ヨリ相當數ノ警察官ヲ派遣シテ晝夜兼行取締ニ從事セシムルノ外病院經營者ヲシテ不審番ヲ置カシムルコト、シ特ニ該期間中ハ重病其



總計		其ノ他飲食物		飲食物器具類		計	
數量	適品	數量	不適品	數量	不適品	數量	不適品
八、八七	八、六九	1,603	1,103	六、五八	三	七、九三	1,103
							三、六九

食糧品市場取締表 自十月二十五日 至十一月八日

市場數

検査數

適品數

不適品數

一〇三

二一、九三二

二一〇、六二七

一、三〇五

七月二十六日神戸市内一流料亭一齊臨檢結果表

署名	臨檢戶數	飲食物器具検査		調理場設備ニ付キ注意シタル數		備考
		總數	不適品數	キ注意シタル數	不適品數	
葺合	九	二〇三	三			水室不潔ニ付キ注意シタルモノ 八
三宮	一九	四三三	一三			便所不潔ニ付キ 二
相生橋	一一	一八四	一四			汚物箱設備ニ付キ 一
湊川	一〇	二三〇	二〇			防蝕設備ニ付キ注意シタルモノ 五
兵庫	一三	九二	一四			排水上ニ付キ 二
林田	一一	一九八	四九			排水ニ付キ 一
須磨	一五	二六五	六			汚物箱設備ニ付キ 一
計	八八	二、六〇五	一一九			排水上ニ付キ 二
牛乳搾取營業者數	二一六					
牛乳請賣營業者數	五八〇					
設備注意數		三三三				
容器注意數			二一六			
牛乳取扱注意數						二二二

獸肉營業者取締成績表

獸肉店舖數	設備注意數	獸肉取扱注意	適品	不適品
三七八	一一七	九一	三三二	五八

九、家畜傳染病豫防計劃及實施願末概要

(一)、炭疽病豫防計劃及實施概要

炭疽病豫防ニ關シテハ御大典關係府縣ト牛馬ノ交通上密接ノ關係ヲ有シ且ツ既往三ヶ年間ニ本病發生セシ有毒地域ト認ムル神戸市、外一市八郡十六ヶ町村ニ於ケル牛二、一四八頭、馬七四頭、緬羊二頭、豚一五頭計二、二三九頭ノ家畜ニ對シ九、十、十一月ノ三ヶ月間ニ亘リ豫防注射ヲ行ヒ專ラ豫防ニ努メタル結果施行地域内ニ於テハ炭疽病ノ發生絶無ニシテ炭疽病豫防上好成績ヲ收ムルコトヲ得タリ

(二)、狂犬病豫防計劃及實施ノ概要

狂犬病豫防ニ關シテハ野犬掃蕩ノ爲メ神戸市内及阪神沿線ノ畜犬所有者ニ對シ毎月一日ヨリ十日間(十一月一日ヨリ三十日ニ至ル間)畜犬ノ繫留ヲ命スルト共ニ七月一日ヨリ七日間ニ亘リ全國一齊野犬捕獲週間實施ノ際懸賞付買上ノ方法ヲ以テ極力野犬掃蕩ニ努メ六、五〇九頭ノ野犬ヲ捕獲シ一、四七三頭ノ畜犬ニ對シ豫防注射ヲ行フ外十月一日ヨリ御大典關係府縣聯合狂犬病豫防週間ニ際シ内外人ノ出入往來ノ頻繁ナル神戸市内七警察署管内及阪神沿線六警察署管内ニ於テ前同様ノ方法ヲ以テ野犬ノ掃蕩ニ努メ一、六一五頭ノ野犬ヲ捕獲シ一、八七八頭ノ畜犬ニ對シ豫防注射ヲ勵行シタル結果御大典期間中狂犬病ノ發生スルコトナク畜犬ニシテ逸走シタルモノナシ

昭和三年 自七月一日 至七月七日 狂犬病豫防週間實施成績表

捕獲	買上	頭數	豫防注射		戶口の畜犬調査		講話開催數	聽講人員
			頭數	新届出	既届出	計		
大	小	計						
四、八二〇	一、六八九	六、五〇九	一、四七三	一、七八三	二五、一七四	二六、九五七	七二九	二二四、六四五

備考 市部警察捕獲頭數合計一、一五六頭其ノ他都市警察捕獲頭數合計五、三三三頭  
昭和三年 自十月一日 至同 七日 狂犬病豫防週間實施成績表

野 犬		計	戸 口 的 畜 犬 調 査 數		豫 防 注 射 頭 數
大	小		新 届 出	既 届 出	
一、四三八	一七七	一、六一五	一、六一五	一五、五〇六	一、八七八
				計	
				一五、八六一	

一〇、衛生思想宣傳ニ關スル施設事項一切(縣下警察署其他團體)

- 一、三宮署ニ於テハ接客業者ヲ集合セシメ懇談會ヲナス又一般住民ニ對シ印刷物ヲ配付ス
- 一、神戸市湊川料理屋席貸業組合ニ於テハ自戸ノ衛生施設ヲ完全ナラシムル爲組合役員ニ於テ當該組合員ノ營業所ヲ毎月十八日検査スル事トシ五月ヨリ實施シツ、アリ
- 一、神戸市羽阪通三丁目ニ於テハ町會ナル有志等ニヨリ町内隅々ニ至ル迄衛生保持ノ標札ヲ樹テ衛生思想ノ普及ヲ計ルコト、セリ
- 一、姫路市ニ於テハ市内各戸ノ寢具ヲ毎月十五日一回日光消毒ヲナスコト、シ現ニ實行シツ、アリ
- 一、尼崎署ニ於テハ接客業者六百名ヲ招集シ結核豫防思想涵養ノ講演會ヲナス又九月接客業者ニ對シ衛生思想普及講演會ヲナス
- 一、明石署ニ於テハ明石市衛生組合ト提携衛生思想宣傳ノ爲メ各町毎月一回巡回講演會ヲ開催スルコト、ナシ實行シツ、アリ
- 一、西宮署ニ於テハ市醫師會ト提携講演會ヲナシタリ
- 一、武庫郡醫師會ニ於テハ結核花柳病法定傳染病豫防宣傳ビラ六萬枚ヲ調製シ十一月一日ヨリ六日迄ニ二萬枚ヲ飛行機ニテ阪神國道沿線ニ散布シ他ハ小學校兒童ヲ通シ各戸ニ配付ス
- 一、武庫郡産婆會ニ於テハ分娩無料介助券ヲ發行シ貧困者ニ交付方部内各警察署ニ囑託ス

- 一、三田警察署管内ニ於テハ九月一日ヨリ十月四日迄ノ間ニ於テ管内十五ヶ町村内二十一ヶ所ニ於テ保健並傳染病豫防心得ニ付宣傳講演會ヲ開催ス聽衆約七千五百名
- 一、水上郡吉見村ニ於テハ埃捨箱ノ設置ナキ爲メ今回之ヲ各戸ニ設置セリ
- 一、神戸市醫師會ニ於テハ「コレラ」豫防ノ爲メ無料ニテ豫防注射ノ需メニ應シタリ
- 一、姫路市ニ於テハ腸「チフス」患者一時的ニ發生多數ヲ見タル爲メ市民ニ對シ姫路市醫師會ニ於テ無料豫防注射ヲ施シタリ
- 一、縣下各警察署ニ於テハ花柳病豫防、結核、トラホーム豫防、傳染病豫防ノ爲メ各管内一圓ニ涉リ講演會開催シ又ボスタ、ピラ、パンフレット、リーフレット等ヲ各戸配布又ハ各所ニ掲示シ以テ宣傳ニ努メタリ

(6) 奈 良 縣

第一款 傳染病其ノ他

第一急性傳染病豫防ニ就テ施行シタル事項

(1) 屍體檢案

傳染病患者ノ早期發見ヲ期スル爲メ七月二十日ヨリ十一月末日ニ至ル期間左記地域ヲ限リ屍體檢案ヲ施行シタルニ其ノ成績左記ノ通ニシテ傳染病死者ヲ發見スルヲ得サリシモ本事項ノ施行ニ依リ一般ニ傳染病患者届出ノ迅速ヲ促シ防疫上寄與スル處尠カラサリシ效果ヲ齎シタリ

屍 體 檢 案 表

市 町 村 別	檢 案 死 體 數	發 見 シ タ ル 傳 染 病 患 者 數
奈 良 市	三四七	一

高市郡八木町	二六	三四六
同 今井町	二八	
同 畝傍町	五〇	
同 眞菅村	一八	
同 金橋村	二一	
同 飛鳥村	三	
同 鴨公村	二四	
同 天滿村	二	
磯城郡耳成村	二八	
同 香久山村	一三	
同 大福村	一	
同 多村	二	
計	五六三	

(2) 保菌者檢索

保菌檢査ハ八月ヨリ開始シ

- (一) 本年及前年腸「チフス」「バラチフス」發生患家族及之カ患家ト井戸便所ヲ共有スル家ノ家族
- (二) 一般病死者中消化器系統ニ屬スル疾病ニ依リ本年及前年中死亡シタル者ノ家族
- (三) 死體檢案地域内及御通過鐵道沿線ニアル宿屋、料理屋、飲食店ノ家族從業者
- (四) 献上品、上覽品出願者及其ノ家族製作者
- (五) 御陵勤番所職員及御少憩所出入者

(六) 地方賜饌ノ調理人ニ對シ各々糞便ヲ採取シ當應ニ於テ腸「チフス」「バラチフス」ニ對スル細菌學的檢査ヲ行ヒタルニ其ノ成績左記ノ通ニシテ一名ノ保菌者ヲモ發見セス

保菌檢査表	郡市別	檢査人員	保菌者數
郡	市		
奈良	市	一、五〇〇	—
各	郡	五、一五五	—
計		六、六五五	—

(3) 檢病的戸口調査

檢病檢査ハ四月以降毎月之ヲ施行セルモ御大禮期日ノ切迫スルニ從ヒ尙一層周密ニ行フノ要ヲ認メタルニ依リ更ニ七月計畫ヲ改メ縣下ヲ三分シ屍體檢案地域ヲ第一、御通過沿道及其ノ附近ヲ第二、其他ノ地域ヲ第三豫防地域ト定メ、第一豫防地域ニ在リテハ毎月二回(但シ十一月以降ハ四日目毎)第二豫防地域ニ在リテハ毎月二回(但シ十一月ニ限り三回)第三豫防地域ニ在リテハ毎月一回檢病調査ヲ施行シ以テ傳染病患者ノ早期發見ヲ期シタルニ其ノ成績左記ノ通ニシテ良好ナル實ヲ擧ケタリ

檢病的戸口調査成績	自四月至十一月
調査延戸數	四六三、四一七
發見シタル病者	一六、〇九〇
傳染病容疑者	九七
容疑者傳染病患者ト決定シタル數	七五
腸チフス	一

(4) 特種營業者檢診

屍體檢案施行地域内及御通過鐵道沿線ニアル宿屋、料理屋、飲食店ノ家族從業者ニ對シテハ既掲ノ如ク保菌檢査ヲ施行シタル外當應醫師ヲ派シ健康診斷ヲ行ヒタルニ其ノ成績左記ノ通ニシテ五十五名ノ有病者ヲ發見シタルモ何レモ輕度ノ「トラホーム」患者ナルヲ以テ療法ヲ指示シ治愈ニ至ル迄從業ヲ停止スヘク加論ノ上所轄警察官吏ヲシテ之カ實行ヲ監視セシ

メタリ

特種營業者健康診斷成績表

種別	檢診人員	健康者	有病者
宿屋	五四五	五二二	二三
料理屋	一〇〇	九一	九
飲食店	四九三	四七〇	二三
計	一、一三八	一、〇八三	五五

(5) 豫防注射ノ督勵

腸「チフス」ノ豫防注射ニ就テハ豫テ督勵シ其ノ普及ヲ計リツ、アリシト雖御大禮ニ直面セルヲ以テ殊ニ本病ノ豫防撲滅ニ一層意ヲ用フルノ必要ヲ認メ先ツ前年ニ患者ノ多數發生セル町村ヲ始メトシ本年ニ入りテハ患者發生毎ニ吏員ヲ派シ極力市町村會ヲ督勵シ患者發生地附近ノ住民ニ對シテハ一定區域ヲ定メ必ス豫防注射ノ施行ヲ獎勵シ之カ施術ニハ當應ヨリ醫師ヲ派シ施術ノ援助ヲナサシムル等ノ方策ヲ取リタル爲メ相當ノ效果ヲ舉ケタリ尙縣下警察官吏ノ全部ニ對シ腸「チフス」豫防注射ヲ施行シ御大禮警衛警備ノ安全ヲ期シタリ

而シテ之等ニ關スル成績ハ第一回接種ノミノモノ四萬二百二十一、第二回接種ヲ完了シタルモノ二萬七千七百三十名ナリ

(6) 衛生講話

一般民衆ノ衛生思想ノ向上ヲ計ル目的ヲ以テ警察署長ニ命シ各地隨所ニ於テ衛生講話會ヲ開催セシメ當應ヨリ醫師又ハ藥劑師ヲ派シ通俗衛生講話會ヲ開催シ豫防智識ノ普及ニ努メタリ而シテ之カ會合ニハ衛生劇若ハ衛生ニ關スル活動寫眞等ヲ應用シ會衆ノ多數ヲ得ルコトニ努メタルニ各地共非常ナル盛況ヲ示シ其ノ效果著シキヲ見タリ而シテ之ニ關スル成績ハ昭和三年十月十五日現在ニテ開催個所數百六十五、聽講者數十萬六千六百六十一名ナリ

(7) 防疫講習

防疫事務ノ完璧ヲ期スル爲メ之カ指導ノ任ニアル者及其ノ事務ニ直接スル者ニ對シ充分之ヲ理解セシメ置クノ要アルヲ以テ四月以降約一ヶ月間ニ亘リ防疫講習會ヲ開催シ當應醫師、藥劑師、警部各一名ヲ講師トシテ全縣下警察官吏、市町村吏員及衛生組合員等ニ對シ傳染病ノ大意及傳染經路、並ニ消毒方法、消毒藥品取扱法其他傳染病豫防法令及事務上ニ就テ講習セシメタリ之カ開催警察署數ハ奈良警察署外十六、講習生ハ警察官吏三百七名、市町村吏員八百八十七名、衛生組合員二百九十一名、其ノ他三十三名ニシテ總計八百八十八名ナリ

(8) 消毒斑ノ特設

傳染病發生ニ際シ豫防消毒ノ經驗ニ乏シキ者ノ消毒ニ從事スルハ實際上不利不便ニシテ殊ニ郡部ニ於テ其ノ實例多キヲ以テ先ツ御陵所在地ノ郡内衛生組合ニ對シ十六ノ消毒斑ヲ設置セシメ其ノ班員百四十五名ニ對シテハ當應ヨリ吏員ヲ派シ豫防消毒ノ實地講習ヲ行ヒ以テ有時ノ場合ニ備ヘシメタリ

第二麻疹外三病ニ就テ施行シタル事項

(1) 麻疹、流行性感冒、流行性耳下腺炎、流行性腦炎ノ豫防方法ヲ講スル爲メ奈良市及高市郡及御通過鐵道沿線並其ノ附近市町村内ニ於テ前記患者死者アリタルトキハ之ヲ診療セル醫師ヨリ届出ツヘク八月二日縣令ヲ公布シタルニ左記ノ通患者届出ヲ受ケタリ而シテ之等患者ニ對シテハ一定ノ事項ヲ指示シ適當ニ豫防方法ヲ講スヘク別途通牒ヲ發シ之カ豫防ニ努メタリ

麻疹外三病患者表 昭和三年十二月一日現在

郡市別	麻 疹				流 行 性 感 冒				流 行 性 耳 下 腺 炎				流 行 性 腦 炎			
	患者	治癒	死亡	現在	患者	治癒	死亡	現在	患者	治癒	死亡	現在	患者	治癒	死亡	現在
奈良市	四	四							四	一						
郡部	二二	一四			二	二			三三	二九						
計	二六	一八		八	二	二		三七	三〇			七	四			三

第三結核トラホームノ豫防ニ就テ施行シタル事項

結核トラホーム豫防施設ニ就テハ當該豫防法令ノ規定ニ依リ毎年檢診ヲ行ヒツ、アルモ御大典ニ際會セルヲ以テ一層周密ニ施行セシメタリ而シテ之ニ關スル成績ハ左記ノ通ニシテ有病者ニ對シテハ夫々治療スヘキコトヲ命シ一面所轄署長ヲシテ之ヲ監視セシメタルニ何レモ命ニ從ヒ且任意業務ヲ休止シ専心加療ニ努メタルヲ以テ從業ヲ停止若ハ禁止セルモノ一名モナシ

肺結核檢診成績表 昭和三年中

業種別	總發見患者			總發見患者			總發見患者			總發見患者		
	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他
旅店、下宿屋、貸座敷、理髮店、其ノ他客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ於ケル從業者	100	100	0	1,090	1,090	0	1,110	1,110	0	1,108	1,108	0
看護婦、按摩鍼灸術者、藝妓、娼妓、兩入其他直接客ニ接スル業務ニ従事スル者	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
菓子、糖、煮染、肉、乳其ノ他スルモノノ製造又ハ販賣ニ直接従事スル者	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
薯、楊枝又ハ糖粉、細工等ニ類スルモノノ製造又ハ販賣ニ直接従事スル者	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
貸蒲團、貸本、古着其ノ他之類ニ直接従事スル者	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
總計	104	104	0	1,104	1,104	0	1,114	1,114	0	1,119	1,119	0

トラホーム檢診成績表 昭和三年中

業種別	總發見患者			總發見患者			總發見患者			總發見患者		
	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他
旅店、下宿屋、料理店、理髮店、其ノ他客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ於ケル從業者ニテ直接スルモノ	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
看護婦、按摩鍼灸術、藝妓、兩入其他直接客ニ接スル業務ニ従事スルモノ	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
工場其他之レニ準スヘキモノ職工又ハ徒弟	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
總計	3	3	0	3	3	0	3	3	0	3	3	0

健康診斷成績表 (一號) 昭和三年中

業種別	總發見患者			總發見患者			總發見患者			總發見患者		
	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他
總人員	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0
受檢人員	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0
有病者數	126	126	0	126	126	0	126	126	0	126	126	0
缺席者數	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0
總人員	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0
受檢人員	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0
有病者數	126	126	0	126	126	0	126	126	0	126	126	0
缺席者數	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0
總人員	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0
受檢人員	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0
有病者數	126	126	0	126	126	0	126	126	0	126	126	0
缺席者數	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0
總人員	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0	2,855	2,855	0
受檢人員	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0
有病者數	126	126	0	126	126	0	126	126	0	126	126	0
缺席者數	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0	1,664	1,664	0

健康診斷成績表 (二號) 昭和三年 自一月至十二月

業種別	總發見患者			總發見患者			總發見患者			總發見患者		
	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他	總發見患者	從業停止者	其他
梅毒	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
軟性下疳	5	5	0	5	5	0	5	5	0	5	5	0
尿道炎	35	35	0	35	35	0	35	35	0	35	35	0
淋毒性疾患	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
計	42	42	0	42	42	0	42	42	0	42	42	0
輕症トラホーム	126	126	0	126	126	0	126	126	0	126	126	0
其他疾患	126	126	0	126	126	0	126	126	0	126	126	0
計	168	168	0	168	168	0	168	168	0	168	168	0

第四花柳病豫防ニ就テ施行シタル事項

娼妓ハ勿論其他ノ接客業婦ニ對シテ保健組合ニ於テ行フ健康診斷ヲ一層勵行スルト共ニ洗滌設備ノ完備ヲ期シ豫防用具、豫防藥品ノ使用ヲ勸奨シ殊ニ花柳病豫防法ノ趣旨ニ則リ接客業婦ノ豫防知識ヲ啓發シ併セテ豫防方法ヲ勵行セシムル爲メ縣下各警察署ヲ中心トシテ接客業者ヲ集合セシメ特別講話會ヲ開催セリ



娼妓健康診断表 昭和三年十二月末現在

其ノ一

遊廓數	娼妓一日平均數	健康診断所數	健康診断延人員	同上有病ト認メタルモノ	娼妓病院又ハ治療所數
・四	六一二	二	六一、八〇九	一、一三〇	二

其ノ二

梅毒	淋病	軟性下疳	剝脱	傳染性皮膚病	結核性疾患	癩病	トラホーム	其他ノ疾患	計
七五	四四一	五三八	二七	一〇	一	一	一	三九	一、一三〇

第五類豫防ニ就テ施行シタル事項

浮浪癩患者ノ一掃ニ就テハ警察署長ヲ督勵シ其ノ絶滅ヲ期セル外六月以降私宅療養ノ癩患者ニシテ入院治療ヲ要スト認メラル、モノ、一齊調査ヲ行ヒ救護ニ努メタリ而シテ之ニ關スル成績ハ左記ノ通ナリ

癩患者表 昭和三年十月現在

郡市別	患者數	本年收容	保養院收容者	私宅療養者
郡市	六	一	四	二
奈良市	六	一	四	二
郡良市	一二六	三	二二	一〇二
郡部	一三二	三	二七	一〇四
計	一三二	三	二七	一〇四

第二款保健

第一飲料水改良ニ就テ施行シタル事項

(1)井水水質検査

七月以降九月迄ノ間ニ於テ防疫上第一區域ト定メタル屍體檢案施行地域内ノ井水検査ヲ施行シ奈良市内ノ不良水使用者ニ對シテハ水道使用宣傳書ヲ配付シ水道ノ使用ヲ勸奨シ又高市磯城兩郡内ノ不良水使用者ニ對シテハ當廳吏員ヲ派シ家用水改良講話會ヲ開催シ其ノ改良ヲ促シタリ而シテ之カ成績ハ左記ノ通ナリ

水質検査表

市町村別	検査總數	試過	濾過	煮沸	濾過煮沸	不適
奈良市	二、三二六	一四一	三九	六一一	一四五	一、三九〇
高市郡	六八一	六五	一八	二〇二	八三	三三三
畝傍町	一、一五一	一六九	三九	四八六	一四〇	三二七
同	五二〇	五	一	九六	三三	三八五
同	四五四	一二	二二	九七	一五八	一六五
同	二九	一	一	五	八	一四
同	二七四	八七	三六	七五	四六	三〇
同	七九	三五	一〇	二六	五	三
同	三四九	四〇	六	一二四	六九	一一〇
同	一八二	三五	一〇	四三	三四	六〇
磯城郡	五五三	四八	四一	一八〇	一二四	一六〇
同	二四九	三一	七	一〇二	五九	五〇
同	三七	三	三	七	七	一七
同	六、八八四	六七二	二二三	二、〇五四	九一一	三、〇一四
計	六、八八四	六七二	二二三	二、〇五四	九一一	三、〇一四

(2) 水道水質検査

奈良市水道及其他郡部ニ所在スル簡易水道ノ水質検査ヲ時々施行シタルニ簡易水道中稍完全ナラサルモノアリタルヲ以テ是等ニ對シテハ速ニ改善方法ヲ講スヘク指示シタリ

第二 飲食物及同器具ニ就テ施行シタル事項

(1) 飲食物及同器具検査

飲食物及同器具ノ取締ニ就テハ警察官吏ヲシテ勵行セシムル外當廳ヨリ技術員ヲ派シ之カ取締ニ任シ又時々一齊收去ヲ行ヒ取締ヲ勵行セリ而シテ之カ成績ハ左記ノ通ナリ

(2) 飲食物營業者講習

飲食物ノ精撰及同器具ノ使用ニ付衛生上ノ注意ヲ喚起セシムル爲メ旅館、料理屋及飲食店營業者ニ對シ衛生講習ヲ行フ而シテ之カ成績ハ講習開催回数二五回講習生一、九一二人ナリ

第三 水槽便所ニ就テ施行シタル事項

縣下ニ所在スル水槽便所ニ對シ一齊検査ヲ施行シタルニ其ノ成績左記ノ通ニシテ使用不適ノモノニ就テハ適當ナル改善方法ヲ指示シ以テ淨化ノ完全ヲ期スルコトトセリ

水槽便所表

所在地	設置ヶ所數	試験延回数	成績	
			使用適	使用不適
奈良市	一一	二二	一	一一
生駒郡山町	三	六	一	六
吉野郡上市町	三	六	二	四
南葛城郡御所町	一	一	一	一
計	一八	三五	三	三二

第三款 家畜防疫

第一 狂犬病豫防ニ就テ施行シタル事項

(1) 畜犬豫防注射

五月以降十月迄ノ期間ニ於テ縣下ノ僻陬地ノ一部ヲ除ク地域内ノ畜犬ニ對シ當廳ヨリ獸醫ヲ派シ狂犬病豫防注射ヲ施行シ以テ豫防ノ徹底ヲ期シタリ

而シテ之カ施行頭數ハ四千六百十五頭ナリ

(2) 野犬掃蕩

野犬ノ掃蕩ニ就テハ特ニ意ヲ用ヒ畜犬豫防注射施行以前ニ捕獲人夫ヲ雇備シ縣下樞要ノ市町村ヲ巡回セシメタル外御大禮關係府縣ノ打合ニ依リ十月一日ヨリ七日間ヲ狂犬病豫防週間ト定メ浮浪犬ノ掃蕩畜犬ノ整理ヲ行ヒタルニ其ノ成績捕獲總頭數六〇九内所有者ニ返還シタルモノ九六、殺處分シタルモノ五一三ナリ

(3) 咬傷犬ノ檢診

狂犬病ノ豫防ニ就テハ既掲ノ畜犬ノ豫防注射ト野犬ノ掃蕩及畜犬ノ整理ト併セ行フ外狂犬ノ發見方法トシテ人畜ヲ咬傷シタル犬ハ其ノ所有者又ハ保管者ヲシテ所轄警察署ニ索行セシメ配屬獸醫ヲシテ檢診ヲ行ハシメ以テ其ノ早期發見ヲ期セリ而シテ之ニ關スル成績ハ檢診頭數三百二十頭、内狂犬病三頭、其ノ被咬傷者十二名、狂犬ニ非サルモノ三百十七頭、其ノ被咬傷者三百二十六名ナリ

(4) 畜犬ノ強制繫留

行幸啓當日御沿道ニ畜犬ノ浮浪スルコトナキヲ期スル爲メ十一月十七日ヨリ一週間全縣下ノ畜犬ハ飼育者ニ於テ繫留スヘク縣令ヲ公布シ當廳員ヲシテ其ノ實況ヲ監視セシメタリ

第二 其ノ他家畜傳染病豫防ニ就テ施行シタル事項

(1) 炭疽豫防注射



献上品消毒件數及同上關係者檢診成績

献上品種類	檢診		總數
	献上者	同上家族同居者	
晒布、墨、奈良人形等二十三種	二七	一〇一	六三
			同上家族同居者
			献上品製作従事者
			同上家族同居者
			計
			四四〇

上覽品消毒件數及同上關係者檢診成績

上覽品稱類	檢診		總數
	上覽品出願者	同上家族同居者	
吉野袋模型、奈良漬、奈良團扇等三十九種	五六	二二七	一三七
			同上家族同居者
			同上家族同居者
			計
			四八七

衛生費 四、一四〇圓  
 內 譯 費 八四二圓  
 應 費 三九二圓  
 內 國 旅 費 二、九〇六圓  
 雜 給 及 雜 費

(7) 三重縣

(一) 御大禮ニ關スル衛生上ノ經費

國 費 九、七三八圓  
 衛生費 一八、六九六圓  
 縣 費  
 內 譯 費 二、三五八圓  
 衛生費 一五、一〇六圓  
 傳染病豫防費 二三二圓  
 衛生宣傳費 一、〇〇〇圓  
 鼠族買收費補助

(二) 御大禮ニ關シ特ニ發シタル衛生上ノ令達、通牒

三重縣諭告第一號

今上陛下御即位ノ大典ニ際シ畏クモ本縣へ行幸アラセラレ神宮御親謁遊サレ給フハ洵ニ無上ノ光榮ニシテ恐懼ニ堪ヘサル處ナリ故ニ豫メ衛生上諸般ノ準備ヲ整ヘ萬事間然スル處ナキヲ期スヘキハ勿論特ニ縣下衛生狀態ノ改善ヲ圖リ惡疫ノ豫防撲滅ニ努メ須ク縣民ノ健康ヲ保持シ以テ風聲ヲ迎ヘ奉ラサルヘカラス依テ左ニ一般衛生心得ヲ示ス宜シク斯ノ趣旨ヲ體シ各自相慎ミ隣保相警メテ益々衛生ノ向上ニ留意シ毫モ遺漏ナキヲ期セラルヘシ

昭和三年六月十八日

三重縣知事 原 田 維 織

一般衛生心得

- 一、朝夕家屋ノ内外ヲ掃除シ戸障子ヲ開放シテ室内ノ通氣並ニ乾燥ヲ圖ルコト
- 二、臺所ハ常ニ能ク整頓スルト共ニ清潔ニ掃除シ日光ノ直射ヲ多クスルコト
- 三、井戸端、流シ場ニ損所アラハ修繕ヲ爲スコト
- 四、汚水溝ハ常ニ能ク疏通セシメ汚水溜ハ充溢セサル様注意スルコト
- 五、塵芥ハ焼却スルカ又ハ無害ノ地ニ棄ツルコト
- 六、蚊蠅、蚤、鼠等ハ傳染病ノ病毒ヲ媒介スルニヨリ努メテ之ヲ驅除スルコト
- 七、飲料水ノ検査成績不良ナルモノハ相當改善ノ方法ヲ講スルコト
- 八、流レ水ヲ使用セサルコト
- 九、飲食物ハ腐敗シ居ラサルヤニ注意シ殊ニ前日調理シタルモノ又ハ不熟ノ果物ハ食セサルコト
- 十、飲食物ニハ必ス覆蓋ヲ爲シ風通シヨキ場所ニ置クヘシ
- 十一、暴飲暴食セサルコト
- 十二、適度ニ働キ適度ニ飲食シ適度ニ睡眠スルコト
- 十三、身體ハ常ニ清潔ニスルコト
- 十四、常ニ用ヒル被服ハ屢洗濯シ夜具ハ時々日光ニ曝スコト
- 十五、寝冷セサル様注意スルコト
- 十六、身體ニ異狀アルトキハ速ニ醫師ノ診療ヲ求ムルコト
- 十七、警察官吏又ハ檢疫委員ヨリ自己又ハ家人ノ健康状態ニ付尋ネラレタルトキハ正直ニ答フルコト
- 十八、定期種痘ノ済マサルモノハ此際速ニ種痘ヲ受ケ其ノ他ノ者モ成ルヘク臨時ニ種痘ヲナスコト

十九、熱病又ハ下痢病ノ患者アル家ニ在リテハ其ノ病名確定スル迄左記事項ニ注意スルコト

- イ、病人看護人ハ病室ヨリ出テシメサルコト
- ロ、寝具、飲食器具ヲ一定シ置クコト
- ハ、井戸端又ハ河川溝渠ニテ汚物ヲ洗ヒタル水ヲ流ササルコト
- ニ、病人ノ糞尿其ノ他排泄物ハ消毒スルコト
- ホ、成ルヘク他家ト交通ヲ遠慮シ殊ニ飲食物ノ贈呈又ハ響應ヲ爲ササルコト
- 二十、麻疹、流行性感胃、流行性耳下腺炎、流行性腦炎ニ罹リタルトキハ成ルヘク他ト交通セサルコト
- 二十一、衛生上ニ關シ當該吏員ヨリ注意アリタルトキハ之ヲ實行スルコト

三重縣訓令甲第二十五號

警 察 署  
市 役 所  
町 村 役 場

今秋即位ノ大典ヲ行ハセラレ畏クモ神宮御親謁ノ爲メ本縣ヘ行幸啓アラセラル、ニ付テハ衛生状態ノ改善ヲ圖リ縣民ノ健康ヲ保持シ以テ風聲ヲ迎ヘ奉ラサルヘカラサルヲ以テ一般ニ諭告スル處アリタルモ其ノ施設監督ニ關シテハ左記注意事項ニ準據シ各主管ノ事務ニ執掌シ其ノ官公署ニ關係スル事務ニ付テハ互ニ協心協力シ土地ノ狀況ヲ參酌シテ緩急宜シキヲ制シ以テ縣下衛生上毫モ間然スル所ナカラシムル様嚴密督勵スヘシ

昭和三年六月十八日

三重縣知事 原田維織

左記注意事項ハ大體内務省通牒大禮衛生施設事項ニ準據シタルモノニツキ省略

三重縣訓令乙第二一九號

四日市警察署	津警察署	宇治山田警察署
津市役所	四日市市役所	宇治山田市役所
度會郡大湊町役場	同郡二見町役場	同郡四鄉村役場
同郡濱鄉村役場	同郡御蔭村役場	同郡豐濱村役場
同郡北濱村役場	同郡小俣村役場	志摩郡鳥羽町役場

大典ニ關スル衛生施設監督ニ關シテハ本日發布セル訓令甲第二十五號ニ依ルノ外更ニ左記事項ヲ遵守スルコトニ努ムヘシ  
昭和三年六月十八日  
三重縣知事 原田 維 織

第一、飲料水ニ關スル件

一、宇治山田市、度會郡神社町、大湊町、二見町、四鄉村、濱鄉村、御蔭村、志摩郡鳥羽町ニ於ケル井戸ハ此ノ際必ス浚渫セシムルコト  
二、宇治山田市及其ノ附近町村中必要ト認ムル地域ニ對シ飲料水ノ適否ヲ検査シ不良水ニ對シテハ相當改善ノ方法ヲ講セシムルコト

三、第一號市町村ノ井戸ハ浚渫後「クロール」石灰消毒方法ヲ施行セシムルコト

第二、清潔 保持

一、津市、宇治山田市、四日市市及度會郡神社町、二見町志摩郡鳥羽町ニ於テハ溝渠ノ下水溝等ノ破損セル箇所ハ之ヲ改築又ハ修繕セシメ且ツ屢々浚渫又ハ掃除ヲ行ハシムルコト

二、宇治山田市、度會郡神社町、大湊町、二見町、四鄉村、濱鄉村、御蔭村、志摩郡鳥羽町及四日市市ニ於テハ本年六月以降十月ニ至ル期間ニ於テ臨時清潔方法ヲ施行セシムルコト

三、宇治山田市ニ於ケル汚物ノ運搬ハ之カ取締ヲ勵行シ尿尿ハ午前九時迄ニ之ヲ搬出セシムルコト

第三、街路撒水ニ關スル件

一、宇治山田市ニ於テハ街路ニ對シ撒水ヲ勵行セシムルコト

二、度會郡神社町、大湊町、二見町、志摩郡鳥羽町ニ於テハ成ルヘク撒水ヲ勵行セシムルコト

第四、塵芥處分ニ關スル件

一、宇治山田市及四日市市ニ於テハ成ルヘク完全ニ塵芥ヲ處置スルコト

二、塵芥ノ運搬ニ注意シ途中散亂セシメサルコト

第五、共同便所ニ關スル件

一、宇治山田市ニ於テハ共同便所ニ點燈ノ設備ヲ完全ニ且ツ尿尿ハ午前九時迄ニ之ヲ搬出セシムルコト

二、宇治山田市ニ於テハ雑踏スル場所ニアル便所ニ番人ヲ附シ又ハ看守人ヲシテ巡回セシムル等適當ノ方法ニ依リ之カ清潔保持ニ努メ且ツ必要ニ應シ臨時便所ヲ假設セシムルコト

第六、衛生上取締ヲ要スル各種營業者ニ關スル件

一、津市、宇治山田市及四日市市ニ於ケル市場ニハ相當ノ掃除人ヲ常設セシムルコト

二、津市、宇治山田市及四日市市ニ於テハ飲食物調理所ノ採光ヲ充分ナラシメ且ツ防鼠、防塵、防蠅ノ設備ヲ完全ナラシムルコト

三、宇治山田市及度會郡二見町、志摩郡鳥羽町ニ於ケル旅人宿ノ浴場ニハ成ル可ク上リ湯ヲ設備セシムルコト

第七、防疫ニ關スル件

一、一般傳染病

(イ)宇治山田市ニ於テハ檢病戸口調査ヲ勵行シ疑ハシキ患者ノ檢診ヲ行フコト

(ロ)宇治山田市ハ度會郡神社町、二見町、志摩郡鳥羽町ニ於テハ死體檢案ヲ施行スルコト但シ施行ノ期日ハ別ニ公布ス

(ハ)四日市市ニ於テハ檢診檢案ヲ一層周密ニ督勵スルコト

二、「ベスト」豫防ニ關スル件

(イ)左記市町村ニ對シテハ適當ノ時期ニ於テ殺鼠劑ヲ配布シ鼠族ノ買收ヲナスコト

宇治山田市、度會郡二見町及志摩郡鳥羽町、津市、四日市市

(ロ)買收シタル鼠族ハ指定ノ細菌検査所ニ送付スルコト

(ハ)四日市市ニ於テハ必要ト認ムル倉庫其ノ他ノ建築物並船艀ニ對シ防鼠劑設備ヲナサシメ且ツ持續的除鼠ヲ行ハシムルコト

三、勝「チフス」豫防

(ニ)四日市以外ノ地ニアル倉庫ニシテ必要ト認ムルモノニ對シテハ前項ニ準シ施行スルコト

(イ)宇治山田市、度會郡神社町、大湊町、二見町、四鄉村、濱鄉村、御菌村、豐濱村、北濱村、小俣村及志摩郡鳥羽町ニ於ケル大正十五年以降本年六月ニ至ル患家族並接客業者ニ對シ病原體保有者檢索ヲ行フコト

(ロ)前項ノ市町村住民全部ニ對シ豫防注射ヲ施行スルコト

(ハ)腸「チフス」豫防班ヲ組織シ(イ)號地域ニ於ケル患者ノ早期發見ニ努ムルコト

海港防疫施設

一、「ベスト」關係施設事項

第一、倉庫防鼠設備

(イ)倉庫防鼠設備施行ノ範圍ハ左ノ區分ニ依ル

1. 沿岸倉庫

外航船ニ直接關係アル地域ニアル倉庫

2. 準沿岸倉庫

前號以外ノ地域ニアリテ外來貨物ヲ第一次ニ收納スル倉庫但シ本號ニ該當セサル倉庫ト雖モ必要ト認メタルモノハ準沿岸倉庫ト見做ス

岸倉庫ト見做ス

3. 防鼠設備ハ穀類穀粉類、豆粕、有機性肥料其ノ他鼠ノ食料タリ得ル物件並ニ綿花類ヲ收納スル倉庫ニ限り施行ス但シ本號以外ノ倉庫ト雖モ必要ト認メタルモノハ之ヲ施行ス

4. 上屋倉庫ニシテ全體ノ構造狀況等ヲ考慮シテ普通ノ防鼠設備ヲナシ得テ相當ノ效果ヲ擧ケ得ル見込アルモノハ倉庫ニ準シテ之ヲ取扱フ

(ロ)(イ)號ノ標準ニ依リ沿岸倉庫ヲ別表第一號表ノ如ク定ム

(ハ)(イ)號2ノ標準ニ依リ準沿岸倉庫ヲ別表第二號表ノ如ク定ム

(ニ)沿岸倉庫ニ對シ施設セシムヘキ防鼠施設ハ概要左記ニ依ルモノトス

1. 戸扉、窓、土臺廻リ其ノ他破損等ニ依リ鼠ノ交通シ得ル如キ場所ハ完全ニ修理スルコト

2. 内部地盤カ非防鼠材料ナルトキハ「コンクリート」漆喰叩キ其ノ他防鼠材料ニ改ムルヲ理想トスルモ止ムヲ得サルトキハ板張りナレハ腐朽部其ノ他苟モ鼠ノ交通スル穴ヲ造ラルル虞アル部分ヲ完全ニ修葺シ土間ナレハ厚サ凡ソ一尺前後ニ小石砂利ノ類ヲ敷クカ止ナクハ鼠穴ヲ搜索シ砂利ノ類ニテ充分填塞スルコト

3. 外壁カ非防鼠材料ナルトキハ地上凡ソ三尺地下二尺ヲ防鼠材料トスルカ或ハ亜鉛板ヲ圍繞及埋沒スルコト

但シ内部地盤ハ「コンクリート」「アスファルト」煉瓦等ニテ鼠ノ潛入不可能ナルモノハ地上部ノ亜鉛板張りノミニテ可ナリ

4. 外壁ノ戸扉カ完全ニ閉鎖セラレ又ハ其ノ他ノ狀況ニテ鼠ノ潛入シ得サル設備アルモノノ外ハ鼠返シヲ設備セシムルコト

5. 鼠返シハ成ル可ク兩柱間ニ嵌挿スル式トシ外ニ對シテハ六十度前後ノ角度ヲ保チ高サハ二尺以上トシ外面ハ金屬板ニテ滑澤ナルモノトスルコト衝立式ハ裝置ノ際不注意ノ結果輒モスレバ兩側ニ空隙ヲ造リ易キ等ノコトアル故成ルヘク避ケルコト

兩側ノ柱ニハ亜鉛板ヲ張ルカ又ハ「コイルタール」ヲ塗ルヲ可トス

6. 鼠返シハ夜間ハ勿論晝間ト雖モ入口使用時ノ外ハ常時之ヲ嵌挿シ置クコト  
夕夜間荷役ノ際ハ荷役中強力ナル燈光ヲ以テ其ノ入口ヲ照射スルコト

(ホ)準沿岸倉庫ニ對シ施設セシムヘキ防鼠設備ハ沿岸倉庫ニ準シ出來得ル丈ケ之ヲ勵行セシム  
但シ止ムヲ得サルモノニ對シテハ1號ノ事項ノミヲ施行セシメ特ニ除鼠施設ヲ勵行シテ之ニ代ラシムルモノトス

(ヘ)實行方法

1. 沿岸倉庫ニ對シテハ係員並ニ各關係者立會ノ上實地調査ヲ遂ゲ前記(二)ノ各號ノ實行具體的方法ヲ協議シ竣工期間ヲ定メテ實施スヘキ事項ヲ倉庫責任者ニ通達シ之カ實施ヲ期スルコト
2. 準沿岸倉庫ニ對シテハ係員ヲシテ改修ヲ要スル個所ヲ實査セシメ之ヲ倉庫責任者ニ通達スルト同時ニ(二)各號ノ印刷物ヲ配布シ其ノ1.4.5.6.7號ハ之ヲ勵行セシメ2及3號ハ成ルヘク之カ實行方法ヲ勸奨スルコト
3. 國有、縣有、市有等ノ倉庫ニ對シテハ各其ノ主管者ニ於テ具體的方法及費用概算等ヲ作製シ内務省出張員ト協力シ夫々稟議協議等ヲナシ之カ實現ヲ期スルコト
4. 沿岸倉庫防鼠設備竣工期間ハ左ノ標準ニ依ル但シ準沿岸倉庫ハ之ニ準ス  
小改修ト認ムルモノハ十四日以内  
大改修ト認ムルモノハ二箇月以内
5. 實行ノ成績監視ハ縣衛生課員臨時海港檢疫所員ニ於テ豫テ協議又ハ通達シタル要項ニ對照シテ巡視ヲナシ其ノ成績ハ一週間毎ニ取纏メ毎月曜日ニ到達スル如ク警察部長宛報告シ縣ハ之ヲ毎火曜日内務省衛生局(飯村防疫官)宛報告スルコト

第二、除鼠施設

- (イ)沿岸地區(外航船ノ直接繫船又ハ之ニ準スル範圍ニテ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シ)トシテ別表第三號ノ通り定ム
- (ロ)準沿岸地區(沿岸地區ニ隣接スル地帯及準沿岸倉庫所在地ノ範圍ニテ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シ)トシテ別表第四號ノ通り定ム

(ハ)沿岸地區及準沿岸地區内ニ於ケル倉庫及建物ヲ便宜上左ノ三階級ニ區別ス

A級外壁床等カ石煉瓦「コンクリート」等ノ防鼠材料ニテ築造セラレ鼠ノ棲息殆トナク且戸扉ヲ閉チタル時鼠ノ出入全ク不可能ナルモノ

B級外壁カ前記防鼠材料ナルモ床ハ土間又ハ板張りニテ通常ノ場合ハ鼠ノ交通不可能ナルモ建物古クシテ鼠棲息シ且處々ニ鼠交通ノ穴アル如キモノ

C級外壁及床共非防鼠材料ニテ建物古ク小修繕スルモ常時到底鼠ノ交通ヲ絶ツコト不可能ナル如キモノ  
前各級ノ内鼠ノ食料タル物件又ハ棉花類ヲ收納セサル倉庫納屋等及人ノ住居ナキ等ニテ鼠ノ全ク棲息セサルモノハ之ヲ除外ス

(ニ)沿岸及準沿岸地區ニ對シテハ殺鼠劑ノ配付及捕鼠器ノ引上回收ヲ左ノ如クスルコト

殺鼠劑配布	沿岸地區		備防鼠階級	準沿岸地區	
	捕鼠器配置	殺鼠劑配布		捕鼠器配置	殺鼠劑配布
月一回二十坪ニ對シ 五個ノノノ	一倉庫又ハ一戸	A級	月一回二十坪ニ對シ 五個ノノノ	一倉庫又ハ一戸	
月二回二十坪ニ對シ 十個ノノノ	三—五個	B級	月一回二十坪ニ對シ 十個ノノノ	二—三個	
月三回二十坪ニ對シ 二十個ノノノ	三—五個	C級	月二回二十坪ニ對シ 二十個ノノノ	二—三個	
倉庫ニ對シテハ亞硫酸 劑ヲ用フ捕鼠班	毎日毎ノ交換ヲナス一 班ヲ用フ		倉庫ニ對シテハ亞硫酸 劑ヲ用フ捕鼠班	二日毎ニ毎ノ交換ヲナ ス二班ヲ用フ	

(ホ)捕鼠器ハ倉庫及特種營業者ニ配置シ一般住家ニ對シテハ必要ト認ムルモノニ配置ス

(ヘ)殺鼠劑及捕鼠器ハ大約右ノ標準ナルモ鼠糞ノ數及新舊並鼠穴ノ多少其ノ他鼠ノ棲息ノ多少ヲ推測參酌シテ取捨配置スルコト



- (ト) 殺鼠劑ハ縣及市ニ於テ製造無償交付ス
  - (チ) 捕鼠器及餌ハ縣並市ニ於テ準備ス
  - (リ) 沿岸地區並準沿岸地區ノ護岸及之ニ接續スル場所ニテ破損其ノ他ニ依リ鼠ノ遁入潜行シ得ル狀況ノモノハ成ルヘク之ヲ修理填塞シ止ヲ得サルモノニ對シテハB級ニ準シ殺鼠劑捕鼠器ノ配置ヲナス
  - (ヌ) 沿岸地區並準沿岸地區ノ運河ニ繫留スル舢舨其ノ他ノ和船ニシテ鼠棲息ノ疑アルモノニ對シテハ荷揚前及後ニ於テ捕鼠班監督ノ下ニ荷受主又ハ倉庫業者ヲシテ殺鼠劑ヲ配布セシム
  - (ル) 殺鼠劑ノ配布及捕鼠器ノ配置ハ捕鼠班ニヨリ之ヲ施行ス
  - (ヲ) 除鼠實施狀況ハ衛生課ヘ日報スルコト縣ハ毎火曜日之ヲ内務省衛生局(飯村防疫官)宛報告スルコト
  - (ワ) 除鼠の清潔方法ヲ二箇月毎ニ行ハシム
- 第三、船塵及荷粉
- (イ) 船塵ハ荷受主ヲシテ燒却セシム
  - (ロ) 倉庫等ノ荷粉ニシテ殆ント塵芥ニ屬スルモノ及必要ト認ムルモノハ之ヲ燒却セシム
- 第四、市ニ對スル施設
- (イ) 殺鼠劑配布
  - 七、九、十一月ノ三回配布ス
  - 四日市市ニ於テハ右ノ外自衛的ニ七月ヨリ十一月ニ至ル期間六回ノ配布ヲナス
  - (ロ) 除鼠獎勵ノ爲メ懸賞買収ヲナス
  - 買収頭數五千頭(或ハ三千頭)毎ニ抽籤ニヨリ勸業債券ヲ交付ス
  - (ハ) 清潔方法
  - 八月或ハ九月ニ於テ除鼠ノ目的ヲ以テ全市ニ清潔方法ヲ行フ

(ニ) 一般ニ除鼠獎勵ノ宣傳ヲナス

### 二、「コレラ」關係施設事項

- 一、檢疫所ノ整備
- (イ) 檢疫所ノ試験室ニ於テハ「コレラ」材料検査ニ必要ナル器具藥品及免疫血清類ヲ常ニ差支ナキ様準備スルコト
- 二、港内汚染防止勵行
- (イ) 近接海外地方ニ流行又ハ流行ノ虞アルトキハ其ノ地方ヨリ直接入港スル船舶ニ對シ入港中便所封鎖ヲ命シ糞便検査開始後ニ於テハ該検査全部終了迄便所封鎖ヲ命スルコト之カ開始ノ時期ハ内務省出張員ト協議シテ定ムルコト
  - (ロ) 常時塵埃投棄等ニ對スル取締ヲ一層勵行スルコト
- 三、豫防注射ノ施行
- (イ) 水上生活者(沖仲仕、沖行商、繫船船舶ニ出入スル仲仕ノ類ヲ含ム)ニ對スル「コレラ」豫防注射開始ノ時期ハ内務省出張員ト協議シテ之ヲ定ムルコト
  - (ロ) 注射ハ二回注射トシ(第一回ニ密瓦、第二回密瓦)第一回注射ハ漏レナク施行スルコト
  - (ハ) 注射證明書ハ別紙様式ノモノヲ交付ス
  - (ニ) 豫防注射施行ハ水上生活者中先ツ外國船關係者ヲ先ニシ次ヲ沿岸漁業者其ノ他ニ及ホスヘキモ場合ニヨリ卒急ニ行ヒ易キ方面ヨリ行フモ差支ナキコト
  - (ホ) 豫防注射實施ハ醫師一人、防疫監吏又ハ看護婦一人警察官吏一人ヲ以テ一班トス
- 以上ノ準備調査トシテ各水上生活者ノ種類員數及注射施行豫定期日割等ヲ作製シ置クコト
- (ハ) 前記ノ注射施行後海外流行地ノ狀勢ニ依リ四日市市ノ水上生活者全部ニ及ホシ第三次ニハ隣接地方ノ水上生活者ニ及ホス
- 注射施行ノ時期及範圍等ハ内務省出張員ト協議シ之ヲ定ムルコト

四、協議事項ノ決定

以上全部ノ協議事項ハ左記ノ範圍ノ責任者相會合決定シ更ニ倉庫關係業者ト會同協議ヲナシ各々協力シテ之カ實行ヲ期ス  
 内務省出張員(飯村防疫官)

三重縣警察部衛生課

四日市臨時海港檢疫所

四日市警察署

四日市市役所

(第一號表)

沿岸倉庫	戸前數	在庫品	所在地	所有者
二二二	一一六	雜貨・亞鉛板棉 花・米棉・フスマ モロコシ	末廣町	縣營倉庫外四會社

(第二號表)

準沿岸倉庫	戸前數	在庫品	所在地	所有者
一二七	二二二	肥料・雜貨 其他	尾上町・高砂町・稻葉町 藏町・北中南納屋町・西 末廣町・濱町・新濱町	省略

第三號表(附圖略ス)

沿岸地區

末廣町(第一號築港埋立地)及千歲町(第二號築港埋立地)ノ全部ヲ沿岸地區トス

第四號表

準沿岸地區

關西線鐵道線路以東三瀧川ト阿瀬知川及其ノ下流新運河ニ挾マレタル地帯及三瀧川北岸東洋紡績工場(寄宿舎ヲ含ム)ヲ  
 加ヘタル地區ヲ準沿岸地區トス

即チ濱町、北納屋町、藏町、中納屋町、桶三町、袋町、濱田ノ一部、南納屋町、西末廣町、尾上町、高砂町、稻葉町及

新濱町ノ一部ヲ包含スル地帯ニシテ人家約千五百戸

三重縣令第六十六號

傳染病豫防ノ爲メ傳染病豫防法第十九條ニ依リ當分ノ内左記區域内ニ於ケル病死者ニ對シ死體檢案ヲ施行ス

昭和三年七月二十八日

三重縣知事 原田維織

津市

四日市市

宇治山田市

度會郡二見町

志摩郡鳥羽町

附則

本令ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年十月三重縣令第二十七號ハ之ヲ廢止ス

衛生係事務分掌

總務部

一、各部事務ノ連絡統一ニ關スル事項

二、人事ニ關スル事項

三、文書起案、文書往復ニ關スル事項

- 四、御駐泊所等出入者ニ關スル事項
- 五、其ノ他各部ニ屬セサル事項

保健部

- 一、御料水ニ關スル事項
- 二、御料食品ニ關スル事項
- 三、飲料水ニ關スル事項
- 四、飲食物取締ニ關スル事項
- 五、其ノ他保健衛生ニ關スル事項

防疫部

- 一、御駐泊所、行在所ノ消毒ニ關スル事項
- 二、皇族、供奉員、旅館消毒ニ關スル事項
- 三、其ノ他清潔方法消毒方法ニ關スル事項
- 四、死體檢案ニ關スル事項
- 五、細菌檢査ニ關スル事項
- 六、其ノ他一般防疫ニ關スル事項

豫防部

- 一、檢病的戸口調査ニ關スル事項
- 二、健康診斷ニ關スル事項
- 三、豫防注射ニ關スル事項
- 四、其ノ他一般豫防ニ關スル事項

海港防疫部

- 一、ペスト豫防ニ關スル事項
- 二、コレラ豫防ニ關スル事項
- 三、其ノ他海港防疫ニ關スル事項

家畜防疫部

- 一、狂犬病豫防ニ關スル事項
- 二、炭疽病防ニ關スル事項
- 三、其ノ他家畜傳染病ニ關スル事項

救護部

- 一、救護所ニ關スル事項
- 二、移動救護班ニ關スル事項
- 三、其ノ他救護事務ニ關スル事項

衛生係事務分擔表

係長	衛生課長	加納	地方技師	栢原直次郎
總務係		加納	衛生主事	一二名
保健係		廣瀬	衛生技師	一四名
防疫係		鈴木	衛生技師	一八名
豫防係		山口	衛生技師	一六名
海港防疫係		加納	衛生主事(兼)	八名
家畜防疫係		永井	技師	七名

救護係

前原防疫醫

外 一五名

三重縣令第六十七號

麻疹、流行性感胃、流行性耳下腺炎、流行性腦炎患者届出ニ關スル件左ノ通定ム

昭和三年七月二十八日

三重縣知事 原田 維 織

第一條 醫師麻疹、流行性感胃、流行性耳下腺炎、流行性腦炎患者ヲ診斷シ若ハ其ノ死體ヲ檢案シタルトキハ直ニ書面又ハ口頭ヲ以テ患者又ハ死體所在地ノ警察官吏ニ届出ツヘシ其ノ轉歸ノ場合亦同シ

第二條 麻疹、流行性感胃、流行性耳下腺炎、流行性腦炎又ハ之ニ疑ハシキ患者アリタル家ニ於テハ速ニ醫師ノ診斷ヲ受ケ又ハ其ノ戶主首長若ハ之ニ代ルヘキ者ヨリ直ニ患者所在地ノ警察官吏ニ届出ツヘシ

第三條 醫師麻疹、流行性感胃、流行性耳下腺炎、流行性腦炎患者ヲ診斷シ若ハ其ノ死體ヲ檢案シタル後十二時間以内ニ届出ヲ爲ササルトキ及第二條ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

「ベスト」豫防上殺鼠劑交付方ニ關スル件

本年六月訓令乙第二一九號ニ依リ配布スヘキ殺鼠劑交付候條之カ配布其ノ他ノ施設ニ關シテハ左記ニ依リ萬遺漏ナキヲ期セラレヘク此段依命及通牒候也

殺鼠劑ノ製造配布ニ關スル事項

一、殺鼠劑ハ亞砒酸劑及燐劑ヲ配布ス但シ倉庫、納屋、護岸、石垣、船舶ニ對シテハ亞砒酸劑ノミヲ配布スルコト

二、解毒藥ハ第一回殺鼠劑ノ交付ト同時ニ交付ス

三、殺鼠劑ノ配布ハ當該市役所及町役場ニ於テナスコト所轄警察署ニ於テハ配布ニ關シ市役所並ニ町役場ト協商シ之カ監督ニ當ルコト

四、解毒藥ノ配置個所ニ就テハ特ニ適當ノ場所ヲ撰定シ且ツ一般ニ其ノ位置ヲ知ラシメ置クコト

殺鼠劑取扱心得

一、殺鼠劑ハ毒藥ヲ配合シアリテ極メテ危險ナルモノニ付取扱ニ充分注意スヘシ

一、殺鼠劑ハ○丸形ト□角形トノ二種アリ

○形ハ天井裏ニ配リ置ク事

□形ハ床下ニ配リ置ク事

一、殺鼠劑ヲ受取リタル時ハ其ノ儘ニナシ置カス直チニ小兒ノ手ノ届カヌ天井裏ト床下ヘ配リ置カルヘシ

一、此殺鼠劑ハ如何ナル場合ト雖モ決シテ火ノ中ニ投スヘカラス

一、犬、猫、鶏等ノ殺鼠劑ヲ喰ヘサル様注意セラルヘシ

一、當分ノ内飲用水ニ蓋ヲナシ井戸水瓶等ヘ鼠ノ落チヌ様注意シ又飲食物ハ必ス戸棚等ニ仕舞置カルヘシ猶殘飯並ニ副食物ノ

殘餘ハ必ス覆蓋アル一定ノ容器ニ收メ若ハ適當ノ方法ニヨリ處置スル等之ヲ鼠ニ食セシメサル様注意スヘシ

一、殺鼠劑ハ一度配リ置キタル位置ハ猥リニ變更スヘカラス

一、誤ツテ本劑ヲ口ニ入レタルトキ又ハ中毒ノ疑アル時ハ吐出スカ或ハ微温湯ニ少量ノ食鹽ヲ入レ之ヲ多量ニ飲用シ指頭ヲ口

内深ク挿入シ咽喉ヲ摩擦シテ吐出シ尙二、三回之ヲ行ヒ次ニ玉子ノ白味(黃身ヲ除クコト)七、八個分又ハ葛湯ヲ多量ニ飲用

セラルヘシ而シテ其ノ間ニ醫師ヲ招キ治療ヲ受ケ警察署巡查派出所又ハ市役所町村役場等ニ備付アル解毒藥ヲ求メラルヘシ

第一表

殺鼠劑所要總數

亞砒酸製殺鼠劑

百參拾萬八百五拾個

燐製殺鼠劑

七拾參萬六千四百五拾個

第二表

殺鼠劑及解毒藥交付先及交付時期

交付先	殺鼠劑交付時期	解毒劑交付時期
四日市々役所	第三表ニ依リ製造場ニ於テ交付	第一回殺鼠劑交付時
宇治山田市役所	九月 十月	同
度會郡二見町役場	九月 十月	同
志摩郡鳥羽町役場	九月 十月	同
津市役所	九月 十月	同

第三表 市町別所要量

市町別	亞砒酸劑(個)			燐劑(個)			解毒藥劑		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
四日市市	六三五	五〇〇		二九一	五五〇		一五	(各劑)	
宇治山田市	二八三	八一〇		一八八	五四〇		一五	(同)	
度會郡二見町	二六	七六〇		一七	八四〇		五	(同)	
志摩郡鳥羽町	四五	〇〇〇		三〇	〇〇〇		七	(同)	
津市	三二二	七八〇		二〇八	五二〇		一八	(同)	
計	一、三〇〇	八五〇		七三六	四五〇		六〇	(同)	

第四表 各月配布時期一覽(〇印ハ配布期ヲ示ス)

沿岸地帯	沿岸地帯			標準地帯			其ノ他ノ地帯	宇治山田市、二見町、鳥羽町、津市	八月上旬	八月中旬	八月下旬	九月上旬	九月中旬	九月下旬	十月上旬	十月中旬	十月下旬	十一月上旬	十一月中旬	十一月下旬	配布回数計		
	倉庫	A級	B級	C級	倉庫	A級																B級	C級
沿岸地帯	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇													四		
標準地帯	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇														二	
其ノ他ノ地帯									〇													三	
計																						八	
計																						四	
計																						四	
計																						四	
計																						二	

備考 船舶ニ配布スヘキモノハ月初ニ於テ調整逐次配布ノコト

第五表

月別所要量一覽

四日市	沿岸地帯	八月			九月			十月			十一月			計
		亞砒酸	燐	解毒藥	亞砒酸	燐	解毒藥	亞砒酸	燐	解毒藥	亞砒酸	燐	解毒藥	
沿岸地帯	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
標準地帯	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其他ノ地帯	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

殺鼠劑處分	亞砒酸製劑	
第一號	(主藥含量一個中〇、一五)	
一、亞砒酸	四五、〇〇	
一、小麥粉	五六、二五	
一、豆粉	一八、七五	
一、魚粉	七五、〇〇	
以上ノ内魚粉ノ三分ノ一ヲ去リ小麥粉ノ三分ノ一ヲ糊トナシ之ヲ以テ亞砒酸小麥粉ノ殘分豆粉魚粉ノ三分ノ二ヲ充分捏合シ三百個ノ團子トス然ル後大豆油ヲ以テ揚ケ豫メ去リ置キタル三分ノ一ノ魚粉ヲ以テ衣トス		
第二號	(主藥含量一個中〇、一一二五)	
一、亞砒酸	二二五、〇〇〇	
一、小麥粉	三三七、五〇〇	
一、麥焦粉	九三七、五〇〇	
一、糖密	一八七、五〇〇	

第十表

右〇、五%ノ食鹽水ニテ捏合シ二千個ノ團子トナシ麥焦粉ヲ以テ衣トス

第十一表

解毒藥所要量

皇族供委員實等宿舍主衛生心得	亞砒酸解毒劑		燐解毒劑
	甲液	乙液	
一、家屋内外ハ清潔ニ掃除シ宅地内ハ塵芥其他廢棄物等ヲ滯積セサル様注意スルコト	一五	一五	一五
二、襖障子ノ手掛其他必要ト認ムル個所ハ酒精ヲ以テ擦拭スルコト	一五	一五	一五
三、室内ハ清潔ヲ期スルハ勿論不在中ハ戸障子ヲ開放シ通風ヲ圖ルコト	七	七	七
四、寢具敷物等ハ清潔ニシテ日光ニ曝シタルモノヲ使用スルコト	一八	一八	一八
五、寢具其ノ他飲食用器具ハ本年一月以降傳染病發生シタル家又ハ肺結核癩其他傳染性疾患アル家ヨリ借入レサル様注意スルコト	六〇	六〇	六〇
六、寢具ノ敷布掛襟枕覆等ハ白布トシ清潔ノモノヲ用フルコト			
七、庖厨ノ作業ニ従事スル者及給仕ハ一定シ置クコト			
計	六〇	六〇	六〇

右〇、五%ノ食鹽水ニテ捏合シ二千個ノ團子トナシ麥焦粉ヲ以テ衣トス

第十一表

解毒藥所要量

皇族供委員實等宿舍主衛生心得

一、家屋内外ハ清潔ニ掃除シ宅地内ハ塵芥其他廢棄物等ヲ滯積セサル様注意スルコト

二、襖障子ノ手掛其他必要ト認ムル個所ハ酒精ヲ以テ擦拭スルコト

三、室内ハ清潔ヲ期スルハ勿論不在中ハ戸障子ヲ開放シ通風ヲ圖ルコト

四、寢具敷物等ハ清潔ニシテ日光ニ曝シタルモノヲ使用スルコト

五、寢具其ノ他飲食用器具ハ本年一月以降傳染病發生シタル家又ハ肺結核癩其他傳染性疾患アル家ヨリ借入レサル様注意スルコト

六、寢具ノ敷布掛襟枕覆等ハ白布トシ清潔ノモノヲ用フルコト

七、庖厨ノ作業ニ従事スル者及給仕ハ一定シ置クコト

- 八、傳染性疾患アルモノ又ハ他ノ疾患アルモノヲシテ飲食物ノ調理又ハ給仕ヲ爲サシメサルコト
- 九、家族其他雇人等ニ患者アルトキハ速ニ醫師ノ診断ヲ受ケ指示ニ從ヒ相當ノ措置ヲナスヘシ
- 十、料理人ハ身體衣服ヲ清潔ニ保持シ且ツ清潔ナル白衣又ハ白布ノ胸掛帽子等ヲ着用シ「マスク」ヲ使用スルコト
- 十一、食事ノ供給人ハ必ス供膳前石鹼及湯ヲ以テ手指ヲ洗滌シ且ツ含嗽スルコト
- 十二、食膳ニ供スルモノ及其他ノ飲食物ハ調理ヲ終リテ之ヲ提供スル迄覆蓋ヲ爲シ塵埃昆蟲類ノ附着ヲ防止スルコト
- 十三、飲食物ノ調理場ハ換氣採光ヲ充分ナラシメ常ニ清潔ヲ保持シ防塵防蠅ノ設備ヲナシ且ツ昆蟲ノ驅除ヲ爲スコト
- 十四、宿屋外ノ調理場ニアリテハ飲食物ヲ運搬スル場合ハ清潔ナル運搬器ニ收メ覆蓋ヲ完全ニシ塵埃昆蟲類ノ附着セサル様注意スルコト
- 十五、前號ノ運搬人ハ身體及被服ノ清潔ヲ保持スルコト
- 十六、飲食物用器具ニシテ珐瑯鍍錫ノ剝離セルモノ及銅若クハ其合金製ニシテ金屬固有ノ光澤ナキモノハ使用セサルコト
- 十七、井水不良ナルトキハ之ヲ使用セス係員ノ指定シタル良水ヲ使用スルコト
- 十八、煮燒ヲ要セサル飲食物ヲ洗滌スルトキハ煮沸水ヲ使用スルコト
- 十九、飲食物用器具ハ煮沸水ヲ以テ洗滌シ昆蟲類其ノ他塵埃等ノ附着セサル様覆蓋ヲ爲シ使用ノ間際ニ於テ熱湯ヲ灌クコト
- 二十、飲料水ハ勿論洗滌水（杯洗ノ水ニ至ル迄）ハ良水ヲ煮沸シテ使用スルコト
- 二十一、飲食物ハ腐敗ノ氣味ナキヤニ注意シ又前日調理シタルモノ若クハ不熟ノ果物又ハ潤濁セル「ビール」「サイダー」等ハ一切提供セサルコト
- 二十二、浴場洗面場及其附屬器具ハ使用前清潔ニ掃除シ且ツ洗面水ニハ煮沸シタルモノヲ用意シ置クコト
- 二十三、客室ノ廊下其他必要ナル場所ニ消毒藥（二十倍鹽酸加石炭酸水）ヲ入レタル適當個數ノ唾壺ヲ備ヘ毎日一回以上消毒及掃除シ置クコト
- 二十四、厠間ハ御投宿前之ヲ汲取リ且ツ糞壺中ニハ鋸屑穀殼切藁等ヲ適宜ニ投入シ液體ヲ溜メサル様ニシ便所ノ掃除ハ毎早朝一回之ヲ行ヒ同時ニ防臭劑ヲ撒布スルコト

但シ糞尿ハ充溢セサル様夜間汲取リ他所ヘ搬出スルコト

- 二十五、厠間ハ一般ト區別シテ戸ノ引手其他手掛ケ易キ個所ハ時々消毒スルコト、
- 二十六、手洗水ハ清水ヲ用ヒ流出手洗器ニ入レ置キ時々汲ミ替ルコト
- 二十七、下水其他汚物溜ハ停滞又ハ充溢セシメサル様清潔ニ掃除スルコト

衛發第七、四八九號

昭和三年八月六日

警 察 部 長

宇治山田警察署長宛

飲料水検査ニ關スル件

本月八日ヨリ其署管内ニ於ケル飲料水検査ノ爲メ技術員二名派遣ノ上施行可致候條別紙ニヨリ市長ト協議ノ上相當準備相成度候

衛第七、四八九號

昭和三年八月六日

警 察 部 長

宇治山田市長宛

飲料水検査ニ關スル件

今秋御舉行セラルル御即位大典ノ衛生施設中昭和三年六月十八日訓令第二一九號ニ基キ貴市ニ於ケル飲料水別紙ニヨリ検査施行可致候條可然御配意相成度此段及通牒候也

日 時 場 所

方	面	施行期日	検査事務所	検査豫定數	一日ノ検査能力 技術員一名
第一期	今在家町、館町	八月八日	元度會郡役所	一日百個	五
第二期	中ノ切町、浦田町、古市町 中在町、櫻木町、久世戸町				十
瓦上町、吹上町、岩淵町、 本町、豊川町、一志久保町、 八日市場町、宮後町、一ノ 木町、大世古町、曾禰町					個

注意事項

- 一、一般市民周知方法  
市又ハ警察署ヲ通シテ日時場所及検査容器(容器ハ當部ニ準備アリ)運搬方法検査後ノ注意事項等ヲ通知スルコト
  - 二、検査採酌巡視員  
市吏員又ハ關係者ヲシテ採酌セシムヘシ但検査採酌數ハ翌日検査能力ト同數ナルヘシ
  - 三、検査採酌方法及取集法  
試験ニ供スヘキ水ヲ採取スルニハ其際混入シ易キ不潔物ヲ防止スルヲ以テ第一要務トス然ラサル時ハ試験ノ結果不慮ノ成績ヲ生シ其目的ヲ達スルコト能ハサルヘシ
- 注 意
- イ、検査採酌用瓶(容器)ハ當部ノモノヲ貸與ス但止ムヲ得サル場合ハ「ビール」空瓶ヲ代用スルモ差支ヘナシ
  - ロ、容器ハ成ルベク「ソーダ水(洗濯ソーダ)」ニテ洗滌シ更ニ熱湯ニテ再ヒ洗滌シ検査ニテ尙更ニ洗滌シタル後容器ニ全滿シ洗滌セル新シキ「コルク」又ハ栓付(當部ノモノ)ナルトキハ之ヲ清淨ニナシタルモノニテ堅ク栓塞スルコト此場合必ス松杉桐材ノ木栓干大根古キ栓紙類ヲ使用セシメサルコト

- ハ、汲井ニアリテハ汲桶ヲ以テ數回井水ヲ汲ミ出シタル後採集スヘシ
  - ニ、ポンプ井戸ニアリテハ少ナクトモ十分部ポンプヲ使用シ「ポンプ」中ニ溜水ヲ盡ク除去シタル後採集スヘシ
  - ヘ、容器ニハ左ノ事項ヲ記載セル荷札ヲ添附スヘシ(第一號様式)
  - ホ、堀抜井ニアリテハ其儘採集スヘシ
  - ト、各個ニ於テ採酌シタル検査ハ検査ノ前日午前十時迄ニ適當ナル一定場所ニ運搬セシメ該場所ニ於テ取り纏メ同日午後二時迄ニ検査事務所マテ運搬セシメ事務所ニ於テ全部取纏メ翌日検査施行ニ支障ナキ様準備シ置クコト
- 四、晴雨ニ係ラス検査施行スヘシ
  - 五、検査事務所ニ對スル準備  
検査事務所ニハ木炭(検査百ニ對シ約壹貫目)ノ設備ヲナシ且ツ検査技術員少數ナルヲ以テ事務補助トシテ書記一名助手一名ヲ置クコト
  - 六、検査後ノ措置  
検査終了シ水质ノ良否判明次第各戸ニ對シ左記紙片若クハ木札ヲ最モ見易キ場所ニ揭示セシメ行幸啓中ハ勿論永久ニ保存セシメ尙相當ノ注意書ヲ交附スルカ又ハ口頭ヲ以テ示達スルコト
- 飲料適瀘過適又ハ飲料不適ノ文字
- 適
- 七、検査其ノ他各般ノ事項ニ付テハ派遣ノ警察部員ノ指示ニ從フコト
  - 八、検査成績ハ毎日警察部長ニ送附報告ノコト
  - 九、検査採酌ノ際別記第二號様式ニヨリ井戸ノ構造其他ヲ調査シ記載スヘシ

第一號様式



檢水番號	井戸所有者	氏名
使用	者	氏名
所在地	郡市町	村
泉水湧出口ノ狀況		番地
泉水誘導方法		
泉水貯水槽ノ構造及狀況		

第一號様式裏面

土地及周圍ノ狀況	季節降雨ニヨル水面高低	地面水面ノ距離
井戸ノ構造種類及深サ	尺	覆蓋ノ有無ツルベ、ポンプノ別
便所廢水路溜トノ距離	尺	檢水及空氣ノ溫度
廢水路及廢水溜ノ構造	尺	探酌當日ノ天候
		檢水
		空氣
		度度

記載ニ關スル注意

- 一、井戸ノ構造
  - イ、構造 板側、陶器側又ハ側板ナシ或ハ不完腐朽不潔又ハ異狀ナシ
  - ロ、種類 掘抜井戸等ノ如ク特殊ノモノハ之ヲ記載シ普通掘井戸ハ特ニ要セス
- 一、廢水路及其溜處
  - イ、廢水路 石造或ハ「シツタイ」等ノ設備ノ有無或ハ廢水停滯ノ有無

- ロ、廢水溜 吸込ノ特殊ノモノハ記載シ他ハ特記ヲ要セス
  - 一、使所ト廢水溜トノ距離 便所何尺 廢水溜ヘ何尺
  - 一、檢水及空氣ノ溫度
    - イ、檢水ハ攝氏檢溫器ヲ用ヒ汲ミ桶ニ浸シ置キ昇降セサル一定ノ溫度トナルニ及ヒ之ヲ記入ス
    - ロ、空氣 直射日光ヲ避ケテ氣溫ヲ檢ス
  - 一、探酌當日ノ天候 晴曇雨ノ別
- 衛發第七、七一三號
- 昭和三年八月十三日

警察部長

警察署長宛

腸チフス保菌者檢索及豫防注射ニ關スル件

行幸啓ニ關スル保菌者檢索及豫防注射ハ別氏計畫書ニヨリ施行相成ルヘクニ付關係市町村ト協議實施上違算ナキヲ期セラルヘシ

追テ詳細ノ計畫書作成ノ上報告可相成

保菌者檢索及豫防注射施行計畫

一、保菌者檢索

- (1) 宇治山田署ニ於テハ本計畫ニ基キ更ニ詳細ノ實施計畫ヲ立テ當該市町村ト協力シテ實施ニ當ルコト
  - (2) 従事人員中醫師一名ハ縣ヨリ派遣ス
  - (3) 豫定人員期間等左表ニヨル
- 但シ左表中(ハ)(ニ)(ホ)ニ關シテハ更ニ通報スヘシ

保菌檢索ヲナスベキ者ノ種別	豫定人員	檢索期日	從事人員	摘 要
(イ)腸チフス發生患家々族 (大正十五年以降本年六月)	一、〇六五	自八月十五日 至同 二十一日	醫師 二人	第一表參照
(ロ)接客業者飲食店等	二、三八六	自八月二十二日 至同 三十日	同 助手 一人	第二表參照
(ハ)行幸啓關係人夫供給地住民	一、六二〇	自十一月一日 至同 五日	同	第三表參照
(ニ)行幸啓委員及家族	六〇〇			
(ホ)食料品納入者及献上品ノ關係者	五〇〇			

二、豫防注射

- (1) 豫防注射ハ九月一日ヨリ開始六十日間ヲ以テ第四表ノ市町村ニ對シ施行ス
  - (2) 注射ニ從事スル醫師ハ縣及宇治山田署ヨリ三—四名宇治山田市醫師會若クハ度會郡醫師會ヨリ一—二名當該市町村ヨリ一—二名出場ノコト
  - (3) 助手及注射場取締員ハ縣、署及當該市町村ヨリ適當數出場ノコト
  - (4) 宇治山田署ニ於テハ本計畫ニ基キ更ニ詳細ノ計畫ヲ立テ關係市町村ニ通報スルコト
  - (5) 鳥羽町ノ注射ハ宇治山田署管内終了後施行ス鳥羽署ハ之カ實施計畫ヲ立テ町ニ通報スルコト
- 右計畫ハ衛生課ヘ報告ヲ要ス
- (6) 市及町村ニ於テ町別又ハ大字別ニ注射名簿ヲ調製シ注射人員ノ整理ヲナスコト
  - (7) 市及町村ニ於テハ豫メ左ノ事項其他必要ナル事項ヲ一般ニ注意スルコト
    - (イ)今回ノ腸チフス豫防注射ハ今秋御大典後神宮御親謁ノ爲メニ行幸アラセラル、ニ付腸チフスノ發生セナイ様ニ豫防スルノデアアルカラ一人モ洩レナク注射ヲ受クルコト
    - (ロ)定メラレタル日ニ定メラレタル場所ニ間違ナク集ルコト
    - (ハ)成ルヘク一家族揃ツテ受ケルコト

- (ニ)病氣ノモノハ其旨申出ツルコト
- (ホ)注射場テハ住所職業氏名年齢ヲ受付係ニ申出テ注射票ヲ受取り注射ノ順ヲ待ツコト
- (ハ)注射場ハ成ルヘク静ニスルコト
- (ト)多數ノ人ニ注射スルノデアアルカラ注射ノ催促ヲ受ケタリ其他手數ノカ、リ又ハ他人ニ迷惑ヲカ、ラヌ様御互ニ注意スルコト
- (チ)注射ヲ受ケタル當日ニ餘リ過劇ナ仕事、飲酒、等ハ見合ハスカヨロシ注射後氣分ノ悪イ様ナ時ハ暫ク静ニ横臥シテ居レハ治リマス入浴モ當日ハ見合シタ方カヨロシ

第 號注射票	同 回	反 應	腸チフス豫防注射第 回	氏 名	年 齡	日 月 日	住 所	職 業
第 號注射票	同 回	反 應	腸チフス豫防注射第一回	氏 名	年 齡	日 月 日	住 所	職 業

昭和三年八月二十二日

三八八

四日市警察署長宛

警察部長

御大禮關係海港防疫上「コレラ」豫防注射計畫ニ關スル件

上海ニ於ケル「コレラ」ハ漸次蔓延ノ徵有之來航船舶ニヨリ何時之カ浸襲ヲ受クルヤ計リ難クニ就キ豫防注射計畫トシテ左記順位ニ依リ必要ニ應シ注射開始致スヘクニ依リ之カ注射豫定人員ヲ調査シ至急報告相成度

左記

「コレラ」豫防注射施行計畫

施行順位 種別

第一次 水上生活者

第二次 沿岸地帯内住民及關係者

第三次 水上生活者家族ニシテ沿岸地帯ニ居住スルモノ

第四次 準沿岸地帯内住民

四日市港隣接町村ノ水上生活者

第四次 準沿岸及沿岸地帯外四日市市一般住民中必要ト認ムルモノ

以上施行順序ハ流行ノ狀況ニヨリ變更スルコトアルヘシ

衛發第一〇、四七一號

昭和三年十月二十三日

殿

衛生課長

傷病者救療所ニ關スル件

御大禮後神宮御親謁ニ際シテハ函簿拜觀者多數ニ上ルヘク爲メニ萬一傷病者等アリタル際之カ救護ニ遺漏ナキヲ期シ度縣衛生課縣醫師會日本赤十字社三重支部ニ於テハ夫レノ宇治山田市ニ救護所ヲ特設致スコトニ相成居候處救護所ニ於テハ應急處置ヲ施スニ過キス比較的重症者アリタル場合ハ應急處置後更ニ之ヲ常設醫療機關ニ送致シテ適當ノ處置ヲ施サ、ルヘカラサル場合相生スヘクト存候殊ニ之カ爲メニハ相當病床數ヲ要スル次第ニ候故第二次の救療處置ヲ施ス場所トシテ御承諾ヲ得テ別紙病院醫院ヲ之ニ充當致度ト存候條右ノ趣御了承被下度此段及御依頼候也

宇仁田病院

田中病院

龜谷病院

畑病院

浦田醫院

日本赤十字社山田病院

山崎醫院

(南勢病院モ充當ス)

衛發第一〇、四八五號

昭和三年十月二十五日

警察部長

各警察署長宛

腸チフス豫防注射ニ關スル件

京都府ニ應援出張ノ警察官吏並ニ縣内警衛隊ニ配屬セラルヘキ警察官吏ニ對シ腸チフス豫防注射施行相成ルヘク此段及通牒候也

追テ豫防注射ハ其署勤務衛生技術員ニ於テ施行シ「ワクチン」ハ衛生課ヨリ送附セシメ候

衛發第一〇、五三八號

昭和三年十月二十七日

警察部長

三八九

娼妓健康診斷ニ關スル件

娼妓健康診斷ニ關シテハ嚴重施行相成居ルコト、思料候モ御大典行幸啓ノ爲メ多數外來者ノ入り込ム時期ニ候條此際一層健康診斷ヲ嚴行シ花柳病豫防上遺漏ナキヲ期セラルヘク此段及通牒候也

宮城(行在所)ニ參入スル者物件ヲ搬入スル等ノ心得

神宮御親謁ノ爲メ行幸啓アラセラレルコトハ誠ニ吾々ノ光榮トスル所テアルカ萬一行在所内ニ傳染病カ入ル様ナ事カ在テハ恐懼ニ堪ヘナイ次第テアルカラ防疫施設ニ付テハ全力ヲ舉テベストヲ盡シツ、アルカ一方拜謁其ノ他ノ爲メニ行在所ニ參入スル者、御用ノ爲メニ參入スル者、物件ヲ搬入スル者等ニアリテハ自ラ傳染病豫防ニ付テ慎重ノ心得ヲ要ス

宮内省ハ皇室令第四號ヲ以テ宮内傳染病豫防令カ規定サレテ居ル内務省令ノ傳染病豫防法ト餘程趣キヲ異ニシテ居ル以上參入者等ハ此ノ豫防令中必要ナ事柄ヲヨク辨ヘテ行在所へ參入スル爲メニ病毒ヲ行在所内ニ入レナイ様ニシナケレハナラヌ近ク必要ナル條項ハ印刷ニ付シテ配付スルカ參入者ノ心得ヘキ事項ノ大要ハ次ノ如キモノテアル

○宮内傳染病ハ次ノ如ク三類ニ分チテアル其ノ病類ハ第一類カ六種第二類カ十種第三類カ四種テアル猶右各種ノ疑似症モ傳染病ト同シコトニ豫防令カ適用サレル

第一類「ペスト」「コレラ」、痘瘡、發疹「チフス」、猩紅熱、流行性腦脊髄膜炎

第二種赤痢(疫痢ヲ含ム)、腸「チフス」、「バラチフス」、「ヂフテリア」、流行性感冒、麻疹、百日咳、風疹、水痘、流行性耳下腺炎

第三類肺喉頭其ノ他ノ器官ノ開放結核、癩、「トラホーム」、其ノ他ノ傳染性眼炎及傳染性皮膚病此ノ外ニ宮内大臣カ必要ト認メタ時ハ何時ニテモ傳染病ヲ指定シテ此ノ豫防令ヲ施行スルコトニナツテ居ル

○此ノ豫防令ニ「有病地」ト云フ言葉カアル之ハ第一類ノ傳染病又ハ其ノ疑似症カ流行シ若ハ流行ノ兆カ在テ宮内大臣カ有病地ト指定シタ地域ヲ指スモノテアル

○第一類ト第二類ノ傳染病ノ病原體保有者ハ傳染病患者ト同シコトニ見做サレテ居ル

○第一類及第二類ノ傳染病テハ次ニ示ス場合ニハ一定ノ期間(別表ニ示ス)宮城ニ參入スルコトカ出來ナイ然シ宮内大臣カ特ニ必要ナシト認メタル場合ハ參入シテモ支障ナイ

- 一、傳染病ニ罹リタル者
- 二、患者同居シタル者
- 三、患者ニ接シ又ハ患者ト同一ノ場所ニ在リタル者
- 四、病毒ニ汚染シ又ハ汚染ノ疑アル物件ニ接シタル者
- 五、患者ノアル家其ノ他病毒ニ汚染シ又ハ汚染ノ疑アル家ニ立寄タルモノ
- 六、有病他ヲ發シ又ハ之レニ立寄タル者

○前項ニ該當スルモノテ一定ノ期間(即チ參入停止期間)ヲ經過シテ宮城ニ參入スルコトカ出來ル様ニナツテモ直ニ側近ニ奉仕シ又ハ臨時進謁スルコトハ出來ナイ即チ更ニ一定期間ヲ經過シタ後ニアラサレハ側近ニ奉仕シ又ハ進謁スルコトハ出來ナイ

○右二項ノ期間ハ別表ニ示スカ例ヘハ腸「チフス」患者ハ治療、後消毒ヲ了シタル日ノ翌日カラ十四日間ハ宮城ニ參入スル事カ出來ナイ、十四日間後ハ參入ハ出來ルカ此ノ日カラ更ニ七日間經ネハ側近ニ奉仕シ又ハ臨時進謁スルコトハ出來ナイ

○前三項ハ第一類ト第二類ノ傳染病ニ關スル參入停止テアルカ第三類ノ傳染病ハ全治サヘスレハ奉仕、進謁カ出來ル然シ宮内大臣ガ豫防上必要ト認メタル場合ハ第三類ノ傳染病ニ對シテ宮城ニ參入ヲ停止サレルコトカアル

○勅旨ニ由ル場合タトヘ參入停止期間ト雖參入奉仕、進謁スルコトガ出來ル然シ豫メ消毒及豫防ノ處置ヲナシケレハナラヌ

○有病者傳染病流行地又ハ交通遮斷區域内ヲ發シ若ハ經過シタル物件ハ消毒ヲ行ヒタル後テナケネハ之ヲ宮城ニ搬入スルコトヲ許サレナイ若シ斯ル物件ト混合シタル物件ノアツタ場合モ右ニ同シ取扱ヲ受ケル

救護所員心得

救護所員心得救護事務ニ付テハ行幸啓衛生事務取扱細則第四章ニ依ルノ外左ノ事項ヲ心得ヘシ